

南葵音楽文庫

紀要



第8号

目次 CONTENTS

■論文・調査報告

- ・幕末維新期における紀州藩・新宮と軍楽
——スネアドラムの楽譜を中心に—— 6
奥中康人
- ・松山芳野里《5つの日本的な歌》再び
——初演、舞踊とのコラボレーション、そして里帰り—— 15
近藤秀樹
- ・国立国会図書館が所蔵する南葵文庫旧蔵の洋書 資料群：(1) 概説 21
工藤哲朗

■資料紹介

- ・ベートーヴェン 交響曲第9番 ニ短調 作品125 日本人初演使用パート譜 30
美山良夫

■関連歴史資料

- ・徳川頼貞抄訳「グリーグとその音楽」(1920) (下) 34

■収蔵資料 目録と紹介

- ・南葵音楽文庫収蔵「カミングス文庫」の研究
——カミングス文庫「印刷楽譜」目録—— 46
- ・南葵音楽文庫 活動の記録 2023 (令和5) 年度 86



論文・調査報告



『鼓譜』見返し



『鼓譜』奥書

幕末維新时期における紀州藩・新宮と軍楽

——スネアドラムの楽譜を中心に——

奥中康人

はじめに

国立歴史民俗博物館が所蔵する『鼓譜 第一編』(1867) (以下、単に『鼓譜』と記す) には⁽¹⁾、注目すべきところが二つある。一つは、これが幕末に刊行されたヨーロッパのスネアドラム (小太鼓) の楽譜であること。もう一つは、著者の「柳井政名」なる人物が「新宮陸軍局教授員」であったこと、つまり新宮が刊行したということである。

1853年のペリー来航以降、日本は西洋スタイルの軍隊を編成する必要に迫られ、歩兵をトレーニングする訓練 (軍事教練) を実施するために、西洋の軍隊と同じようにスネアドラム、ラッパ、あるいは鼓笛隊が用いられることになった。

スネアドラムについては、1855年に長崎海軍伝習所で複数の日本人がオランダ人から伝習を受けた記録があり、その後、これを起点に幕府・諸藩へと普及していった⁽²⁾。基本的には口伝が中心だったようだが、安政から慶応までの間に複数の楽譜が刊行されたことは⁽³⁾、鼓手養成のニーズが高かったことを示している。そして、新宮の『鼓譜』は、その一冊ということになる。

つまり、『鼓譜』の刊行は、幕末の紀州藩や新宮においてスネアドラムのサウンドが鳴り響いていたことを想像させるが、楽譜だけが存在して、演奏は全くなかったことも考えるので、即断はできない。そこで本稿は、まずは『鼓譜』の内容を概観したあとに、幕末の紀州藩・新宮における西洋式軍隊に関連する文献を精査し、スネアドラムや鼓手の存在、『鼓譜』の演奏、楽譜が刊行された背景等について確認することをとおして、幕末維新期の紀州藩・新宮における「西洋音楽受容」の一端を明らかにすることを目的とする。それは、徳川頼貞や南葵音楽文庫にとっての「西洋音楽」とは別種の「西洋音楽」であるが、しかし近代和歌山を構成した歴史的音楽文化の一つであることに違いはない。

(1) この『鼓譜』を最初に紹介したのは、塚原康子『十九世紀の日本における西洋音楽の受容』(多賀出版, 1993) p.150。元は鉄砲史研究家の所莊吉 (1929～2000年) が所有していたが、没後、国立歴史民俗博物館に寄贈された (「所莊吉旧蔵砲術秘伝書コレクション」資料番号: H-1573-2-59)。

(2) 奥中康人『幕末鼓笛隊——土着化する西洋音楽』(大阪大学出版会, 2012)。

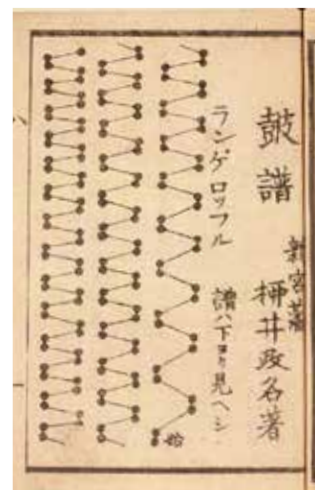
(3) 最も古い刊本は『西洋行軍鼓譜』(1856)。当時、最も広く手にとられていた鼓譜は、現在の図書館での所蔵状況、古書市場での流通量から判断すると『歩操新式』(1865) (犬飼清信によるオランダ式の「鼓譜」が収録) か。

(1)『鼓譜』について

『鼓譜』は36丁、タテ12.5cm、ヨコ8.7cm。「慶応三年卯二月」の日付はあるが出版地は不記載。冒頭に凡例があり、そこには「鼓譜第一編ハ和蘭軍ノ鼓手教師某氏ノ伝授スル所ニ因リ」とあることから、長崎海軍伝習所（1855）のスネアドラム伝習に由来することが明らかである。しかし、著者の柳井自身が長崎で伝習を受けた人物かどうかはわからない⁽⁴⁾。また、「陣営中ニ於テ用ユル所ノ軍令礼式等ノ鼓譜」と「鼓手長「ストック」ノ用法」は「第二編」に収録し、「海軍ニ関ル所鼓譜」は第二編には収まらないので、「別ニ附録ニ詳載」と述べている。

収録されている合図や楽曲は⁽⁵⁾、まず、基礎練習的なものと思われるリズムパターン（「ランゲロッフル」「コルテロッフル」など）が10種あり、次に「ジnstマルス」「フランスマルス」「レジトマルス」「コロニヤールマルス」「ヤッパンマルス」等の行進曲（マルス）10曲が並ぶ。最後に6種の「大隊号音」と23種の「撒兵号音」が収録されている。量的に見ると、行進曲はそれぞれ長いので、『鼓譜』全頁の約7割を占めている。数は多いものの号音（合図）の一つ一つは短い。紙幅の都合で詳細に指摘することは出来ないが、これらの号音・楽曲は、他の同時代のオランダ式の鼓譜の多くに類似のタイトルで収録されており、音楽的な内容も、細部には多少の違いはあるものの、おおよそ共通しているので、確かに『鼓譜』が長崎海軍伝習所の系譜に連なっていることを傍証している。

記譜法についても同様で、『鼓譜』は、この時代の他の鼓譜と同じく、独特な記譜法（「●」の左列が左手の、右列が右手の打撃を示す）を採用している⁽⁶⁾。ただし、新宮の『鼓譜』は、冒頭ページに「譜ハ下ヨリ見ヘシ」



『鼓譜』「ランゲロッフル」

(4)「新宮陸軍局教授員」の「柳井政名」（『鼓譜』最終頁には「JANAYMASAKATA」の丸印がある）という人物については他の史料では確認できていない。明治5（1872）年頃に作成された「新宮藩史附録 新宮藩官員履歴」にある「新宮藩士族／柳井■」（「金」へんに「音」）蔵 政則／三十一才」が柳井政名本人か、あるいは縁戚にあたる人物かかもしれない（『和歌山県史前記 十二』国立公文書館デジタルアーカイブ）。幕末の新宮に「新宮陸軍局」というセクションがあったかどうかについても、管見の限りでは確認することができていない。新宮の刊行物として、改元直後に「紀州新宮練兵所」が『英国歩兵練法号令詞』（1868年10月、全3巻）を刊行している。この「紀州新宮練兵所」が「新宮陸軍局」の後継（あるいは同一）組織かもしれない。

(5)行進曲の前に、「歩法時間略表」（各行進の歩幅、時間、歩数等が記された表）と「新式軍鼓部分ノ名目」（スネアドラムの部分についてのオランダ語・日本語の対訳）のページがある。

(6)紙幅の都合で本稿では言及しないが、演奏法はヨーロッパのスネアドラムの伝統的奏法（ルーディメンタル・ドラミング）に基づくもので、一般的な和太鼓の奏法とは異なっている（奥中康人『幕末鼓笛隊 土着化する西洋音楽』（大阪大学出版会、2012）参照）。

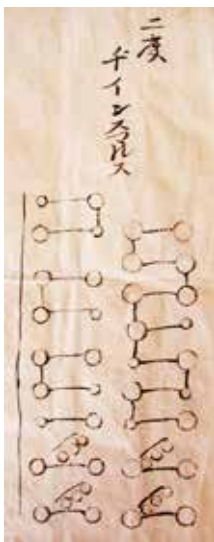
とあり、下から上に読み上げるスタイルで記されている
点が大きな特徴である⁽⁷⁾。

他の鼓譜と比較するために、同じ曲の冒頭部分をいくつか並べると、①と③が「読み上げ式」を、②と④は読み下げる方式をとっている⁽⁸⁾。音楽的に見ると①～④は基本的には同じだが、「●」や「○」の数、つまり打数は、①48、②45、③50、④47で異なっている（③の新宮『鼓譜』が最も多い）。こうした音楽は、時間の経過とともにシンプルになる傾向があるので、新宮『鼓譜』は1867年刊行であるが、1856年に作成された①よりも、長崎海軍伝習所における伝習内容を伝えている可能性がある⁽⁹⁾。

(7) 「読み上げ式」を採用する鼓譜には、『タンホール伝習西洋法陣太鼓譜』（1856）、『洋伝鼓式』（1857）と、長州藩に関係する4点の鼓譜（『鼓譜要覧』（1861）、『西洋流太鼓賦』（1865）、『改正鼓譜』（1866）、『散兵教練書』（1866））などがある。

(8) ②と④の列の中央に漢字で記載された「左」「右」は、「左足」「右足」の指示。合計16歩なので、この部分は8小節ということになる。

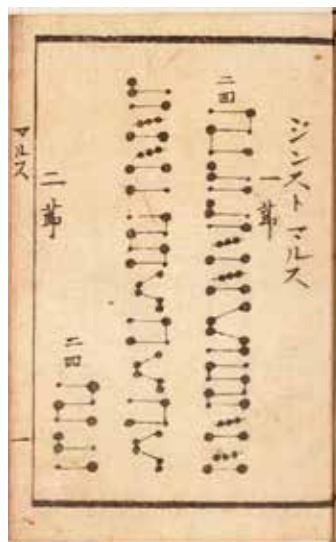
(9) 長州藩の『鼓譜要覧』『西洋流太鼓賦』『改正鼓譜』は「読み下げ式」で、新宮の『鼓譜』との関連を示唆するが、当該部分の打撃数は38で極端に少ないので、長州藩から紀州藩へ伝播は考えにくいだろう。



①
『タンホール伝習西洋法
陣太鼓譜』（1856）
茅原弘氏蔵



②
『歩操新式』（1865）
筆者所蔵



③
『鼓譜』（1867）
国立歴史民俗博物館所蔵



④
『西洋伝習号鼓譜』（年代不明）
兵庫県立歴史博物館所蔵

(2) 紀州藩・新宮における軍制改革とスネアドラム

幕末の紀州藩における西洋式への軍制改革は、附家老の水野忠央（土佐守、1814～65年）が大きな役割を果たした。だが、多くの和歌山の歴史叙述は、忠央の事跡について言及するものの、何よりも吉田松陰によって与えられた「奸にして才有り」というレッテルや⁽¹⁰⁾、大老井伊直弼との密な間柄も災いし、概してネガティブな調子で描かれがちで、『丹鶴叢書』の出版事業が高く賞讃されていることを例外として、かれの開明的な側面が正当に評価されていないように思える。

『南紀徳川史』は、わずか数行だが、忠央の画期的な試みを以下のように伝えている。

〔安政二年（一八五五）〕十一月十日江戸御家中上下一般騎戦調練西洋銃陣之儀水野土佐守〔忠央〕擔任世話致候付市ヶ谷原町同人下屋敷へ出張修業可致旨被仰出⁽¹¹⁾

広大な原町の水野家下屋敷（現在の新宿区原町、成城中学校・高等学校の敷地）で、「騎戦調練」と「西洋銃陣」（西洋スタイルの軍事教練）が実施されていたことが確認できる。上述したように、長崎海軍伝習所のスネアドラム伝習が同じ1855年なので、ここにスネアドラムがあったとしても不思議ではないが、『南紀徳川史』の情報量が少なすぎるので何とも言えない。しかし、少し時代は下るが、幼い頃に麴町に住んでいた川村清雄（1852～1934年、洋画家）は、水野家の軍事教練でスネアドラムを目撃した。

私の子供の時分に、恰度九つか十位の頃でせう。牛込に、水野馬場と、なへて […] 水野土佐守といふ大名の邸内で、背中に片方に円い玉をつけ、片方に旗を背負て、馬に乗つて其玉を叩落すのです。片側各五十人位宛、つまり騎兵の組織ですから、太鼓は西洋太鼓を用ひたんです。⁽¹²⁾

つまり、1852年生れの川村が「九つか十位の頃」なので、数え年なら1860～61年。忠央は、桜田門外の変（1860年）によって失脚し、新宮に蟄居することになる（調練も中止になった）ので、川村が水野の調練で



水野忠央
和歌山市立博物館編
『特別展 幕末の紀州藩』（2017）より



川村清雄（1871年頃撮影）
東京都江戸東京博物館他編『維新の洋画家 川村清雄』（2012）より

(10) 吉田松陰「戊午囚室臆度」（1858）山口県教育会編『吉田松陰全集』5巻（岩波書店、1939）p.227。

(11) 南紀徳川史刊行会編『南紀徳川史』第3冊（1931）p.88。

(12) 川村清雄「幕末の調練 水野馬場の騎兵調練」河野桐谷編『漫談 江戸は過ぎる』（万里閣書房、1929）p.54。

「西洋太鼓」を見たのは1860年の1～3月あたりということになりそう。したがって、遅くとも1860年には新宮がスネアドラムを所有していたことを川村の回想は示している。当然それを演奏する鼓手も存在した^{ドラマー}だろう。推測を重ねるなら、常識的に考えればスネアドラム1台・鼓手1人ではなく、「片側五十人」のそれぞれに配置されたはずで、2台以上、2人以上だっただろう。

この水野家のスネアドラムが、ここからどのように紀州藩全体に広がっていったのかはよくわからない。紀州藩や新宮の資料には、スネアドラムの購入や、鼓手の養成について特別に詳しい記述が残っていないからである。ただし、1860年代前半にそのような動きがあったことは確かで、たとえば『南紀徳川史』には、文久3(1863)年「九月十六日初テ農兵ヲ組織セラル」とだけ記されているが、幕末の農兵訓練はたいてい西洋式の訓練で、農兵たちに行進をさせたはずなので、通常はスネアドラムと鼓手は不可欠である⁽¹³⁾。また同年、紀州藩では「御広敷」の「後宮女中相手」に勤める者たちによって「広兵隊」という銃隊が組織されることになったが、その総員135人のリスト中に、さりげなく「鼓手方六人」と記されていたりする⁽¹⁴⁾。こうした限られた情報から推し量るなら、しかるべき台数のスネアドラムが購入（あるいは製造）されており⁽¹⁵⁾、鼓手も養成されていたと考えられる。

しかし、西洋式軍隊と軍楽が紀州藩に広く浸透するのはもう少し後のことである。紀州藩に限ったことではないが、従来の武術（和流）を担う人々による抵抗が根強く、軍制改革は遅々として進まなかったのが実情で、限定的なものにとどまっていた⁽¹⁶⁾。

ところで、スネアドラムによってトレーニングされた歩兵たちは、指揮官の命令をスネアドラムの音を媒介して聞き取り、その意味を理解すると即座に対応し、集団で組織的に動くことができるようになった。これは戦闘能力の高さに直結する。スネアドラムと鼓手の有無（あるいは、台数・人数の数量）は、軍事力のバロメーターといっても過言ではない。1860年代前半から徐々に進



「釣手鉄物」
『和歌山県史』より

(13) 『南紀徳川史』第3冊(1931) p.504。

(14) 『南紀徳川史』第3冊(1931) p.517～518。

(15) 新宮の鍛冶仲間の史料「御用向控帳」(年月日未詳)には、「調練太鼓」と、2種類の「釣手鉄物」の記載があり、新宮でスネアドラムが製造されていたことがわかる。「釣手鉄物」は、イラストが添えられており(左図参照)、形状から判断するとスネアドラムに取り付ける金具と思われる(和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史』近世史料2(1980, p.475)。

(16) 水野忠央の騎戦訓練や西洋銃陣については、「眉をひそめる者もあつたらしく、「ああ西洋こう西洋とすすめても、人が茶にする騎戦訓練」というような落首もみられた」という(和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史』近世(1990, p.805))。

行していた紀州藩と新宮の（全体ではないとしても部分的な）西洋化が、慶応2（1866）年の第二次長州征伐で華々しい成果を見せる。

世は甲冑の古戦術を用ゐる際、土佐守〔水野忠央〕は夙くも西洋流の新式調練を練習せしめ居りしなり、後慶応二年六月征長の役起るに及び、徳川四天王の随一たる井伊、榊原等幕軍悉く潰走せる際、独り新宮藩兵の向ひし石州〔芸州〕口は、毎戦長軍を破り得たりしは、実に土佐守の新式調練を採用せし結果に外ならざりしなり〔略〕⁽¹⁷⁾

紀州藩は幕府軍の主力部隊として戦ったが、洋式軍隊を備えた長州軍が幕府軍を圧倒し、従来の和流の彦根藩（井伊家）や高田藩（榊原家）は敗走した。しかしながら、水野忠幹（1839～1902年、忠央の長男、1860年に家督を継ぐ）が率いる新宮の部隊だけは、長州軍に連勝した。

この戦争で新宮は12名の戦死者を出したが、その内の3名は鼓手であった。

鼓手 米田兼吉 同 宇井友右衛門 同 成川竹松（健蔵）⁽¹⁸⁾

明治になって化学技術者として活躍する尾張藩士の宇都宮三郎（1834～1902年）は、当時、紀州藩のスネアドラムを聴いたことを、後年になって述懐している。

宇都宮は、上田帯刀に蘭学（西洋流砲術・化学）を学び、幕府の大砲鑄造にも貢献した。安政5（1858）年頃、水野忠央は洋式帆船の丹鶴丸を製造させたが、傾いてしまい航行不能になっていた。これを何とかしてほしいという忠央からの依頼を受けた宇都宮は、見事にこれを修復するだけでなく、江戸に回航させることに成功した。このことで宇都宮と紀州藩・新宮との関係が深まった。

第二次長州征伐の際、宇都宮は紀州藩の軍事アドバイザーとして広島まで出向していたが、長時間駕籠に乗っていたことから脊髄を損傷してしまい、船で和歌山に戻って水野家上屋敷で療養していた。ところが症状が改善しないので、横浜にいる西洋人の医者に診察してもらうこととなり、釣台に乗って和歌山を出立することになった。

そのとき、「陣太鼓の送別」を受けたのである。



宇都宮三郎（1875年撮影）

豊田市郷土資料館編『舎密から化学技術へ——近代技術を拓いた男・宇都宮三郎——』（2001）より

(17) 新宮市編『新宮市誌』（1938）p.335。

(18) 新宮市編『新宮市誌』（1938）p.406。

陣太鼓の送別

其時既に水野の家臣柳某を教師として西洋流の陣太鼓を卒業したものが和歌山に百人（紀藩並に水野の家臣等）餘出来て居ツて其百餘の人が柳氏を隊長として揃ツて太鼓を打ツて自分〔宇都宮〕の出立を見送ツて呉れた。⁽¹⁹⁾

出典の『宇都宮氏経歴談』は談話を文字化したもので、宇都宮は「水野の家臣」を「やない」と発音したが、インタビュアーはこれを「やなぎ」と聞き取り、その結果「水野の家臣柳某」となってしまったのだろう。無論、これは『鼓譜』の著者、柳井政名のことと断じてよい。スネアドラムの教師、柳井はこの時点ですでに100人余りの鼓手（紀州藩と水野家）を養成することに成功していた。おそらく、かれらが「揃ツて太鼓を打ツ」たのは、上官に対して敬意を表す（『鼓譜』の「凡例」で第二編に収録すると予告されていた）「礼式」か、『鼓譜』第一編に収録されていた「ジンストマルス」のような行進曲ではないだろうか。歩きながらの演奏は鼓隊の得意とするところなので、ある地点まで行進奏樂をしながら宇都宮を見送ったとも考えられる。

それにしても、総勢100人余りのスネアドラムの大合奏は、視覚的にも音響的にも相当に大規模なページェントであっただろう。幕末維新期の史料にスネアドラムに関する記述、絵画資料等はいくつか存在するが、これだけの大人数による合奏の記録は、他に類を見ない。日本における西洋音楽受容の歴史に特記すべき演奏シーンである。

興味ぶかいのは、このスネアドラムの大合奏は慶応2（1866）年の出来事のようなだが⁽²⁰⁾、『鼓譜』が刊行されたのは慶応3（1867）年2月になってからなのである。つまり、『鼓譜』の刊行前に、すでに100人余りもの鼓手を養成していたにもかかわらず、それでも『鼓譜』を刊行するということは、紀州藩・新宮は100人程度の鼓手では満足せず、より多数の鼓手を育成し、増員を目論んでいたことになる。

第二次長州征伐の幕府軍の敗北は、長州藩や新宮水野家の戦闘能力の高さ、つまり西洋式軍隊が圧倒的に優れていることを紀州藩がはっきりと自覚し、ようやく全面的な軍隊の西洋化を推し進められる契機になったとされ

(19) 『宇都宮氏経歴談』（交詢社、1902）p.125。

(20) 豊田市郷土資料館編『舎密から化学技術へ——近代技術を拓いた男・宇都宮三郎——』（豊田市教育委員会、2001）の年表（p.20）では、1866年に横浜のフランス人医師の診察と治療を受けているので、和歌山におけるスネアドラム大合奏も1866年とみられる。

ている。その一環として『鼓譜』が刊行されたと考えると、鼓手の増員も納得がいく。川合小梅が「ヤカマシイは大勢太鼓叩」という落首を日記に書き留めたのは、慶応3年5月朔日⁽²¹⁾。こうした庶民の当惑からも時代の変革を確認できる。

その後、新宮の西洋式軍隊は短期間のうちに英式、仏式と変更され⁽²²⁾、紀州藩は1870年にプロイセン式を採用することになり、専らラッパが用いられるようになると、スネアドラムは用いられなくなったという⁽²³⁾。

おわりに ―幕末スネアドラムのその後―

『鼓譜』を巡る論考を閉じるにあたって、いくつか残った課題を挙げておきたい。

まず、この『鼓譜』が、国立歴史民俗博物館に所蔵されている1点しか現時点では確認できていないことである（「第二編」や「附録」については1点も確認できていない）。鼓手を増員しようとする意図で刊行されたと考えると、ある程度の部数が印刷されたと考えられるので、そうであれば（写本を含め）現在も和歌山県内のどこかに眠っているかもしれない。

同じことはスネアドラム本体についても言えることで、少なくとも100台のスネアドラムが和歌山に存在したのなら、今も数台くらいは現存するのではないだろうか。外見的に、スネアドラムは和太鼓と勘違いされやすく、また、明治以降にスネアドラムが日常に存在するようになると、特に歴史的価値を見出されずに廃棄されたかもしれないが、そうとは気づかれないまま今もどこかの蔵などに放置されているかもしれない。

実は、紀州藩のスネアドラムが1890年にはまだ存在していたことを、文献では確認できる。大阪で広告業（東西屋）を営んでいた丹波家九里丸が、東京からやってきたキリンビールの広告スタイルにヒントを得て、楽器を使った宣伝を思いついたときのことである。

(21) 川合小梅『小梅日記』2巻（平凡社、1975）p.157。

(22) 新宮の軍制については、『新宮市史 年表』（1986）によると、慶応3年10月1日「鳥山某が英式訓練笛修業に京都へ出立のため銀拝借を願う（御広間三番方勤役日記）」（p.122）とあり、後の英式採用を見据えた鼓笛隊（笛とスネアドラムで構成された軍楽隊）編成に着手したようだ。1869年2月25日には「新宮藩訓練をイギリス式にする」（p.128）とある。1870年6月「佛式二改メ精選シテ歩兵三小隊砲隊一分隊ヲ置」いた（『新宮藩史』『和歌山県史前記』）。廃藩時には兵士110名のなかに「吹角手 卒五名」とあり、ラッパ手が存在した。

(23) 後藤岩之丞は、廃藩置県前のカール・ケッペンの時代の軍楽について「この時分の兵の教練にはラッパだけを用いて、太鼓は使いませんでした」と回想している（『和歌山県史 近現代史料 4』（1978）p.649）。和歌山のラッパも、日本の西洋音楽受容史のなかでは非常に特異な位置を占めるのだが、これについては稿を改めて論じたい。

九里丸は考へた。拍子木チヨンチヨンで一人辻の角に佇んでべらべら喋る時代でないと早速に古道具屋で購求めたのが紀州藩が維新前後に用ひた調練の太鼓と歩兵喇叭の二種そこで九里丸は丸切り太鼓や喇叭に経験も何もない門弟に無暗矢鱈にブウブウドンドンと馴れぬ仕事をやらさせました。(24)

水野忠央が創始した紀州藩・新宮のスネアドラムの演奏実践は途絶えてしまったが、古道具屋に流れ着いた紀州藩のスネアドラムは、東西屋の丹波家九里丸の手によってリサイクルされて息を吹き返した。

社会学者・メディア研究者の津金沢聡広（1932～2022年）は、

九里丸は[……]ラッパや太鼓のアチャラカ合奏を狙った。終始ドンガラガッチャーブーブーの類だが、なんと陽気で、稚気にあふれている点が受け、大阪中の人気者になった。(25)

と、技術的には下手で拙い演奏を示す「アチャラカ合奏」や「ドンガラガッチャーブーブー」という表現を用いながらも、これを未熟な洋楽受容として冷たく切り捨てるのではなく、逆に「陽気で、稚気にあふれている」からこそ「人気者になった」と好意的に評価し、九里丸を昭和初期に盛んになるチンドン屋の起源の一つとした。

津金沢が雑誌『広告』にこれを寄稿した翌年、1984年に大阪市西成区天下茶屋の小さなアパートで林幸治郎（1956年～）が仲間とともに「ちんどん通信社」を旗揚げすることになる。1980年代には灯が消えかかっていた大阪のチンドン屋文化を、林は継承・再興した。つまり、現代大阪におけるチンドン業界の興隆のそもそものは、古道具屋に紀州藩の「調練の太鼓と歩兵喇叭」が並んでいたこと、さらに遡るなら、新宮城主水野忠央が幕末に先進的な試みを始めたことに端を発するのである。

(24) 花月亭九里丸「東西屋興亡臺史」大阪広告倶楽部編『広告随想』（1927）p.121-127。丹波屋九里丸については、仮屋崎郁子「路傍広告業の先達たち」山崎達哉編『ちんどん屋——宣伝・広告と芸能のハブとなる生業——』（大阪大学出版会、2024）p.22-29。

(25) 津金沢聡広「行商人・呼売り・東西屋」『広告』241号（1983年11月）p.18。

松山芳野里《5つの日本的な歌》再び —初演、舞踊とのコラボレーション、そして里帰り—

近藤秀樹

はじめに

『南葵音楽文庫紀要』第1号の「資料紹介」で、スナール室内楽シリーズから、松山芳野里《5つの日本的な歌》を取り上げた。その後の調査で、この曲の初演が1922年に独立音楽協会のコンサートで行われたこと、また、その後、リヨンで行われた日仏交感会で再演されていることが判明。さらに、松山が1920年代のパリで舞踊とのコラボレーションを行っていたことなども明らかになった。調査は緒についたばかりであり、不明な点も多いが、現時点での中間報告を行う。

1. 松山芳野里と《5つの日本的な歌》

松山芳野里（まつやま よしのり1891～1974年）は、大正から昭和にかけて活躍したテノール歌手。松山は当初、東京音楽学校でヴァイオリンを学んでいたが、声楽への転科を希望。これが学校に認められなかったため、同音楽学校を中退、帝国劇場と歌手契約をした。大正4年から昭和15年にかけて、アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、ドイツで活躍した⁽¹⁾。

《5つの日本的な歌》*Cinq chansons caractéristiques japonaises* は、フランスにいた頃に書かれたものであろう。1922年にスナール社から室内楽シリーズ⁽²⁾の一環として出版された。楽譜を彩るイラストも松山自身の手になるものである。

第1曲と第3曲を除く3曲には、日本語（ローマ字表記）とフランス語の歌詞が記されている。Yoshiwara, Geisha などはフランス語歌詞でもそのまま用いられている。楽譜の目次には、歌詞の翻訳者として二人のフランス人女性の名（Mlle Denise Donio, Mlle Isabelle Mallet）が掲げられているが、詳細不明。



松山芳野里《5つの日本的な歌》
楽譜の表紙

Cinq chansons caractéristiques japonaises (5つの日本的な歌)

1. Berceuse* (子守歌)
2. Chanson de pêcheurs (漁師の歌)
3. Chanson d'amour* (愛の歌)
4. Chanson de Yedo (江戸の歌)
5. Chanson de cerises (桜の歌)

* 仏語歌詞のみ

(1) 『音楽年鑑 昭和46年度版』（音楽之友社）には、松山の師として「レーナード・ハーン」の名が挙がっているが、レイナルド・アーンのことであろう。アーン Reynaldo Hahn (1874～1947年) は作曲家でテノール歌手。マルセル・ブルーストとの交友で有名。エコール・ノルマルで教鞭をとる。

(2) スナール室内楽シリーズに関しては、『南葵音楽文庫紀要』第1号～第3号の「調査報告」を、松山芳野里《5つの日本的な歌》については『紀要』第1号の「資料紹介」を参照。

Ildebrando Pizzetti

Sonate pour violoncelle et piano (Livio Boni, violoncelle et Paul Loyonnet, piano)

Émile Trépard

Deux mélodies (Marguerite Carleys, soprano, Paul Loyonnet, piano)

1. Complainte de cette bonne lune

2. Dans le parc de Chantilly

Maurice de Séroux

Hommage à Debussy (Paul Loyonnet, piano)

Léo Sachs

Effluves et Préludes (Paul Loyonnet, piano)

Yoshinori Matsuyama

Chansons populaires japonaises (Yoshinori Matsuyama, voix, Paul Loyonnet, piano)

Eugène Grassi

Équinoxes (Nelly Eminger-Sivade, piano)

Lucien Durosoir

Quatuor à cordes en fa mineur (Robert Krettly, violon, Jean Godard, violon, Georges Taine, alto, Jacques Patte, violoncelle).

2. 《5つの日本的な歌》初演

同時代の作曲家の新作に囲まれて

松山の《5つの日本的な歌》は、1922年2月2日、独立音楽協会の第81回演奏会の一齣として初演された⁽³⁾。会場はパリのサル・プレイエルで、ピツエッティ、デュロゾワール、グラッシらの作品と共に演奏されている。歌手は松山自身、ピアノ伴奏はポール・ロヨネが務めた。なお、松山の歌曲集は、初演時には *Chansons populaires japonaises* と題されていた。

独立音楽協会 *Société musicale indépendante* は、国民音楽協会 *Société nationale* の保守的な傾向に反発した作曲家たちが結成。ガブリエル・フォーレが会長に就任し、メンバーには、ラヴェル、ケクランら、当時のフランスを代表する作曲家たちに加えて、バルトーク(ハンガリー)、ストラヴィンスキー(ロシア)らも名を連ねた。1910年4月20日に第1回コンサートを開催している。

初演の様子と評価

Le Ménestrel 1922年2月10日号 (no.6) の演奏会評では、曲も演奏も高く評価されている。「……レオ・サックス氏の一連のピアノ小品《水の流れと前奏曲》を、こ

(3) Lionel Pons : Entre racines romantiques et nouveaux questionnements, bruzanemediabase.com, 2011.

<https://www.bruzanemediabase.com/sites/default/files/2023-08/6%20-%20Lionel%20Pons%20-%20Racines%20romantiques.pdf>

の曲にふさわしい色彩で演奏したあと、彼 [ロヨネ] は、精緻にして情熱的な才能を持つ日本の若い芸術家・松山芳野里氏を巧みな伴奏で支えた。ピアノの上に手書きの楽譜が置かれているのが見えたが、その楽譜は、音楽家であると同時に画家でもあるこの芸術家の手で、色彩と形態により装飾されていた。―氏はこうして日本の民謡をいわば視覚の面にまで拡張しているわけだが、その民謡の収集と編曲にあたって、曲の源となった靈感が損なわれぬよう、氏は細心の注意を払っている。さらには、声楽家としての素晴らしい才能により、松山氏は、遠い国に源のある靈感を、この貴重な作品の演奏のなかで、よりいっそう高いものにする力を持っていた。あるときは心に染み入る声、あるときは翳りを帯びた声で、氏はそれを聴衆にしみわたらせ、聴衆もまた《5つの日本の歌》の憂愁や歓喜に我を忘れたのだった。」⁽⁴⁾この演奏会評から、初演においては手書きの楽譜で演奏が行われたこと、その手書きの楽譜にも松山によるイラストがすでに描かれていたことがうかがわれる。

初演時の伴奏者、ポール・ロヨネ

初演で松山を伴奏したポール・ロヨネ Paul Loyonnet (1889～1988年) についても、ここで触れておきたい。ロヨネはフランス出身のピアニストで、ドビュッシーと交友のあった人である。リュシアン・カペーやヨゼフ・シグティと共演し、特にベートーヴェンを得意としたことで知られる。《5つの日本的な歌》第1曲〈子守歌〉の楽譜には「ポール・ロヨネの幼子のために1921年10月」と記されており、松山とロヨネとの間に個人的な交流のあったことが推測される。

3. 日仏交歓会と《5つの日本的な歌》

かくして《5つの日本的な歌》は、独立音楽協会で同時代の作曲家たちの新作に囲まれて産声を上げたわけだが、このあと松山は《5つの日本的な歌》を歌う機会があったのだろうか？ 松山は1924年4月28日、リヨンの日仏交歓会 La Journée franco-japonaise において、《5つの日本的な歌》を歌っている⁽⁵⁾。このコンサートは、日本文化についての講演会の一齣として実施されたようである。



《5つの日本的な歌》
第4曲〈江戸の唄〉の楽譜



ポール・ロヨネ

(4) Joseph Baruzi, *Le Ménestrel*. 1922, no.6.

(5) 「3 里昂ニ於テ開催セル日仏交歓会ニ関スル報告 2」アジア歴史資料センター

PROGRAMME

(1)

M^{me} M.-J. ETCHEPARE

Piano solo.

2 Méthodes.

Composition de Y. MATSUYAMA.

(2)

Y. MATSUYAMA

Cinq Chansons Japonaises.

Musique de Y. MATSUYAMA.

- a) Berceuse.
- b) Chanson de Pêcheurs.
- c) Chanson du Edo.
- d) Chanson d'Amour.
- e) Chansons des Cerisiers.

(Éditions M. SEMART.)

(3)

M^{me} M.-J. ETCHEPARE

Piano solo.

Deux Compositions de Y. MATSUYAMA.

- a) *Les Cloches de La Mort* (1^{re} partie).
(Mimodrame lyrique.)
(Dédié à M^{me} PAULETTE PARIS.)
- b) *Danse Grotesque.*

(4)

YOSHINORI MATSUYAMA

Trois Chansons Caractéristiques.

Musique de Y. MATSUYAMA.

- a) *En revenant du Marché lointain.*
- b) *Les Fleurs.*
- c) *Courage!*

KIMIGAYO (Hymne national japonais.)
Chanté par Y. MATSUYAMA.

LA MARSEILLAISE.
Chantée par Y. MATSUYAMA.

Journée Franco-Japonaise, Lyon, le 1^{er} Avril 1923

このときのピアノ伴奏はMarie-Jeanne Etchepare (詳細不明)。プログラムでは、松山は *ténor et compositeur japonais* (日本のテノール歌手で作曲家) と紹介されている。当日の曲目には《5つの日本の歌》のほか、松山の他の歌曲やピアノ曲も含まれている。《5つの日本的な歌》のみスナール社刊と記されているところを見ると、それ以外の作品はこの時点では未出版だったのかもしれない。いずれにせよ、この時期、松山が演奏だけでなく作曲活動も展開していたことが、このプログラムからうかがわれる。

松山が書いた作品がどんなものであったのか、現時点で判断することはできないが、興味深いのはプログラム後半のピアノ独奏曲である。最初の曲は *Les cloches de la Mort* (死の鐘) の第一部。Mimodrame lyrique という副題から見て、默劇のための音楽ではないかと推測される(ここでのlyriqueは「叙情的」ではなく「音楽つきの」の意味であろう)。とすれば、これに続く *Danse Grotesque* (グロテスクな踊り) も、舞台のための音楽なのではあるまいか。もしそうだとすれば、テノール歌手である松山は、歌曲だけでなく默劇や舞踊のための音楽をも書いていたことになる。それはなぜなのか。

4. 舞踊とのコラボレーション

実は、松山は両大戦間のパリで、舞踊とのコラボレーションを行っていた。たとえば、シャンゼリゼ劇場の記録を調べると、1922-24年に、松山が舞踊家の小森敏、芦田栄らと出演していたことがわかる⁽⁶⁾。また、1929年6月18日には、小森敏、瓜生靖、松山芳野里の三人が「エゾテリック劇場」でGala oriental に出演し、『浦島』『猩々』などの舞踊詩を演じている⁽⁷⁾。このとき松山は《5つの日本的な歌》などの自作の歌曲を歌っているが、ひょっとすると舞踊詩の楽曲を提供することもあったかもしれない。

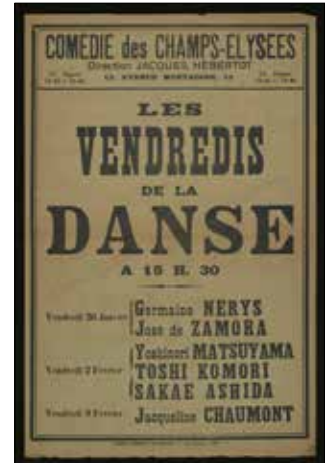
小森敏、芦田栄、瓜生靖と松山が、1920年代のパリでどのようなコラボレーションを展開したのか、この興味深い問題については、ぜひ舞踊史の研究者の方々にお話をうかがいたいところだが、松山のフランスでの活躍が「日本からきたテノール歌手」の枠にとどまるものでなかったことは、上記の事実の指摘のみからも明らかである。《5つの日本的な歌》も、こうした松山の多面的な活動のひとつとしてとらえるべきであろう。

このような松山の活動の多面性は、彼が帰国後に行ったりサイタルにもその影を落としている。『音楽新潮』1933年5月号「演奏会消息」によると、松山は1933年4月21日、「テナー松山芳野里独唱会」を開催。「舞踊家和田文子嬢」が賛助出演し、松山と共演したことがわかる。「消息」には、「四、舞踊」(和田文子)「海の嘆き」(松山芳野里) 独唱「月」(松山) 舞踊(堤眞佐子)」と記されている。和田は松山の《海の嘆き》(ピアノ曲?)で踊り、そのあと堤眞佐子が松山の歌う《月》に合わせて踊ったのであろう。このような舞踊とのコラボレーションが日本でどのように受け止められたのか、また、松山はこのような活動をいつごろまで続けたのか、これも今後の研究課題である。

5. 歌の里帰り

ところで、1933年の「独唱会」で松山が歌い、堤が踊った《月》という曲であるが、おそらくこれは《5つの日本の歌》の第3曲であろう。

帰国後、松山は《5つの日本的な歌》のうち第4曲を除く四曲を手直しし、それぞれ独立した作品として国内で出版した。(1932年、高原書店)。《月》もこのときに出版されたもので、《5つの日本的な歌》第3曲〈愛の歌〉の日本版である。表紙に記されたフランス語のタイトル



シャンゼリゼ劇場のComédieにおける1922年1～2月の催しLes Vendredis de la Danseのチラシ
松山芳野里は2月2日の公演に出演。共演はTOSHI KOMORI (小森敏)とSAKAE ASHIDA (芦田栄)

◇テナー松山芳野里獨唱會
四月二十一日夜日本青年館、曲目は一、君よ吾を憐れ給ふな
(ボノンチニ) 踊れ、可愛い、娘達(デュランテ)二、歌劇「ト
スカ」星も光りぬ(ブチニ)三、イストリアの子守唄(サデロ)さ
らば懐しのグラナダ(キャレヤ)スラヴの唄(シャミナード)マレ
ヤキレの月(トステイ)四、舞踊(和田文子)海の嘆き(松山芳野
里) 獨唱「月」(松山) 舞踊(堤眞佐子) お月様いくつ(和田文子) 浮
世の一本橋五、歌劇「セヴィラの理髪師」より(ロシニ) 尚ピアノ
伴奏松山智恵子氏。賛助出演舞踊家和田文子嬢。

『音楽新潮』1933年5月号の
「演奏会消息」欄に掲載の記事

(6) <https://en.calameo.com/read/0030455151b1051623e69>

(7) 長野順子「セルフポートレートと演劇性」『美学芸術学論集』10, 2014 年



松山芳野里《月》楽譜の表紙

は Chanson d'amour で元のままだが、新たに日本語の歌詞が追加された⁽⁸⁾。フランスで書かれた日本の歌が松山とともに「里帰り」し、これに併せて幾らか装いを改めたわけである。

最後に、この「歌の里帰り」の延長線上で、南葵音楽文庫での催しについても触れておきたい。2018年6月2日に、「平成30年度南葵音楽文庫定期講座」第1回の定期講座のひとつとして、「南葵に響く日本とフランスの歌 ～スナール室内楽シリーズより～」を開催。和歌山県立図書館のメディア・アート・ホールを会場に、演奏を入れたかたちで講座を行った。講師は本稿の執筆者である私、近藤が担当し、水谷雅男氏（バリトン）、仙波治代氏（ピアノ）のお二人に、スナール室内楽シリーズ所収の声楽曲から、ジャン・クラーズの歌曲集《泉》と、松山《5つの日本的な歌》を演奏していただいた。かくして松山芳野里の《5つの日本的な歌》曲は、作曲されてからほぼ百年後、スナール室内楽シリーズの一環として松山の楽譜を所蔵する和歌山県立図書館・南葵音楽文庫で歌われることになった。

(8) 大阪芸術大学図書館所蔵

国立国会図書館が所蔵する南葵文庫旧蔵の洋書資料群：(1)概説

工藤哲朗

はじめに

国立国会図書館（以下、NDL）職員だった稲村徹元は、1985年の記事で、NDL所蔵の洋書の中に南葵文庫旧蔵と思われる資料が存在することに言及している⁽¹⁾。稲村によれば、「昭和二四年収蔵の英米図書館学・書誌学関係の主要図書十数冊」に南葵文庫の蔵書印が見えるという。

しかしながら、具体的にどの資料に南葵文庫の蔵書印が押されているのかは、従来ほとんど明らかにされてこなかった⁽²⁾。本稿では、このたび筆者による調査でNDLの蔵書から（再び）出現した、この南葵文庫旧蔵の洋書資料群（以下、「本資料群」）について概説する⁽³⁾。

調査経緯

筆者は、稲村の記事の「英米図書館学・書誌学関係の主要図書」という記述を手掛かりに、南葵文庫の洋書目録⁽⁴⁾で図書館業務（library works）の分野に分類された資料のうち、NDLにも所蔵されているものを調査した。すると、その中に南葵文庫の蔵書印を持つ資料が見つかり、さらにその資料と資料貼付ID⁽⁵⁾の番号が前後する数点をも調査したところ、南葵文庫旧蔵であることを示す痕跡を持つ資料が複数確認できた。

ここで、これらの資料がNDLに受け入れられた際の記録の写しを取得したところ⁽⁶⁾、これらの資料を含む

(1) 稲村徹元「南葵文庫（国立国会図書館所蔵本蔵書印；その131）」『国立国会図書館月報』297号，1985.12，p.1。

(2) 管見の限り唯一の例外として、以下の文献では Clark, John Willis. *The care of books* (University press, 1909, NDL 請求記号 / 資料貼付ID：022-C593c/Y0034423) に南葵文庫の蔵書印が見えることを画像付きで紹介している。鈴木宏宗「*The care of books*：建物・設備・備品（今月の一冊：国立国会図書館の蔵書から）」『国立国会図書館月報』633号（2013.12）。

(3) 本稿の内容の一部は、筆者が先に執筆した以下の記事と重複する。個々の資料に残る南葵文庫の痕跡については、同記事掲載の画像等を参照されたい。「痕跡で楽しむ南葵文庫の旧蔵書：The Enoch Pratt Free Library of Baltimore City（今月の一冊：国立国会図書館の蔵書から）」『国立国会図書館月報』759/760号，2024.7/8。なお、本稿は個人の資格において執筆されたものであって、いかなる組織とも無関係であることを、念のためお断りしておく。

(4) *Catalogue of the Nanki Bunko*. Nanki Bunko, 1914.

(5) 「国立国会図書館が所蔵する資料に個別に付与されている番号（バーコードの下に表示されている番号）」のこと（「検索項目の説明：各種番号 | NDLサーチ | 国立国会図書館」<https://ndlsearch.ndl.go.jp/help/bibsearch/number>（以下、本稿におけるインターネット情報源の閲覧日はすべて2024年8月20日））。資料の物理単位で付与されるため、書誌情報が同一の資料でも、個体ごとに異なる番号が付与される。「国立国会図書館サーチ」(<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>)では、NDLの蔵書を資料貼付IDから検索できる。

(6) NDL所蔵の事務文書『図書原簿（洋）』及び『登録番号割当簿（洋）』がこれに当たり、本稿執筆のために参照した部分の写しは、NDLの情報公開制度を利用して取得可能。

約160点の資料が1949（昭和24）年10月に一括してNDLで受入処理されており、いずれも同一の古書店から購入されたものだったと判明した。また、これらの個体資料は34394～34550の登録番号（資料貼付IDでY0034394～Y0034550）を付与されており、約160点のうち約130点は現在もNDLが所蔵していることが確認できた。

なお、この約130点の資料は、南葵文庫所蔵時の痕跡（蔵書印、ラベル等）を持つものとそうでないものに分けられるが、後者にも前者と共通の特徴が見られる場合がある。例えば、南葵文庫による取得以前にこれらの資料を取り扱った書店に由来すると見られる印刷物⁽⁷⁾がそれに当たり、後者も南葵文庫旧蔵資料の可能性もある。また、現在NDLでの所蔵が確認できない資料についても、同様の可能性が考えられる。

この点を考慮して、以下ではひとまずNDLが現在所蔵していない約30点をも加えた計約160点全体を南葵文庫に由来する資料群とみなした上で、その概要を明らかにし、来歴や意義について考察を加える。

本資料群の概要

本稿の対象とする資料群約160点の納入元は、NDLの事務文書『登録番号割当簿（洋）』では「Muraguchi.」、『図書原簿（洋）』では「村口四郎」と記載されている。加えて、『図書原簿（洋）』には1点ずつの価格の記載があることから、本資料群は村口四郎が店主を務めた東京の古書店、村口書房からNDLが購入したものと考えられる。約160点のうちの30点ほどについては、『図書原簿（洋）』に「2011.1.18複本のため廃棄」との追記があり、NDLでの所蔵が確認できないことから、2011年に廃棄済と見られる。NDLが現在も所蔵する約130点については、標題紙裏などに昭和24（1949）年10月15日付のNDLの受入印があることから、同日にNDLで受入されたものと考えられる⁽⁸⁾。

NDLでの受入後、これらの資料はデューイ十進分類法（DDC）により分類された。約130点のうち、およそ3/4に当たる100点強が0類（総記）に分類されており、

(7) 本稿が扱う資料群のうち、南葵文庫の蔵書印を持つ資料の中には、英国の書店“The Times Book Club”のラベルが貼付されたものも多く見られるが、以下の資料には南葵文庫の蔵書印・ラベル等は見られない一方で、同店の印刷物が挿入されている。Addison, Julia de Wolf. *The art of the National Gallery : a critical survey of the schools and painters as represented in the British Collection*. (NDL 請求記号 / 資料貼付 ID : 708-A225a / Y0034396)。

(8) 受入日について、『図書原簿（洋）』記載の受入日は（インクの退色によりかなり判読が難しいが）昭和24年10月11日又は12日と見えるものの、ここでは各資料現物の受入印の日付を採用した。

0類に分類されなかった資料も、ほとんどは主題や出版者などの点で図書館や書物と関連している。また、裏表紙の裏にニューアーク方式の貸出カード(ブックカード)を収納するためのブックポケットが貼られた資料が多数見られ、これらはNDLで一時期まで館外貸出に供されていたものと思われる。

資料の出版年は1860年から1923年まで⁽⁹⁾と幅があるものの、多くは20世紀以降の出版で、本文の言語は英語のものが大半である。個々の資料の保存状態は区々だが、中には劣化の激しいものもあり、紐で強く縛られたような痕跡が外装に残るものも見られる。

南葵文庫の痕跡は約80点に残り、その多くは標題紙に押された南葵文庫の洋書用の蔵書印だが、時には排架用のラベルが残るものも見られるほか、南葵文庫により再製本され、裏表紙に「南葵文庫」の空押し(エンボス加工)が施された資料もある。

なお、南葵文庫での受入以前の来歴を示す痕跡として、裏表紙の裏などに書店のラベルが残るものも見られる。書店のラベルは丸善のほか、「The Times Book Club」(英国・オックスフォード)⁽¹⁰⁾と「BRENTANO'S」(米国・ニューヨーク)という海外の書店のものが特に多く見られ、鉛筆で価格らしき数字が書き込まれたものも多い。

本資料群の来歴

本資料群の来歴については、NDLによる購入より前の記録がないため、はっきりしたことを述べるのは難しい。しかしあえて推測するならば、本資料群は南葵文庫が東京帝国大学附属図書館に寄贈される際に紀州徳川家に留め置かれ、太平洋戦争終結直後までは現在和歌山にある南葵音楽文庫のコレクションと命運を共にしていたのではないかと推測される。

関東大震災後、南葵文庫を東京帝国大学へ寄贈するにあたり、徳川頼倫が同大へ打診した内容を記録したと思われる文書では、文庫蔵書の寄贈範囲は「現在目録之通但拙家と離す可からざる特別関係の書籍音楽に関する書類全部及別種目録中のものを除く事」(傍点引用者)とされている⁽¹¹⁾。「別種目録」の具体的書目は不明だが、音楽や紀州徳川家に関係するもの以外にも寄贈対象から除かれた資料が存在したことがわかり、本資料群はこの

(9)ただし、南葵文庫の痕跡が残る資料の中で最も新しい資料は1922年出版。

(10)The Times Book Clubについては、以下の販売目録が南葵文庫旧蔵資料として東京大学総合図書館に所蔵されている。*A catalogue of the library of The Times Book Club*. Times, [1921?]. (同館請求記号: A300:598)

(11)「徳川頼倫氏ヨリ南葵文庫寄贈ニ関スル件」(東京大学文書館本郷本館所蔵文書『部局往復 大正十一年 大正十二年』所収。同館参照コード: S0005/25/0072)。

中に含まれていた可能性がある。

では、なぜ本資料群が紀州徳川家に残されたのかといえば、それは徳川頼貞による音楽図書館事業の継続が決まっていたからではないだろうか。母体となる南葵文庫とは性格を異にするとはいえ、引き続き図書館を運営し、書物を扱い続けるならば、図書館一般や書物一般に関する資料群を自家に残すという判断をしたとしても、それは自然なことだろう。

終戦後、南葵音楽文庫のコレクションを構成する資料群は、一部が古書市場に流出する。流出した資料が東京の音楽専門古書店・古賀書店の店頭に並んだことはよく知られているが、同店の古賀良顫によれば、同店が南葵音楽文庫の資料を買い入れたのは1947、8年頃で、1952年頃までは古書市場で流出した資料を見かけることがあったといい、古賀書店以外にも買い入れた古書店があったことを示唆している⁽¹²⁾。古賀は、流出資料を見かけるたびに買い取って紀州徳川家に届けていたというが、今回出現した本資料群は彼らの目が届かないうちに取引され、開館から間もないNDLに納まったのかもしれない。

ちなみに、本資料群を扱った村口書房と南葵文庫の間には、多少の接点があったと見られる。村口書房の創業者・村口半次郎は、古書業者仲間が南葵文庫の代理人を騙って古書の買い付けを行い、トラブルになった事案の後処理を行っている⁽¹³⁾。また、南葵文庫の閉鎖後ではあるが、1934年には南葵文庫の主幹を務めた橘井清五郎が、村口書房を訪れた際に店員の池之内喜一と「南葵文庫帝大移管当時の種々の秘話」などについて話し込むなど、両者の親しげな様子がうかがえる⁽¹⁴⁾。ただ、紀州徳川家やその周辺から村口書房へ、本資料群の処分への関与を求めた形跡は目下見当たらない。

本資料群の意義と可能性

南葵文庫の蔵書のうち、関東大震災後の1924年に東京帝国大学附属図書館へと寄贈され、その後に東京大学附属図書館（以下、「東大図書館」）が継承した資料については、現在までに一定の調査・研究が行われてきた。

(12) 「南葵音楽文庫近く公開」『日本古書通信』32巻3号(通号452号), 1967年3月, p.26。なお、現時点では邦字資料で裏付けが取れておらず、信憑性に疑問が残るために本文での言及は避けたが、ハワイでの新聞報道には、頼貞が参議院選挙の資金捻出のために蔵書4万冊を売却したとするものもある(Beech, Keyes. "Purge ostracizes 200,000 Japanese". *Honolulu Star-Bulletin*. 1947.9.26, p.7)。

(13) 村口半次郎ほか[談]「酒竹文庫及び和田維四郎氏」(訪書会編『紙魚の昔がたり 上巻(訪書会叢書;第1編)』訪書会, 1934)、85～86頁。

(14) 池之内喜一「待買日記」『書誌学』3巻6号, 1934年12月, 56頁。

まず、東大図書館が所蔵する南葵文庫旧蔵書は、同館 OPAC⁽¹⁵⁾による検索が可能となっており、「文庫区分」を指定することで南葵文庫の旧蔵資料のみを抽出することができる。

このうち、和漢の古典籍については、南葵文庫が刊行した目録に東大図書館での請求記号を付記して復刻したもの⁽¹⁶⁾が存在し、これにより東大図書館での現在の所蔵の有無も明らかになっている。加えて、国文学などの分野では、南葵文庫旧蔵の個々の古典籍資料を対象とした研究成果も一定程度蓄積されている⁽¹⁷⁾。

一方、洋書については、刊行年が古典籍に比べて新しいこともあってか、管見の限り個々の資料が研究の対象となった例は見当たらず、南葵文庫の洋書目録と東大図書館での現在の所蔵状況とを比較した調査も行われていない。

しかしながら、南葵文庫やその創設者・徳川頼倫の活動を研究する上では、本資料群を含む洋書こそが大きな意義を持つものと考えられる。なぜなら、南葵文庫の古典籍は近世以前の紀州徳川家や、紀州徳川家構成員以外の個人（小中村清矩、松浦武四郎、依田学海など）によって収集されたものが大きな割合を占めるのに対し、（一部の個人旧蔵書を除いて）洋書は南葵文庫や頼倫が自ら、あるいはより主体性をもって収集したはずで、南葵文庫と頼倫の活動の実態や方向性を、全体として和漢の古典籍よりも反映していると考えられるからである。そして洋書の中でも、主題等が図書館や書物と結びつきの強い本資料群は、南葵文庫や頼倫の活動を読み解く、特に有力な鍵となる可能性がある。

そうした可能性の一例として、ここではNDLが現在所蔵している *Enoch Pratt Free Library of Baltimore City* ⁽¹⁸⁾ という資料を挙げたい。

この資料は、米国の富豪イーノック・プラットの寄付により、1883年に同国ボルティモア市に設立されたイーノック・プラット無料図書館（以下、「プラット図書館」）について、その設立に際しプラットと市当局との間で交わされた書簡や、設立記念式典での演説内容などを収録している。

NDL所蔵の一冊には、南葵文庫の蔵書印、裏表紙の

(15) 「UTokyo OPAC」 https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/

(16) 南葵文庫〔編〕『南葵文庫蔵書目録』（国書目録叢書；21-24）大空社，1998。

(17) この例として、鈴木進編著『南葵文庫本曾我物語と研究』未刊国文資料刊行会，1975 など。

(18) 詳細な書誌情報は以下の通り。The Enoch Pratt Free Library of Baltimore City: Letters and documents relating to its foundation and organization, with the dedicatory addresses and exercises, January 4, 1886. Enoch Pratt Free Library, 1886. (NDL 請求記号 / 資料貼付 ID : 027.4-E59e/Y0034440)。

空押しに加えて、口絵裏に「October 19th 1897」という書き入れが見える。書き入れが誰によって行われたのかは不明だが、頼倫と鎌田栄吉、そして南葵文庫主幹を務めた斎藤勇見彦の一行は、この時期にアメリカ大陸での外遊に赴いている。そして、その訪問先にはボルティモア市も含まれており、書き入れの翌日にあたる1897年10月20日付の地元紙は、同市に所在するジョンズ・ホプキンス大学を一行が訪問したと伝えている⁽¹⁹⁾。

さらに、このとき一行はジョンズ・ホプキンス大学とともに「某富豪の貸本書館」を訪れており、この「貸本書館」について、鎌田は「富豪某が本館の書籍二十万冊を蒐集し、且市の各部に支館を設くるの志望を以て価額八十万弗の金剛石を遺贈せるに依て、今日の規模を致せしものなり、書籍の借料を徴する事なく、唯二週間已上を経過して尚返却せざる者には、一冊に付二仙の罰金を課するを法とす」と記している⁽²⁰⁾。ダイヤモンド（金剛石）の遺贈の事実は確認できないものの、プラット図書館の本館の収蔵能力は20万冊とされ、ボルティモアの市内各所での分館設立、無料での館外貸出、延滞金の金額（2セント）もプラット図書館の実情と符合する⁽²¹⁾。こうしたことから、頼倫が米国外遊中にプラット図書館を訪れていたであろうことがわかり、また、NDLの所蔵するこの一冊はその際に取得され、のちに南葵文庫の蔵書に加えられたものと考えることができる。

なお、この資料に関連してもう一点、興味深い符合がある。ボルティモア市内のプラット図書館の分館を支援・維持することを目的に、イーノック・プラットは市当局に833,333⅓ドルを寄付しているのだが、その寄付の条件として、寄付金額の6%にあたる5万ドルを毎年プラット図書館へ支出するよう、プラットは市当局に約束させている⁽²²⁾。

一方で頼倫も、1923年に日本図書館協会が基金設立を目的とした寄付を募集した際、同協会総裁として5万円を寄付しているのだが、その5万円は協会から紀州徳川家に預金した形とし、紀州徳川家が協会に毎年その金額の6%にあたる3,000円を利子として支払うこととした⁽²³⁾。

(19) "Johns Hopkins University : students named to vacant fellowships : a trio of Japanese visitors : class officers". *The Baltimore Sun*. 1897.10.20, p.7.

(20) 鎌田栄吉『欧米漫遊雑記』博文館, 1899, p.413。該当の記述については、林淑姫氏にご教示頂いた。

(21) *The Enoch Pratt Free Library of Baltimore City*, p.5-6, *The Enoch Pratt Free Library of Baltimore City Bulletin*. 3(3), 1897.10, p.1.

(22) *The Enoch Pratt Free Library of Baltimore City*, p.5-6, 78.

(23) 長坂和茂「大正期日本図書館協会に対する総裁徳川頼倫の貢献」『図書館界』68(5), 2017.1, p.307。

無論、頼倫の手法がブラットからの影響であるかどうかは、先の外遊の例と違ってなお慎重な精査を要するが、本資料群が頼倫や南葵文庫の活動に影響を与えた可能性を考える上では、興味深い符合であろう。

このほか、東大図書館が所蔵する洋書資料と共通した本資料群の意義として、洋書目録の刊行（1914年）より後の時期をも含めた、南葵文庫の収集方針や関心の所在を示す物証である点が挙げられる。また、個々の資料に貼付された書店のラベルや資料の再製本の状況は、文庫の資料収集の経路や、資料保存に関する活動の実態を解明するうえでも役立つ可能性がある。

おわりに

以上、本稿ではNDLから出現した南葵文庫旧蔵の洋書資料群について、その概要を明らかにするとともに、本資料群が従来考えられていたよりも規模が大きく、南葵文庫や徳川頼倫の図書館に関わる活動を解明するうえで、少なからぬ意義と可能性を持つものであることを示した。紙幅などの関係から、本資料群の詳細な目録は現在準備中の別稿に譲ることとなったが、今後、東大図書館が所蔵する分の資料とあわせて、南葵文庫のコレクションに関する研究が進展することを期待したい。そして、そのために本稿が多少なりとも役に立つのであれば、望外の喜びである。

なお、本稿の執筆に当たっては、林淑姫先生に種々ご教示頂いた。また、本稿掲載に際しては美山良夫先生、篠田大基先生にもご配慮を頂いた。未筆ながらここに記して謝意を表する次第である。



資料紹介

ベートーヴェン 交響曲第9番 二短調 作品125 日本人初演使用パート譜

本稿は、『南葵音楽文庫紀要』第2号に掲載した資料紹介のうち、パート譜についてその詳細を報告するものである。本文庫が所蔵するパート譜が、日本人による「第九」初演において使用された可能性はすでに指摘したが、その点数や成立状況、状態についてまでは言及していなかった。2024年11月2日から12月26日まで和歌山県立図書館で開催された展示会『「第九」初演100年 関係資料特別公開』に際し、展示と並行して調査を実施し、12月14日に終了した。

この調査から、百年前の演奏の実際、演奏実現に向けての対応など、さらには1919年に始まる徳川頼貞の寄与貢献などが、従前にも増して明らかになった。

パート譜の伝来と保存状況

オーケストラ 1970年頃に作成された2つの保存袋に、総譜とともに収納。総譜は旧ベートーヴェン全集第9巻（ブライトコップフ・ウント・ヘルテル社、以下B&H）。1924年の日本人初演に使用されたかは不明。

保存袋には各パートの部数冊数が記載されている。ただし、挟み込み楽譜をまとめて1部とする等の例があり、実際の残存部数と必ずしも一致していない。

声楽 独唱用は存在せず。合唱用は4パートのスコアではなくパートごと。バス・パートのみ残存（B&H Chorbibliothek Nr.55）。全部数が紐で括られている。

■パート譜：オーケストラ

特記無き場合は「南葵文庫」の角印がある。

（青）（黒）は鉛筆書き込みの色

B&H：Orchesterbibliothek Nr.16/17

Ms.Copy：特記無き場合は本郷三丁目高井楽器店の五線紙に筆写された楽譜

ピッコロ…B&H

フルートⅠ…Ms.Copy（青）青いインク



パート譜「バイオリンⅠ」（奥村使用）

使用、4ページ途中から黒インク交互に使用。書き損じあり

フルートⅡ…B&H（青）

オーボエⅠ…Ms.Copy（青）（黒）インク色・筆写者複数 書き損じあり

オーボエⅡ…B&H 使用痕

クラリネットⅠ in B…B&H 使用痕

クラリネットⅠ（No2）…Ms.Copy（青）
Molto vivaceから

クラリネットⅠ in B（No2）…Ms.Copy（青）カバーなし 文庫印なし Molto vivaceから

クラリネットⅡ in B…B&H 使用痕

クラリネットⅡ（No2）…Ms.Copy（青）（赤）音の変更等記載

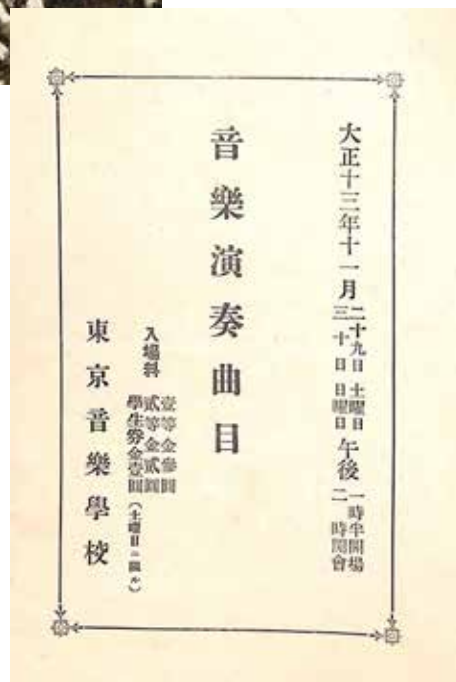
ファゴットⅠ…B&H 使用痕



◀日本人による「第九」初演奏
東京音楽学校奏楽堂

▼プログラム

南葵音楽文庫関連資料より



ファゴットII…B&H 使用痕
コントラファゴット…B&H
ホルン I …B&H (青)(黒) Molto cantabile より 共益商社書店の五線紙使用による筆写楽譜綴じ込み
ホルンII in D…B&H(青) 筆写楽譜綴じ込み 共益商社書店の五線紙使用による筆写楽譜綴じ込み (Adagio Molto e Cantabileと頭書2ページ)
ホルンIII in B basso…B&H (青)
ホルンIII in Es…Ms.Copy (青)
ホルンIV in B basso…B&H (青)
ホルンIV in Es basso…Ms.Copy (青)
途中からインク色・写譜筆跡変更
トランペットI in D…B&H
トランペットI …Ms.Copy 使用痕 青インク使用の筆写者による
トランペットII in D…B&H
トランペットII手…Ms.Copy 使用痕 青インク使用の筆写者による 実音で記譜
アルト・トロンボーン…B&H
アルト・トロンボーン…Ms.Copy 使用痕 (挟み込み楽譜：トロンボーン1共益商社五線紙使用筆写楽譜 印鑑は「東京音楽学校図書」Molto vivace、Prestoの部分)
テノール・トロンボーン…B&H
テノール・トロンボーン…Ms.Copy 使用痕 Molto vivaceと頭書

バス・トロンボーン…B&H
ティンパニー…B&H (青)
大太鼓…B&H
トライアングル…B&H
シンバル…B&H
ヴァイオリンI…B&H (冊数1)(青)
ヴァイオリンI…Ms.Copy (冊数4)(青)
筆写者複数でめくり異同 うちひとつに Miss Okumura と表紙にあり
ヴァイオリンII…B&H (冊数5)(青)
ヴィオラ…B&H (冊数4)(青)
チェロ/バス…B&H (冊数7)(青)



パート譜「合唱（バス）」

■パート譜：合唱

特記無き場合は「南葵文庫」の角印がある。

（青）（黒）は鉛筆書き込みの色

B&H：Chorbibliothek Nr.55

大きさ：25.6cm

バス…連番号151-200（欠番なし） そのうち151~174番（青）使用痕 ほか表紙色ことなる50部 合計100部現存。
なお、他の合唱パート、独唱者用のパート譜は現存していない。

南葵音楽文庫に現存するパート譜は、徳川頼貞が演奏のために提供したパート譜の総体とは言えない。返却されなかった、あるいは散逸した可能性もある。印刷パート譜購入時、貸与時の部数詳細の記録は残されていない。

上記のリストから明らかなように、演奏者によると思われる筆写によるパート譜も残されている。

大半は高井楽器店の五線紙をもちいて筆写された。写譜者は複数で、急ぎ作製されたと思われる。その目的は、弦楽器では部

数不足を補うためであり、管楽器では1部しかないパートの予備として作製したと思われる。ただし、移調楽器では実際に用意できた楽器に合わせ、必要な部分だけ書き直した例も残されている。

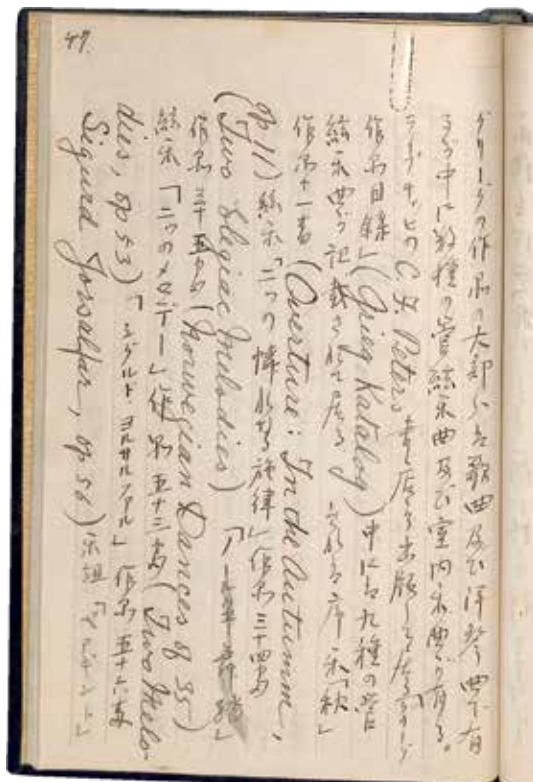
主に青鉛筆による多数の書き込みは、当時の演奏技術の実際、クローン指揮の実態をつたえるものと言えよう。

合唱のパート譜は、バス以外のパートは残存していない。幸いパート譜には南葵文庫によって連番が付され、欠けがない。使用痕からバスパートが24名で歌われた可能性を示唆している。（美山良夫）



関連歴史資料

徳川頼貞抄訳「グリーグとその音楽」(1920) (下)



徳川頼貞の手稿

[10. 管弦楽曲と室内楽曲]

グリーグの作品の大部分は歌曲及び洋琴曲で有るが中に数種の管弦楽曲及び室内楽曲が有る。ライプチヒのC. F. Peters書店から出版して居る「グリーグ作品目録」(Grieg Katalog) 中には九種の管弦楽曲が記載されて居る。それは序楽「秋」作品十一番 (Overture: In the Autumn, op 11)、絃楽「ニッの憐れなる旋律」作品三十四番 (Two Elegiac Melodies [op 34])、「ノールウエー舞踏」作品三十五番 (Norwegian Dances, op 35)、絃楽「ニッのメロデー」作品五十三番 (Two Melodies, op 53)、「シグルド・ヨルサルファル」作品五十六番 (Sigurd Jorsalfar, op 56)、楽組「ペヤギント」作品四十六

番及び五十五番 (Peer Gynt Suite, op 46 & 55)、楽組「ホルベルグ」作品四十番 (Holberg Suite, op 40)、絃楽「ニッの北狄旋律」作品六十三番 (Two Norse Melodies, op 63) 等有る⁽¹⁾。

彼独特の楽器編成法によつて是等の曲はさながら画の様に作られて居るが⁽²⁾是等の楽色は寧ろベルリオーズ及びリチャルド・ストラウス等よりはもつとシユベルトやドボジャック^[ママ]に似て居る。

楽組「ペヤギント」は彼の名を音楽界に轟かした最初⁽³⁾の作品で有るが⁽³⁾後年ハンスリック博士は其れを激賞して多分イブセンのペヤギントは数年後にしてグリーグの音楽としてのみ残るで有らふと云つて居る。曲中ペヤギントの母の死を憐れむ悲しい静なアダジオは単なる歌曲風では有るが聴衆に深い印象を与へる。此曲は勿論管絃楽で聴くのが一番よいが彼自身ピアノに修したのも決して悪くはない。

彼の死後一年にして此「ペヤギント」の総譜がライプチヒのペータース書店から発行され今では何処の楽堂でも聴くことが出来る様になった。

彼の晩年病身の為めに余り楽想が浮ばなかったので創作をしなかった。そしてリストの例にならって管絃楽曲を洋琴曲に又洋琴曲を管絃楽曲に修すことにつとめた。

一般に知られない曲で「古風のノールウエーローマンス及び其変手」作品五十一番 (Old Norwegian Romance with Variations, op 51) と云ふのが有る。これは始めどう云ふ訳か二個の洋琴曲⁽⁴⁾として作られて居た為め余り多くの家庭や音楽会で聴く事が出来なかった [。] 一九〇七年彼が管絃楽曲に修した為め直に英国ロン

(1) 原書では、これらの管絃楽曲9作品は作品番号順に記載されている。

(2) 原文: The orchestration of these pieces [...] reveals Grieg as a consummate master of the art of painting delicate yet glowing colours on his canvas. =これらの作品の管絃楽法は、グリーグが繊細かつ輝かしい色彩で彼のキャンバスを彩る絵画芸術の完全なる巨匠であることを明らかにしている (p. 166)。

(3) 原文には「最初の」とは書かれておらず、「more than any other work of Grieg」=「グリーグの他のどの作品よりも」とある (p. 168)。

(4) 2台のピアノのための曲の意。

ドンに於てはヘンリー、ウッド博士指揮によって演奏されベルリンに於てはアーサー、ニキシ氏によって演奏される様になった⁽⁵⁾。

彼の作品^{〔ママ〕}バイオリンソナタ曲は三ッある。作品八番、十三番、四十五番がそれで有るがこの三ッが三ッとも丁度ワグナーの三ッの歌劇が各々異なって居る様に違っている。其作品第八番はガーデが非常な讃の言葉を呈して居るのみならずフレデリック、ニクス教授は其れを評して全々アカデミックな点に於て批難すべき点が一点も無いとまで云って居る⁽⁶⁾。

一方に於てグリーグは宛もシュベルトが“Erlking”^{〔魔王〕}を作ったり、メンデルゾーンが序楽「夏の夜の夢」を彼等の若い時分に作曲した様に若年にして彼の傑作とまで称せらるゝ歌謡「我は汝を愛す」を作っているが晩年増々彼の技能が進んで最後のバイオリンソナタ作品四十五番を作曲した時はその絶頂に達して居る。そして此曲は有名な画家レーンバッハ⁽⁷⁾に献げられた。セロ及びピアノの為めのソナタ作品三十六番はグリーグの兄弟に献げられて居るが是れも亦非常に美しい曲の一ッで有って、我々はグリーグがなぜこの様な美しいそして温みの有る音を有する楽器の為に多くの作曲をしなかったかを惜しがる程麗わしい曲だ。特に其の最後の楽章の如きは遺憾なく昔のスカンヂナビヤの旋律を取り入れて彼独特の楽想を織り出して居る⁽⁸⁾。かなり名高いボストンのセロ弾きWulf Friesは此作品三十六番を非常に好んだ余り彼に一書を呈して此種の曲を多く作

られむことを切望して居る旨を云って遣ったのにグリーグは答へて「自分は今又病氣になって居る為め遺憾ながら貴君の御希望に添へる事が出来ない。不幸にして私のセロの曲は嬰^{〔イ短調〕}調ソナタ曲以後一ッもない。其後私のものとして出て居る此楽器の為の曲は故ゴルターマンの編したもので概ね小品でライブチッヒのペーテルス書店から出版された」と書いて居る。

彼の室内楽中最も人口に膾炙せられて居るのは作品二十七番で有る⁽⁹⁾。其各楽章は実に精神の籠ったもので殊に其のローマンツアの如きは民謡風に作られ人を魅する力に富んで居る⁽¹⁰⁾。彼の楽組「ペアギント」を激賞して止まないハンスリック博士はこの曲を評して「非常に美しく作られて居る為め⁽¹¹⁾曲の中途に有る不協和音の多い不愉快の部分忘れせしめる」と云って居る。

同博士はこの筆法で多くの近代楽愛好者がこのグリーグの曲同様に好んで居るワグナーの不協和音に対して攻撃をして居る。彼は実際不協和音に生理的に苦痛を感じて居たのらしい。或時米国の批評家フィンクがまだその当時生きて居たドボジャックとニューヨークに会した時たまたま話がウインの楽評に及んでドボジャックはかたわらに有ったピアノに向って不協和音の連続を弾いて見せて「貴君はこの音が好きでせう」と云ったのに対してフィ氏は「非常に好きです」と答へたが彼は「私も同様に好きですがハンスリック博士は此音を非常に嫌って私に決して使ふなと云って居ました」と話した⁽¹²⁾。

僅かに二楽章しか出版されてない^{〔ハ長調〕}短八調

(5) 行頭に縦線を引いた箇所は、南葵音楽文庫所蔵の原書でも赤鉛筆で同様の線が引かれている (p. 190)。以降も同様。

(6) 原文: the censorious and ultra-academic Fr. Niecks [...] wrote regarding it that it seemed to him to be "Grieg's supreme creative achievement in the larger forms." [=辛辣で極めて学者肌のフレデリック・ニクスも、これ「ヴァイオリン・ソナタ作品8番」について、「より大きな形式におけるグリーグの最高の創造的達成」だと思われる、と記した (p. 193)。

(7) フランツ・フォン・レンバッハ Franz von Lenbach (1836 ~ 1904 年)。肖像画家として有名なドイツの画家。グリーグの肖像画も描いている。

(8) 原文: The last movement, in particular, is a gem both as regards invention and Norse colouring. =特にその終楽章は創意の点でも北欧らしい音色の点でも珠玉の作である (p. 197)。

(9) 原文: First in rank among the chamber-music works is the splendid quartet, opus 27. =室内楽作品のなかの一級品は素晴らしい弦楽四重奏曲 作品27である (p. 198)。

(10) この一文はこの後に登場するハンスリックによる批評の一部。

(11) 「非常に美しく作られて居る為め」に相当する原文は特定できない (p. 199)。

(12) この段落は原書 p. 199-200 の2ページにわたる注で、頼貞は p. 199 では行頭に、p. 200 では行末に縦線を引いている。本稿では行頭の縦線に統一した。

絃楽四部曲も作品二十七番同様彼の室内楽を評する上からして決して見のがすことの出来ない作品の一で有る⁽¹³⁾。此曲⁽¹⁴⁾は一九〇八年十二月十五日に始めてニューヨークに於てKneisel絃楽四部団に依って演奏せられた。「[その第一楽章は]寧ろデンマーク風で有るが音楽は間違いもなくグリーグのもので恰もグリーグの写真を見るのと少しも違いがない」と云って居る⁽¹⁵⁾。翌年（一九〇九年）の一月十九日に至って同絃楽四部団は自筆稿として残って居た残りの二楽章を演奏した。彼の死後自筆稿としてピアノとヴァイオリンのソナタ及び一八七八年六月一七日附の嬰ハ調セロのソナタが発見された⁽¹⁶⁾。

[11. ピアノのための作品]

彼の作品中只一つの洋琴司伴奏嬰ハ調^{〔イ短調〕}は彼が二十五歳の時にデンマルクの一寒村Söllerödで作られたもので若さに満ちたもので有る。Schjelderup氏は此曲を評して「今迄且つて音詩家の手にかかるものゝ中で洋琴と管絃楽との最上の混合物で有る」と云って居る。

洋琴独奏曲としてバラード嬰と調^{〔ト短調〕}（Ballade in G Minor）作品二十四番が傑出されて居るものと考へられて居る。ブラームスも此バラードの賞讃者の一人で有る。

グリーグについて最も著しい事は彼の一生は殆んど半病人で有ったにも拘らず彼の音楽上の芸術的精神は実に健全なるものであった。「和声の領域が常に私の夢の世界で有った」とグリーグ自身が云って居る。そして彼はバッハ、モザルト^{〔ママ〕}及びワグナーは自分の先生で有ったと云って居る。

グリーグの「河端にて」（At the Brook-

side）と云ふ歌謡はドブシー^{〔ママ〕}の曲の様に無限に不思議な曲で有るがその不協和音は美しい旋律と共に人を魅する力が有る。[グリーグが不協和音を用いる大胆さを發揮したのは]大体に於て歌謡よりも洋琴曲に多い⁽¹⁷⁾。それらは限らない不協和音即ちドミナント七度から七度と九度の和絃に転じて終止する様な余り用ひない解決法や五度及び四度の連続や五度の不思議なカデンツァ等である。

名高い仏蘭西のバリトン歌手モーリス・ルノーは一体音楽者は大家の作品⁽¹⁸⁾を好まないと云って居るが私の知って居る範囲内では大概の音楽専門家は彼の死ぬ数年前に作られた最後の曲である洋琴曲作品七十三番⁽¹⁹⁾に注意を払はない。

[12. 作曲家としてのグリーグの位置付け]

数年前或音楽雑誌に野心家で有って不成功に終った一独逸作曲家Bargielに就て面白い逸話を掲げて居た。或る日彼が一人の生徒にどんな楽譜を持って来たかと云ふ問に対して生徒はグリーグの曲を持参して来た旨を告げた時に彼は「何にグリーグの曲だって、グリーグの曲は音楽でない」と云ひ放った。生徒はノールウエーの人で有って是れを聞くや彼⁽²⁰⁾は「何んですってグリーグの曲は音楽ではないのですかそれでは先生失礼します」と云って非常に泣いて帰ったと云ふ話がある。

バーギルのみならず各国にはこのような態度をノールウエーの一大音楽家に対して取った音楽家が無くもなかった。

一九〇三年に至ってアサーニキシがグリーグの六十歳の誕生を祝する為にベルリンのフィルハモニック音楽会で「ピアギ^{〔ママ〕}

(13) 原文: Among the uncompleted compositions left by Grieg the most important was a quartet in F major. =グリーグが残した未完成作のなかで最も重要な作品がハ長調の四重奏曲である (p. 200-201)。

(14) 原文: The first two movements =その最初の2つの楽章 (p. 201)。

(15) 引用文はグリーグと親交のあった音楽学者ユリウス・レントゲン Julius Röntgen (1855 ~ 1932 年) の言葉。

(16) 原文: Among the copied manuscripts left by Grieg there was also an andante for piano, violin, and violoncello in C minor, dated June 17, 1878. =グリーグが残した筆者譜のなかには1878年6月17日付のピアノとヴァイオリン、チェロのためのハ短調のアンダンテもあった (p. 203n)

(17) 原文: it is less in the songs than in the piano pieces that Grieg exercised his dissonantal boldness (p. 216n-217n).

(18) 原文: chefs-d'œuvres / masterworks =傑作 (p. 221)。

(19) 《気分 Stemninger》作品 73 (1905 年作曲)。

(20) 原文: she =彼女 (p. 225)。

ント」を指揮した時—新聞ターゲブラットにレオポルド、シュミットが投書して「グリーグはノールウエーの気分を音楽の上に遺憾なく表はした代表的の作曲家にしてさながら彼が一ノールウエー楽派を組織したと同様で有る。しかしごく少しの作品が知られて居るばかりだ」と云って居る。又独逸の一記者が彼の死後ミュンヘンの一新聞アルゲマイネ ツァイツングに投書して「独逸はグリーグを愛した。然し独逸は彼を手厳しく批評した。或時自分が音楽会の始まる少し以前に彼を訪問した時に彼は独逸新聞の悪口を叩いた」と書いて居る。

リストが彼の著書シヨパン伝の中に書いて居るのに「世間では半打^[ダース]程のオペラ及びオラトリオ或は数種の交響楽でも作らないと一大音楽家と呼ばない。それから云へばあの偉大のシヨパンも大音楽家中には入れられない理由である。そこで自分の著書「シヨパン及び其他音楽論」で自分は「ジャンボイズム (Jumboism)」と云ふ言葉を作って此誇大されたる不純理な定義を意味する事にした⁽²¹⁾。音楽藝術と云ふ様なものは寸法で其価値をきめられるものではない。例へば一作曲家が一ノールのだらだら長い交響楽を作ったとしたならばそれがどんなにつまらなからふがそれがよくなりそしてどんなよい本でも頁が少なければ価値の少ないものにするのは正しい見方でない。これを他の方面で云ふならばなぜあの多く有るモザートのピアノの曲の中でごく僅かな曲のみが復活されたのであらふか。又シュベルトの歌謡中百ばかりの曲が人口に膾炙

されて他の四百六十七の曲がうっちゃられたのであらふか。ベートーベンの九つの交響楽中何故第三第五第七第九のみがよいものとされて他の第四第六第八が藝術的価値の少ないものとされて居たか。モザートの場合に於ては彼は歌劇に多く力を費やしたからで有る⁽²²⁾。又シュベルトの場合には残された四百六十七の曲は形式に於て同じでは有るが他の百は永久〔に〕亡びざる処の楽想が植られているからだ。ベートーベンの交響楽の場合にも第三第五第七第九の方が他のものより深遠なる意味を包含して居ると云ふので有るが其傑作で有ると云ふ点から云へばどれも皆同じ事で有る⁽²³⁾。

ニイクス教授はグリーグの特色を指摘して其新規な気高い点だと云って居る。一体音楽形式と云ふ様なものは誰にでも教へられ亦学ばれるものであるが新規な気高い楽想の如きは天から受く可きもので学ばれるものでない。

【13. 声楽作品】

ハンス、フォン、ビュローはグリーグを称して北方のシヨパンだと述べて居るが確かに其エキゾチックな点に於て相似て居る⁽²⁴⁾。

シヨパンは確かに或点に於てグリーグより勝れた点があるには違いないが又グリーグもシヨパンより勝れた点を持って居る〔。〕特に管絃楽の楽器配置法に至っては前者の及ばない点で有る。

声楽曲中其第一に位する⁽²⁵⁾「修道院の門前にて」(At the Cloister Gate) と云

(21) ここに登場する「自分」は原著者フィンクを指す。頼貞は原書の第10章に相当する部分に登場するフィンク自身が体験したエピソードでは、第三者の視点に直して訳しているが(前頁参照。原書 p. 199-200)、この部分では一人称代名詞をそのまま訳している。

(22) 原文: Because Mozart's sonatas, while formally beyond reproach, are for the most part deficient in interesting ideas (he kept his best ideas for his operas, which, therefore – and not because of their form – have survived). = モーツァルトのソナタは形式的には非の打ち所がないものの、ほとんどの部分に面白いアイデアが不足しているから[多くが生き残らなかったの]である(彼は最良のアイデアはオペラのために温存しており、彼のオペラはだからこそ—その形式ゆえではなく—生き残ったのである)(p. 235)。

(23) 原文: Because the odd Beethoven symphonies have greater ideas, and more of them, than the even ones; formally, there is no difference, all being masterpieces from that point of view. = ベートーヴェンの奇数番の交響曲には偶数番のそれよりも優れたアイデアがあるからである。形式的には違いはなく、その視点からはどれもが傑作である(p. 235)。

(24) 原文で「エキゾチックな点」に相当する部分は“exotic nationalism”。原書ではグリーグとシヨパンの共通点として他に、“the great refinement of style, the abhorrence of the commonplace, the rare melodic, harmonic, and rhythmic originality”(様式の大いなる洗練、平凡さへの嫌悪、旋律、和声、リズムの稀有な独創性)が挙げられている(p. 246)。

(25) 「声楽曲中其第一に位する」に対応する言葉は原書には見当たらない(p. 247)。



グリーグ夫妻とビョルンソン夫妻

ふ曲はグリーグがローマでリストに遭って非常に刺撃を受けて帰国後直ぐ作曲したもので此偉大なる音楽家リストに献げられて居る。是れはベオルンソンの作物“Arnljot Gelline”の場面を取ってそれを女声高音部（ソプラノ）と女声中声部（アルト）の独唱に女声の合唱と管絃樂の伴奏を附したもので作品第二十番として出版されて居る。

歌詞⁽²⁶⁾は尼と深夜に修道院を音づれた一少女との対話から成って居る。北方の一少女が恋に破れ親を捨て、旅路に上り一修道院の側を通る時その中から神を崇へる歌が聞へて来たので彼女をして身を屠^{ママ}して恋人の幸福を祈る決心を固めせしめ其尼の昇天の合歌が聞へて来て此憐れな一少女を悲しみから去って神の御恵に生きよと進めるのが其筋で有る⁽²⁷⁾。

[14. グリーグの芸術的信念——愛国心と信仰]

グリーグの一生は彼の音楽の様に美しい。彼は彼の藝術に対して謙遜で且つ誠意を以て居た。彼の考へは愛国的で有って各国の音楽大家を熱心に尊敬した一人で其作品が藝術的価値が有ると信じた場合には亦熱心にそれを広めた。

他の大音楽家と異って彼は同時代の若い音楽家に温い同情を以って居た。現在生きて居るジンティング⁽²⁸⁾等も其一人であった。

十九世紀にイタリアが出した一大音楽家ヴェルディーの死後に彼は書いて居る。「自分はヴェルディーの生きて居る中に近付になれなかった事は実に一大恨事で有る。且って自分がパリーに居た時に彼を訪問した事が有ったが不幸にして外出して居たため会ふ事が出来なかったが其後私の行ったホテルに返礼として来て名刺を置いて行った。その名刺を今でも大事にとって居るが不幸にして彼の名のかはりに自分の名がその名刺に書かれて居るのは実に残念である」。

グリーグのヴェルディーに対する意見は「ベリニーも、ロシニー或はドニッセッチーよりも遥かに勝れて居て十九世紀の大楽劇家ワグナと肩を並ぶべきもので有ると云ふので有る。

ヴェルディーの一大傑作歌劇「アイダ」に関して彼グリーグは下の如く述べて居る。若しも誰か自分にあのヴェルディーの歌劇「アイダ」がどの楽派に属するかを聞くなれば其れに対して私は答へることは出来ない。然しこの大音楽家が仏蘭西及び独逸の音楽から非常な刺撃を受けて居るとは云へ此歌劇「アイダ」は全く彼の独創に依ったもので其処に使はれて居る言葉こそ実に世界各国に通ずる言葉で云はばエスペラントに等しきものだ⁽²⁹⁾。此故を以ってこの歌劇が世界到る処で好評を博し得たのだと云ふことは出来得るのだ。

彼の旋律、和声、管絃樂及び合唱の使用法、特にエジプトの地方色を編み出して居る点の如きは何んと賞讃してよいかそれに適當する言葉を見出し得ない程だ。是等の事は技術上の問題として考へるよりは寧ろ彼が此作物の中に取り扱はれたる場面に対する非常なる想像力に依ると云ふ方が至当で有る。其例として第三幕目の始めのナイル河畔夜影の場であのセロとバスとのフラジオレットの音やビオラのピチカトにフリ

(26) 頼貞は「歌手」と書いているが、原文は The text = 歌詞 (p. 247)。

(27) 南葵音楽文庫所蔵の原書への書き込みには赤鉛筆が使われているが、この段落に相当する部分 (p. 247-248) の行末の傍線のみ青鉛筆が使われている。

(28) クリスティアン・シンディング Christian Sinding (1856 ~ 1941 年)。

(29) 「云はばエスペラントに等しきもの」に対応する言葉は原書には見当たらない (p. 274)。

ユートの非常に奇態な旋律とバイオリンのツレモロ及びアルペジオの音は誰でもをしてあの寂莫たるアラビア沙漠の夜⁽³⁰⁾を想像するに充分である。

グリーグは彼の歌劇「オテロ」を讃美した⁽³¹⁾。そしてコッペンハーゲンの帝国座でスベンセンの指揮の許に同歌劇が上演された時の如きは彼は始めから終りまで熱心に聞いて居た。そして彼は数々人に語って「此『オテロ』の音楽の中にはノールウエーの気分が漂って居る。特にあのデスデモナの死ぬ時の木管楽器の使用法の如きは其一例で有る。作者ヴェルディーはノールウエーの民謡を知って居たから」と云って居た⁽³²⁾。

ヨワキム、ラインハルドの説に依れば「同歌劇の最後の幕の最初の一小節は間違もなくノールウエー風を則った証蹟が有る。否、寧ろグリーグの影響を受けて居る」とまで言っている。

グリーグ自身告白して「自分はモザートを非常に愛好したが中頃それから遠ざかって今又非常に好んで居る。そして是れからは決して遠ざかる事はない」と云った。そして「モザート程如何に半音階が音楽上に大なる位置を占して居ると云ふことを理解して居た人は無い」と述べて居る。

[15. グリーグと彼の友人ベーヤー]

米国の批評家フィンクがグリーグの伝記を書くためにグリーグ未亡人に手紙を送って彼の遺骸を埋葬した時の事やグリーグの最後の日の事に関して同夫人に問ひ合したのに夫人は故人の親友の一人で有るフ란ツベーヤー氏に聞いて呉れと云って来た。

そこでフィ氏はベーヤー氏に手紙を送って問ひ合した其答へに「一九〇七年の夏



グリーグ夫妻とグレインジャー、レントゲン

はグリーグはいつもの通りトロルドホーゲンで過した。其六月⁽³³⁾最後の日に彼は親友であるルウトケン^[レントゲン]⁽³⁴⁾と彼の若い友で有るパーシーグレンジャー氏の訪問を受け楽しく時を送った。是等の人々が去った数日後其疲れの為かグリーグの病勢は進んで不眠と呼吸困難の為に苦しんだ。そこで医者の注意に依ってベルゲンの一病院に入院したが数日後にして良好に趣いたので彼はオホス^[ヴォス]（地名）⁽³⁵⁾に転地したならばその清鮮な空気が速やかに病気を快復せしめると云ふ信念を以て自分と自分の妻及びグ夫人を伴ふて出掛けることになった。そこは実際彼の病気の為めによかった、そこで彼は雪に埋れた山や湖水や林を眺めて喜んで居た。私は彼に全快する迄此処に止まる事を進めたが彼は肯ぜなかった [。]

その秋九月ロンドンで自作の音楽を自ら指揮する約束が有ったので彼は例の義務観念の強い為是非其計画を行ふべく九月の三日にベルゲンを去ってトロルドホーゲンに帰った。そこで我々は出来るだけ窓を明けて空気の流通を計ったれど余り結果はよくなかった。到着した晩は一睡の睡眠をもせず呼吸困難は一層ひどくなった。

九月一日の晩は私と私の妻とはグリーグ

(30) 原文：an African night = アフリカの夜 (p. 275)。

(31) 原文：Grieg also admired the astounding “capacity for still further development, the depth, the versatility” which the ageing master displayed in his “Otello[.]” = グリーグはまたこの老巨匠が「オテロ」で見せた「さらに発展させ、深め、多才であろうとする」驚くべき「能力」を讃美した (p. 275)。

(32) 原書では「コッペンハーゲンの帝国座で……」の文に相当する部分もグリーグの発言の引用となっている。「彼は数々人に語って」に対応する言葉は原書には見当たらない。

(33) 原文：July = 七月 (p. 290)。

(34) ユリウス・レントゲンのこと。注 15 参照。

(35) ヴォス Voss. ノルウェー西部の都市。

の家に居た。その時には医者も居たが彼は日増に弱って来て我々が見ても苦しそうで有った。其夜一ツの手紙を有らん限りの力を以て書き終った。翌日はトルルドホーゲンに行って次の日船でロルダルに赴きその処からクリスチアニアに出で、ロンドンに行くことになって居たから私は船室を彼の為にあつらへて置いた。月曜日の午後私はトルルドホーゲンに彼を見舞ったが病気は悪くなって居たがそれでも彼は馬車に乗って夫人と彼の姉妹と私を連れてベルゲンのノールジホテルに引っ越してそこに英国へ出発するまで居る筈になって居た。翌朝（火曜日）彼を見舞ったが病気は依然として悪かったにも拘らず英国に行く事を変へなかった。数時間後再び彼をホテルに見舞った時彼はもうホテルに居なかつた[たのは] 医者が出発を厳禁して病院へ入院したからで有る。病院では彼は寝台に寝て居た。そして病気は以前より大変悪くなって居たから私は非常に心配になって来た。然し死が近付いて居やうとは少しも思つて居なかつた。寧ろ不眠から起つた事だから翌朝はよくなるであらふと信じて居た。夜も入って病勢は増々募つて来た。彼は寝る為に薬を呑んだが機能がなかつた。『今夜も前夜と同じ様に寝られないであらふ』と彼はつぶやいた。夜の十一時頃大変よくなって微笑などを漏すようになったが間もなくかなり深い眠りに落ちた。翌朝四時彼は何んの苦痛もなく此世を去つた」。

フランツベーヤーはグリーク同様ベルゲンで生まれた。彼はクリスチアニアでグリークに始め会つて彼からピアノの教授を受けた。ベーヤーはグリークから来た手紙を二百通程持つて居る。其最後の手紙の中で⁽³⁶⁾グリークは「ミス、スミスは見れば見る程美しい女だ」と書いて居る。此ミス、スミスこそ後のベーヤー夫人で有る。

一八八三年の十月にグリークはワイマールでリストと⁽³⁷⁾楽しい日を送つた。ライプツヒに歸つて来てからすぐベーヤーに手紙を書いて居る。その中で「私は僅かな数日で非常に多くの事を習つた」と書いて居る。

一八八四年の四月彼の絃楽四部曲がローマで非常によく演奏せられ一般に歓迎せられた後に彼は再びベーヤーに書を送つて「私の作つた此の音楽がイタリア人の心の^[的]まどを射つた。其為め私はますますノールウエーが好きになった」と述べて居る。数週間後グリークはローマでイブセンに会つた。其時の事を書いて居る手紙に「ニナは私がイブセンの詩に付した歌謡を幾つか歌つた。その中の『白鳥の歌』が終つた時⁽³⁸⁾イブセンは目に涙を浮べて私の側に来て[私]の手を固く握つて感激の余り物も云へない程になって居た」。

一八八九年十二月十四日の日付を以てグリークはパリーの一楽堂で非常に困つた事を書いて居る。「私は非常に熱烈に歓迎を受けた。いよいよ管絃楽を指揮しようとする時になって私はバートンを見付ける事が出来なかつた。数分後それを探すべくブラットホームを去らねばならなかつた。小



グリークとベイヤー

(36) 原文：In one of the earliest = その最初の手紙の一つで (p. 295)。

(37) 原文：Liszt and the many other eminent musicians assembled there = リストやこの地に集まつたその他多くの優れた音楽家たちと (p. 295)。

(38) 原文：after 'Margaret's Cradle Song' and especially after the 'Album Lines' and 'A Swan' had been sung = 《マルグレーテの子守歌》[作品 15-1] や、特に《小句集》[作品 25-3] や《白鳥》[作品 25-2] が歌われた後で (p. 297)。



グリーグ《白鳥》

使は何処でも馬鹿なものだ。彼はしまいに私の身の丈程の棒を持って来たが幸のことには非常に細かった。そこで私は其を適宜に折り残りを部屋の隅になげてから管絃楽を指揮した。」譬へグリーグは晩年は病気に苦しめられ又或る一部の批評家に罵られたけれど一方に於て彼は幸福で有った。

[参考文献]

最後にグリーグに関する書籍に就いて述べれば一九〇六年にH. T. Finck著の「グリーグと其音楽」(Grieg and His Music - New York: John Lane Company)が出版されん以前に於ては英語で書いた彼の伝記及び音楽に關した本は一冊も無かった。仏蘭西語で書いた本はそれより以前に出版されて居る。

一八九二年にClossonが著した「エドワルドグリーグとスカンヂナビヤ音楽」(Edvard Grieg et la Musique Scandinave - Paris: Librairie Fischbacher)が出版されて居たけれど僅かに四十頁の小冊に過ぎない。其後、一九〇三年に至ってノー

ルウエー人のSchjelderup著の (Edvard Grieg og hans Vaerker) が出来たがノールウエー語では二三よい本が出て居る。

一九〇六年に至ってライプチヒのブライトコップフ、ウンドヘルッテル書店の出版によるNiemann著の「スカンヂナビヤ音楽」(Die Musik Skandinaviens) 中にかなり詳しく書かれて居るが尙一九〇六年⁽³⁹⁾ライプチヒのC. F. Peters書店から出版されたGerhard Schjelderup及びWalter Niemann共著の「エドワルドグリーグ」(Edvard Grieg) が最良の本で有る。

是れ以上研究される方はフィンの著書を参照するゝのが便利で有る。

(註大体フィン著「グリーグ及其音楽」に依る)

一九二〇年八月十九日

輕井沢にて稿す

(39) 原文：1908 (p. 304)。

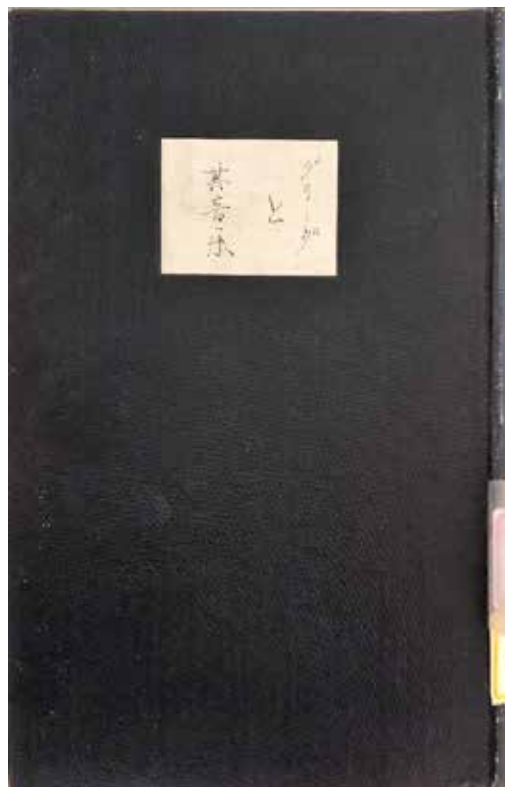
凡例

本紀要第7号 (p. 46-56) に続き、南葵音楽文庫に収蔵されている徳川頼貞の手稿「グリーグとその音楽」の後半部分、全79ページ中の47ページ以降を掲載した。転記を原則としたが、明らかな誤字、脱字は改めた。漢字の字体は新字体で統一した。ただし、同音の漢字の書き換え（絃→弦、洲→州、など）は行わず、原文のままとした。句読点は原則として原文に従ったが、読者の便宜を配慮し適宜補った箇所もある。鍵括弧類も同様に適宜補った。

「グリーグとその音楽」は、ヘンリー・フィンク Henry Finck (1854 ~ 1926年) 著 *Grieg and His Music* (New York: J. Lane, 初版: 1906, 南葵音楽文庫所蔵本は1910年版, 和歌山県立図書館請求記号: ナ/762.3/GR/) の抄訳であり、本号掲載部分は全15章中の第10章以降に相当する。原文と頼貞の訳文とを対照し、文意が異なる箇所には、注に原文と拙訳、原書1910年版の掲載ページを付した（原書は版によってページ数が異なる。本稿では南葵音楽文庫所蔵本でのページ番号を参照している）。また頼貞の手稿では省略されている各章のタイトルも訳して〔 〕で補った。

南葵音楽文庫所蔵の原書には所々、頼貞によるものと思われる赤鉛筆による下線、傍線が見られる。ここに頼貞の抄訳を掲載するにあたり、手稿に線引きがあるわけではないが、彼が原書に線を引いた箇所には、同様に下線、傍線を付した。ただし原書に下線が引かれていても頼貞が訳出していない文もある。

手稿の書き起こしには林淑姫氏のご協力をいただきました。記して御礼申し上げます。



「グリーグとその音楽」

徳川頼貞自筆原稿
罫線入縦書用箋 (21.0 × 13.0cm)
80 枚 (79p.)
製本 29.5 × 14.4cm
ペン書き
題簽 (自筆)
「グリーグ / と / 其音楽」
シール「14y」
(裏表紙見返しに貼付)
和歌山県立図書館
請求記号: ナ/762.3894/グ

解題

「グリーグとその音楽」は、南葵音楽文庫が所蔵する徳川頼貞の手稿3点のうちの1点である。紀要第6号に全文を掲載した別の手稿「指揮者ヘンリー、ウッドに関して」⁽¹⁾と同じく、英語文献の抄訳で、同じ縦書き12行の便箋に書かれ、執筆時期も重なる。「指揮者ヘンリー、ウッドに関して」は、1920（大正9）年8月15日に頼貞が原書を読み終え（頼貞は原書の本文末尾に読み終えた日付を書き入れている）⁽²⁾、同

(1)「徳川頼貞抄訳『指揮者ヘンリー、ウッドに関して』(1920)」『南葵音楽文庫紀要』6号(2023), p. 66-77.

(2)原書は南葵音楽文庫所蔵。Rosa Newmarch, *Henry J. Wood* (London: John Lane, 1904). 和歌山県立図書館請求記号: ナ/762.8/LI/1.

年9月17日に抄訳が書き上げられた（抄訳の最後に日付が記されている）。「グリーグとその音楽」は、1920年8月14日に原書を読み終え（ウッド論と同様、南葵音楽文庫所蔵の原書の本文末尾に読み終えた日付の書き入れがある）、5日後の8月19日に抄訳が脱稿された。ウッド論とグリーグ論、2冊の原書は同時並行で読まれ、赤鉛筆（一部は青鉛筆）による線引きがある点も共通している。そして2冊の抄訳も、同時並行で作られたことになる。

これらの手稿が書かれた1920年は、頼貞の第2次外遊（1921年1月25日～11月3日）の前年であった。頼貞は第2次外遊中にロンドンでウッドと面会しており、頼貞がウッド論を読んだのは面会のための準備だったのかもしれない。しかしグリーグ論に関しては、この推測は当てはまらない。第2次外遊において、頼貞はグリーグが活躍した北欧地域を訪れてはおらず、またこの時期の著作等にも、グリーグに特別な関心を示していた形跡は見られない。当時の南葵文庫音楽部に目を転じて、グリーグに関する書籍や楽譜が積極的に蒐集されていた様子はない。頼貞が北欧を訪れたのは1929年の第三次外遊中で、このとき彼はスウェーデンとデンマークを歴訪したが、このときのことを記した著作にも、グリーグに関する言及は見当たらない。

したがって頼貞のグリーグに対する関心を文献から探ることは困難であるが、頼貞が運営していた南葵楽堂の演奏会では、1920年にグリーグの作品が2曲取り上げられており、その選曲は頼貞の意向を反映したものであった可能性が高い。1920年5月8日開催の「春期音楽演奏會」においてはグリーグのピアノ・ソナタ ホ短調 作品7の第3楽章がシンプソン・ベーキー夫人によって演奏され、さらに11月22日のパイプオルガンの完成を記念する「特別音楽演奏」においてはグリーグのヴァイオリン・ソナタ第2番 ト長調 作品13が安藤幸



ハンカ・ペッツォルト



ゲルハルト・シェルデルupp

子（ハンカ・ペッツォルト Hanka Petzoldt (1862～1937年) がソプラノ独唱で出演しており、彼女はグリーグの伝記の執筆者ゲルハルト・シェルデルupp Gerhard Schjelderup (1859～1933年) を兄とする（シェルデルuppの名はフィンの「グリーグとその音楽」の参考文献にも見られる）。ハンカ・ペッツォルトはグリーグの多くの作品を日本に紹介しており、頼貞のグリーグに対する関心も彼女がきっかけであったのかもしれない。

頼貞は抄訳の最後に次のように記している。「是れ以上研究される方はフィンの著書を参照するゝのが便利で有る」。この一文は、無論フィンの原書にはなく、頼貞による補足である。明らかに頼貞は、こ

子のヴァイオリン、パウル・ショルツのピアノで演奏された⁽³⁾。南葵楽堂の演奏会でグリーグ作品が上演されたのはこの2回のみで、その2回が、頼貞がフィンの著書を読み、抄訳を執筆した年であったことは、興味深い符合である。

南葵楽堂におけるこれらの演奏会の1回前の1919年12月14日開催の「秋期音楽演奏會」では、ノルウェー出身で当時東京音楽学校の教員であったハン

(3) 篠田大基「南葵楽堂の演奏会プログラム」『南葵音楽文庫紀要』2号(2019), p. 25-34 参照。南葵楽堂における演奏会の曲目選定に頼貞のコントロールが働いていた可能性を指摘した。



小泉治『ギリグとその音楽』
南葵音楽文庫の3冊の所蔵本

の抄訳をギリグに関心を持つ人々に供することを意図しており、わが国にギリグという作曲家と作品をより広く紹介しようと考えていたのであろう。南葵音楽文庫に残された頼貞の手稿の出版計画が具体的にあったのかは不明であるが、この抄訳は、後に本邦初のギリグ研究書として知られることになる小泉治の訳書『ギリグとその音楽』⁽⁴⁾に5年先駆けての執筆であり、奇しくも小泉と同じ本の翻訳であった。南葵音楽文庫には小泉訳の『ギリグとその音楽』も3冊が収蔵されている（和歌山県立図書館請求記号：ナ/762.3/ギリ）。

（篠田大基）

(4) 小泉治『ギリグとその音楽』（白眉出版，1925）。



収蔵資料 目録と紹介

南葵音楽文庫収蔵「カミングス文庫」の研究

—カミングス文庫「印刷楽譜」目録—

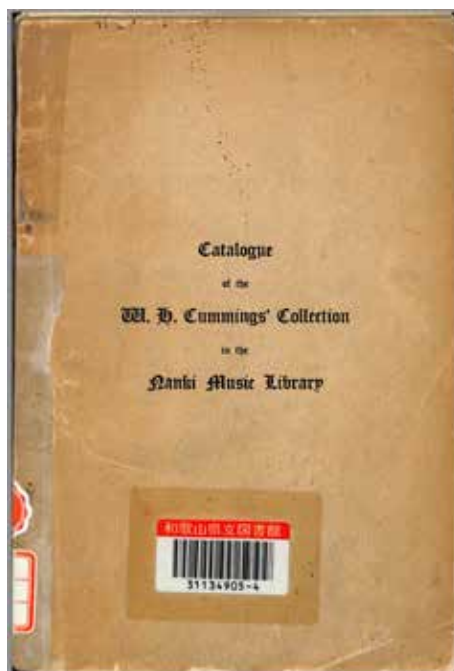
これは、南葵音楽文庫が収蔵するカミングス文庫の「印刷楽譜」の目録である⁽¹⁾。『カミングス文庫「音楽書」目録』⁽²⁾の続編となる。

南葵音楽文庫収蔵のカミングス文庫については、1925（大正14）年にその唯一の目録となる *Catalogue of the W.H. Cummings' Collection in the Nanki Music Library*⁽³⁾（以下『1925年カミングス文庫目録』）が編纂されたが、刊行から長い年月が経過して入手が困難となり、さらに今日に至る100年の間に失われた資料もあり、現状を反映した最新の目録の作成が喫緊の課題となっていた。1970（昭和45）年にはカミングス文庫を含む、南葵音楽文庫の貴重書全体を対象とする大木コレクション・南葵音楽文庫編『蔵書目録（貴重資料）*Catalogue of Rare Books and Notes*』⁽⁴⁾（以下『1970年貴重書目録』）が編纂されたが、いずれの資料がカミングス文庫に属するものであるのか記載されていないため、これをカミングス文庫の目録とすることはできない。

南葵音楽文庫のカミングス文庫は、世界的にも貴重な資料を含む、南葵音楽文庫の中核に位置する重要な資料群である。それは、イギリス、ヴィクトリア朝を代表する音楽資料収集家であるウィリアム・ヘイマン・カミングス William Hayman Cummings（1831～1915年）の旧蔵

書の一部で、徳川頼貞が、南葵楽堂に付属の音楽図書館の資料を充実させるために⁽⁵⁾、1917年に購入したものである⁽⁶⁾。

カミングス文庫全体は、主に楽譜と音楽書から構成され、それぞれに手写資料と刊本資料がある。数は多くはないが、音楽とは直接関係のない一般書も含まれている。総資料点数は700点を超える。今回の『カミングス文庫「印刷楽譜」目録』が対象としたのは、それらから音楽書と手写楽譜を中心とする手写資料、そして一般書を除いた450点を超える印刷楽譜である。



1925年版目録「表紙」

(1) 本目録の作成にあたっては、林淑姫氏と長谷川由子氏（元国立音楽大学附属図書館司書）から多大な協力をいただいた。記して感謝申し上げる。

(2) 佐々木勉「南葵音楽文庫収蔵『カミングス文庫』の研究—その沿革とカミングス文庫『音楽書』目録」『南葵音楽文庫紀要』4号（2021）p.15-24, 72-85.

(3) *Catalogue of the W.H. Cummings' Collection in the Nanki Music Library*, (Tokyo : Nanki Music Library, 1925).
なお、1929年には *Catalogue of the Nanki Music Library, Part 1 Musicology*, (Nanki Music Library, 1929) が刊行されたが、カミングス文庫については、すでに1925年に目録が刊行されているという理由で除外された。また兼常清佐と辻荘一の共著による『南葵音楽図書館所蔵カミングス文庫に就て』南葵音楽図書館（1926、非売品）は、カミングス文庫の蔵書を網羅的に解説したものではない。

(4) 大木コレクション・南葵音楽文庫編『蔵書目録（貴重資料）*Catalogue of Rare Books and Notes*』, 東京音楽文化センター, 1970, 非売品。

(5) 徳川頼貞『舊庭楽話』美山良夫校注（中央公論新社, 2021）p.153-154.

(6) 購入の経緯については、篠田大基「ダブルユー・エイチ・カミング博士文庫」「カミング音楽文庫競賣残餘図書購入顛末」「資料解題」『南葵音楽文庫紀要』1号（2018）p.88-91、および佐々木勉「南葵音楽文庫収蔵『カミングス文庫』の研究—その沿革とカミングス文庫『音楽書』目録」『南葵音楽文庫紀要』4号（2021）p.18-19を参照。

凡例

目録の記述は、著者（あるいは編者）、タイトル、出版地および出版社、刊年、ページ数およびサイズと判型、注記1（旧蔵者の蔵書票やサインなどの来歴に関連する情報）および注記2（合本情報、楽譜の形態など）、資料記号（請求記号）、『1970年貴重書目録』における記載ページ、旧資料記号（『1925年カミングス文庫目録』における番号）、そしてカミングス旧蔵コレクションの競売目録⁽⁷⁾（ロット）番号（特定できる場合のみ）からなる。

各資料の記載順は、基本的に作曲者、あるいは編纂者のアルファベット順、さらに一人の作曲者に複数の作品がある場合には、タイトルのアルファベット順による。個別に刊行された、異なる作曲家による複数の資料が一冊に製本され、合本になっている場合、当目録では、それらを個別に記載し、「注記2」にいっしょに合本されている他の資料を示した。なお、上記のように一人の作曲者による資料はアルファベット順に記載したが、多数のピース楽譜がまとめて製本され、合本となっているような資料については、それらを個別に記載はしたが、その順序は、煩雑さを避けるために合本における製本順とし（例えば、ハットン Hatton, John Loptrotによる4巻の歌曲集 N-4/24, N-4/25, N-4/26, N-4/27）、作品タイトルのアルファベット順にはなっていない。資料記号（請求記号）は、現在も使用されていることから、『1970年貴重書目録』に従った。そして合本内の複数の資料を個別に記載した場合には、請求記号の後に括弧（ ）に入れてその収録順を示した。タイトルは、全体を転記するように努めた。資料のサイズは実測によっており、最大値を示したが、誤差が大きいことをあらかじめ明記しておく。資料サイズには、『1925年カミングス文庫目録』に記載されている判型を付記した。

旧資料記号とは、『1925年カミングス文庫目録』における番号である⁽⁸⁾。なお、作曲者名などについては、原則的に『ニューグロヴ世界音楽大事典 *The New Grove Dictionary of Music and Musicians*』（2001）に従い、生没年を付した。

目録の最後には、『1925年カミングス文庫目録』に記載はあるが、現在所在が確認できない資料の一覧を付した。

（佐々木勉）



同「タイトルページ」「印刷楽譜冒頭ページ」

(7) *Catalogue of the Famous Musical Library of Manuscripts, Autograph Letters and Printed Books, The Property of the Late W.H. Cummings, Mus.Doc. of Sydcote, Dulwich, S.E.*, (Sotheby, Wilkinson & Hodge, 1917).

(8) 『1925年カミングス文庫目録』における図書の分類については、下記に詳しい。林淑姫「ミュージック・ライブラリーの夢、南葵音楽文庫の成立と展開（2）」『南葵音楽文庫紀要』2号（2019）、p.15-24.

南葵音楽文庫収蔵カミングス文庫「印刷楽譜」目録

作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
1 Albert, Heinrich (1604-1651)	Poetisch- Musikalisches Lust Wäldlein das ist Arien oder Melodeyen Etlicher theils Geistlicher, theils Weltlicher, zur Andacht, guten Sitten, keuscher Liebe und Ehren-Lust dienender Lieder: In ein Positiv, Clavicimbel, Theorbe oder anders vollstimmiges Instrument zu singen gesetzt von Heinrich Alberten. Siebenter Theil der Arien, etlicher theile geistlicher zum Trost...Heinrich Alberten.	Königsberg
2 Ammon, Blassio [Blasius] (c1560-1590)	Sacrae cantiones, quas vulgo moteta vocant, quatuor quinque et sex vocum, quibus adiuncti sunt ecclesiastici hymni de Nativitate, Resurrectione et Ascensione Domini, nunc primum in usum ecclesiae summa diligentia in lucem aeditae. Authore F. Blasio Ammon Tyrolensi. Quinta vox.	München: ex officina typographica Adami Berg
3 Arcadelt, Jakob (1504/05-1568)	Arcadelt primo cinquanta et sei madrigali a quattro voci dello eccellente musico Giaches Arcadelt cantore della capella del Papa, di nuovo riveduti, & con somma diligentia corretti. Libro primo. Cantus.	Venezia: per Plinio Pietrasanta
4 Arcadelt, Jakob (1504/05-1568)	Mottetti del fiore a quattro voci novamente ristampati, et con somma diligentia ravisti et corretti. Libro primo. A Quatro voci. Cantus.	Venezia: appresso Francesco Rampazetto
5 Arne, Thomas Augustine (1710-1778)	The Monthly melody: or polite amusement for gentlemen and ladies. Being a collection of vocal and instrumental music composed by Dr. Arne.	London: printed for G. Kearsly
6 Arne, Thomas Augustine (1710-1778)	The monthly melody: or polite amusement for gentlemen and ladies. Being a collection of vocal and instrumental music composed by Dr. Arne.	London: printed for G. Kearsly
7 Arne, Thomas Augustine (1710-1778)	The original musick in the Tempest, as composed by Purcell, Dr. Arne & Linley, now performing at the Theatre Royal Covent Garden, with universal approbation. The overture and additional new music composed & the whole arranged by J. Davy, and dedicated by permission to J.P. Kemble Esqr.	London: printed & sold by C.Lonsdale (late Birchall & Co.)
8 Arne, Thoma Augustine (1710-1778)	The Songs and Duetto, in the Blind Beggar of Bethnal Green ; as perform'd by Mr. Lowe, and Mrs. Clive, at the Theatre-Royal, in Drury-Lane. With the favorite songs, sung by Mr. Lowe, in The Merchant of Venice, at the said Theatre to which will be added, a collection of new songs and ballads, the words carefully selected from the best poets.Compose'd by Thomas Augustine Arne. N.B. All the songs and ballads, which are not in proper keys for the German flute, are transpose'd, with the bass to them, at the end of the book.	London: printed by William Smith
9 Bach, Carl Philipp Emanuel (1714-1788)	Karl Wilhelm Hammlers Auferstehung und Himmelfahrt Jesu, in Musik gesetzt von Karl Philipp Emanuel Bach.	Leipzig: im Breitkophischen Verlage London: imported and sold by Chappell and Co.
10 Bach, Johann Christian (1735-1782)	Braes of balladen, as sung by Mr.Tenducci, at the Festino Rooms in Hanover Square in the year 1779. Accompanied on the piano forte by Mr. Bach, the hauboy by Mr.Fischer, the violin by Mr.Cramer, the tenor by Mr.Giardini, the violoncello by Mr.Crosdill. The instrumental parts compos'd for the above capital performers by the late celebrated Mr.Bach.	London: printed & sold by Tho[mas] Cahusac
11 Bach, Johann Christian (1735-1782)	The favorite rondeau, sung by Mr.Teducci at Messrs Bach and Abel's concert accompaniment on the piano forte by Mr.Bach and on the hautboy by Mr. Fischer adapted for the harpsichord and occasional accompanymnet for the flute with English words. Begins: Venus queen of tender pasion]	London: to be had with ... Mr. Tenducci...engraved by J.B.Scherer
12 Bach, Johann Christian (1735-1782)	A new lesson for the harpsichord or piano forte, composed by J.C.Bach of London. [WA10b, Keyboard sonata G-major]	London: printed and sold by Longman Lukey and Co.
13 Bach, Johann Christian (1735-1782)	A second sett of six concertos for the harpsichord or piano forte with accompaniments, for two violins & a violoncello humbly dedicated to Her Majesty Charlotta, Queen of Great Britain &c, &c, &c. By John Christian Bach. Opera VII.	London: printed by Welcker
14 Bach, Johann sebastian (1685-1750)	Einige canonische Veraenderungen über das Weynacht-Lieder Vom Himmel hoch da komm ich her vor die Orgel mit 2. Clavieren und dem Pedal von Johann Sebastian Bach Königl: Pohl: und Chur-Sæchß: Hoff Compositeur Capellm. u. Direct. Chor Mus.Lips.	Nürnberg in Verlegung Balth: Schmids (PN XXVIII)
15 Beethoven, Ludwig van (1770-1827)	Adelaide. Gedicht von Matthisson, (mit deutschem und italienischem Texte) für eine Singstimme mit Begleitung des Pianoforte in musik gesetzt von L. van Beethoven.	Berlin: bei Ed. Bote & G.Bock (PN 30)
16 Beethoven, Ludwig van (1770-1827)	Sinfonie mit Schuss-Chor über Schillers Ode: "An die Freunde" für grosses Orchester, 4 Solo- und 4 Chor- Stimmen. compount und seiner majestaet dem König von Preussen Friedrich Wilhelm III. in liester Ehrfurcht zugeeignet von Ludwig van Beethoven. 125tes Werk.	Mainz und Paris: Bey B. Schotts Söhnen (PN 2322) Antwerpen: bey A. Schott
17 Bishop, Henry (1786-1855)	Melodies of various Nations, with symphonies and accompaniments by Henry R. Bishop. The words by Thomas Bayly Esqr. Author of Rough Sketches of Bath. [1st Volume] Melodies of various Nations...Bath. Vol.2. Melodies of various Nations...Bath. Vol.III Melodies of various nations...Bayly Esqr. Vol.4	London: Goulding, D'Almaine, Potter & Co.
18 Blow, John (1649-1708)	An ode, on the death of Mr. Henry Purcell ; Late servant to his Majesty, and organist of the Chapel Royal, and of St. Peter's Westminster. The words by Mr. Dryden, and sett to musick by Dr. Blow.	London: printed by J. Heptinstall for Henry Playford
19 Blow, John (1649-1708)	The Queen's Epicedium set by Dr. Blow . Latine Redditum, Henricus Purcell.	London: John Playford
20 Blow, John (1649-1708)	Three elegies upon the much lamented loss of our late most gracious Queen Mary the words of the two first by Mr. Herbert ; the latter out of the Oxford verse ; and sett to musick by Dr. Blow and Henry Purcell.	London: printed by J. Heptinstall, for Henry Playford

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) vol. no.	
[n.d., 1648]	[vi], 157p., [ii], 26p., 32.0 x 19.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Cut off from unknown auction catalogue		N-3/33	34	o.0/55	10	1
1590	[ii], [47p.], [i], a Blank page, 14.7 x 20.0cm: obl. 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/30	34	p./48		2
1557	[ij], 46p., 14.8 x 21.4cm: obl. 12mo	Cutout "Arcadelt, Giaches. Madrigali. Sm obl. Venice: Plinio Pietrasanta, 1577 / Fiore, motteti, 1564. W.H.Cummings, Esq." from unknown volume as a label of the book. "M W" engraved on the front cover Exlibris of W.H.Cummings Sing of Michel Wheeler	Bound with N-1/18(2)	N-1/18(1)	34	o.4/104		3
1564	[ii], 3-48p., 14.8 x 21.4cm: obl. 12 mo		Bound with N-1/18(1)	N-1/18(2)	34	Not listed		4
1760	vi, 7-48p, 1-37p., 1-35p., 32.5 x 20.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	see N-3/39(1)	N-3/21	34	o.0/43	1117	5
1760	vi, 7-48p., 1-72p., 32.7 x 21.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Notes, written by W.H.Cummings, on "Aileen Aroon" (N-3/39[2]) with Irish words at end of the volume.	Full of disordered leaves Bound with N-3/39(2) see N-3/21	N-3/39(1)	34	o.0/44	1117?	6
[n.d., 1821]	69p., 36.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-7/35	50	o.0/16		7
[n.d., 1741?]	[ii], 28p., 31.6 x 24.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of "Mr. F. Smee Bank of England"		N-6/3	34	o.1-2/52	1538	8
1787	184p., 36.2 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "Hillars"		N-7/03	34	o.52/18	209	9
[n.d., 1800c]	8p.		Bound with N-4/13(1)- (2)(4)-(6)	N-4/13(3)	44	o.1/(s.f-11)		10
[n.d., 1780c]	4p.		Bound with N-4/13(1)- (4)(6)	N-4/13(5)	44	o.1/(s.f-11)		11
[n.d., 1770c]	2-3p., 34.8 x 25.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-6/4(2)	N-6/4(1)	35	f.11/5	212	12
[n.d., 1775?]	39p.		Bound with N-6/4(1) Part of harpsichord only	N-6/4(2)		f.11/5		13
[n.d., 1748]	6p., 37.0 x 23.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/04	34	g.11/1	209	14
[n.d.]	11p.		Bound with N-6/84(1)-(3)(5)-(13)	N-6/84(4)	52	o.11/80		15
[n.d., 1826]	226p., 34.3 x 27.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/23	35	m.1		16
Vol.1, [n.d., 1822], Vol. 2 [n.d., 1823], Vol. 3, [n.d., 1825], Vol. 4, 1830	iii, 77, 79, 66, 61p., 39.0 x 29.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Comment on the volume written by W.H.Cummings	4 volumes combined into 1.	N-7/08	36	o.11/4		17
1696	[ii], 30p., 31.7 x 20.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/12	36	o./48	1406	18
[n.d.]	18p.	Reprint from "The Whole Book of Psalms in 3 parts" etc., by John Playford. See N-6/26(2)	Bound with N-6/103(1)(3)	N-6/103(2)	40			19
1695	18p.		Bound with N-6/26(1)	N-6/26(2)	40	Not listed	1255	20

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地 : 出版社 (者) Publication : Place, Publisher
21	Bononcini, Giovanni Battista (1670-1747)	Divertimenti da camera traddotti pel cembalo da quelli composti pel violino o flauto da Giovanni Bononcini.	London
22	Bononcini, Giovanni Battista (1670-1747)	Griselda an opera as it was perform'd at the Kings Theatre for the Royal Accademy compos'd by Mr. Bononcini. Publish'd by the author.	London: printed and sold by I. Walsh
23	Bononcini, Antonio Maria (1677-1726)	Songs in the new opera of Camilla. By Seignior Bononcini. As they are performe'd at the Theatre Royal. Fairly ingrav'd on copper plates, and more correct than the edition. Note: These songs are printed to that their symphonies may be perform'd with them.	London: printed for John Cullen
24	Bononcini, Giovanni Battista (1670-1747)	The Anthem which was performed in King Henry the Seventh's Chappel at the funeral of the most noble & victorius prince John Duke of Marlborough. The words taken out of Holy Scripture and set to musick by Mr. Bononcini.	London: printed for Rich[ar]d Meares
25	Boyce, William (1711-1779)	The Caplet. A musical entertainment. As it is perform'd at the Theatre Royal in Drury Lane. Compos'd by Dr. Boyce.	London: printed for J[ohn] Walsh
26	Boyce, William (1711-1779)	The Caplet. A musical entertainment. As it is perform'd by His Majesty's Company of Comedians, at the Theatre-Royal in Covent-Garden. The music compos'd by Dr. Boyce.	London: printed for T. Lowndes, T. Caslon, W. Nicoll, and S. Bladen
27	Boyce, William (1711-1779)	Twelve sonatas for two violins ; with a bass for the violoncello or harpsichord. By William Boyce. Composer to His Majesty. (Violino primo)	London: printed for the author & sold by I. Walsh
28	Boyce, William (1711-1779)	Twelve sonatas for two violins ; with a bass for the violoncello or harpsichord. By William Boyce. Composer to His Majesty. (Violino secondo)	London: printed for the author & sold by I. Walsh
29	Caix d'Hervelois, Louis de (1670/80-1759)	Pièces de viole avec la basse continue composees par Monsr. de Caix d'Hervelois. Livre premier Pièces de viole avec la basse continue composees par Monsr. de Caix d'Hervelois. Libre second	Vol.1, Amsterdam: aux depens d'Estienne Roger vol.2, Amsterdam: Chez Michel Charles Le Cene
30	Carey, Henry (1687?-1743)	[Works. Vocal. Selections] Contains 3 volumes of songs, 11 songs & 5 songs in ms.	
31	Carey, Henry (1687?-1743)	The Works of Mr. Henry Carey, vol.I. The third edition.	London: printed in the year MDCCVIII. And sold at the Musick Shops.
32	Carey, Henry (1687?-1743)	Six songs for conversation: The words by divers hands. The tunes contrived to make agreeable little lessons for the harpsichord, viol, violin, and hautboy. Transposed into proper keys for the German, or common flute. Offer'd in all gratitude, as a new year's gift to the publick. By Henry Carey. Vol. II part.I.	London: printed in the year 1728. And sold at the Musick Shops.
33	Carey, Henry (1687?-1743)	Six ballads on the humours of the town, suited to all voices, instruments and capacities. The words and musick by Mr. Carey. Vol. II part II.	London: printed in the year 1728. And sold at the Musick Shops.
34	Carey, Henry (1687?-1743)	A song the words taken from a French auther set to musick by Mr.Carey (Begins: Sortez des vos Retraites)	
35	Carey, Henry (1687?-1743)	Sally sweet-bread's foliloquy. A ballad by Mr.Carey, sung by Ms. Roberts in the caracter of a Butcher's Wife. (Begins: Now ye good man's from home)	
36	Carey, Henry (1687?-1743)	The agreeable amusement. The happy butchers wives. The words and music by Mr. Carey. (Begins: Tho' the Apron we carry before us)	
37	Carey, Henry (1687?-1743)	The agreeable amusement. The modern bear. The words and musick by Mr. Carey. (Begins: Come hither my country)	
38	Carey, Henry (1687?-1743)	The power of beauty or the snake set by Mr.Carey (Begins: Is there a charm ye pow'rs above)	
39	Carey, Henry (1687?-1743)	The tell tale, within compass of the flute by Mr. Carey (Begins: Blab not what you ought to smother)	
40	Carey, Henry (1687?-1743)	Cato's advice, set by Mr. Carey (Begins: What Cato advices)	
41	Carey, Henry (1687?-1743)	Windsor shades, set to musick by Mr.Carey (Begins: Waft me some soft de cooling breeze)	
42	Carey, Henry (1687?-1743)	4 manuscript sheet in pocket, containing 5 songs.	
43	Carini, Sig.	The tragical story of the mare, composed by Sig. Carini (Begins: Unhappy me! what shall I do)	
44	Cervetto, James (1748-1837)	Three duetts for two violoncellos or a violin and violoncello. Composed & humbly dedicated to the Earl of Aylesford, by James Cervetto. Book 1. Op.6. [Separate parts for violoncello primo or violin, and violincello]	London: printed for R.Birchhall at his Musical Circulating Library
45	Cervetto, James (1748-1837)	Six duetts for two violoncello or violin and violoncello, composed & respectfully dedicated to Richard Thompson Esqr. by James Cervetto. Op.5 [Separate parts for violoncello primo or violin and violincello]	London: printed by R.Birchhall
46	Cervetto, James (1748-1837)	Twelve Divertiments in an easy stile for two violoncello's, a most humbly inscrib'd to John Smith Esqr. By his most gratefull and obedient humble servant James Cervetto Junr. Opera 2da.	London: printed for author
47	Cervetto, James (1748-1837)	Six solos for the violoncello with a thorough bass for the harpsichord composed by James Cervetto Jun. and dedicated to the Right Hon[ora]ble the Earl of Pembroke. Opera.1.	London: printed for the author to be had of him at Mr. Gwynn's Glazier

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1970) lot no.	
[n.d.]	[iii], 40p.		Bound with N-3/10(1)(2)(3)	N-3/10(4)	52/53	f.11/16		21
[n.d., 1722]	[iii], 76p., 34.3 x 23.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/13	36	o.52/31	324	22
[n.d., 1707]	[viii], 47p., 34.5 x 22.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the work and "Bononcini" family by W.H.Cummings		N-6/14	36	o.51/32	324	23
[n.d., 1722]	36.5 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-7/10	36	o.52/19		24
[n.d., 1750]	[iii], 2-46p., 1.5 x 24.3cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score Bound with N-3/16(2)	N-3/16(1)	36	o.52/53	332	25
1767	[i], [1-3], 4-35p., 17.2 x 10.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	libretto Bound with N-3/16(1)	N-3/16(2)	36	Listed with o.52/53		26
1747	[xiii], 34p., 32.7 x 24.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Set with N-6/15 (part book of violino primo)	N-6/15	36	h.12/1	332	27
1747	34p., 32.7 x 24.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Set with N-6/16 (part book of violino secondo)	N-6/16	36	h.12/1	332	28
[n.d., 1710]	vol.1., [i], 2-43p., vol.2, [i], 2-68p., 28.7 x 21.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	2 volumes combined into 1	N-2/16	37	j.11/4		29
[n.d.]	155p., 34.5 x 22.5cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings, with red pencil Contents list of the volume written by W.H.Cummings Sign of "Marg[are]t Cerjat"	3 volumes and 11 songs combined into 1.	N-7/12	37	o.11/29	398	30
1728	48p.		Bound with N-7/12(2)-(15)	N-7/12(1)	37	o.11/29		31
1728	[iii], 6p.		Bound with N-7/12(1)(3)-(15)	N-7/12(2)	37			32
1728	[iii], 6p.		Bound with N-7/12(1)(2)(4)-(15)	N-7/12(3)	37			33
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(5)(7)-(15)	N-7/12(6)	37			34
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(6)(8)-(15)	N-7/12(7)	37			35
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(8)(10)-(15)	N-7/12(9)	37			36
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(9)(11)-(15)	N-7/12(10)	37			37
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(10)(12)-(15)	N-7/12(11)	37			38
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(11)(13)-(15)	N-7/12(12)	37			39
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(12)(14)(15)	N-7/12(13)	37			40
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(13)(14)	N-7/12(14)	37			41
[n.d.]			Bound with N-7/12(1)-(14)	N-7/12(15)	37			42
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(47)(9)-(15)	N-7/12(8)	37			43
[n.d., 1795?]	17, 17p., 33.0 x 25.0cm: obl. folio		Bound with N-4/43(2)-(6)	N-4/43(1)	37	j.11/1		44
[n.d., 1795?]	23, 23p.		Bound with N-4/43(1).(3)-(6)	N-4/43(2)	37	j.11/1		45
[n.d., 1771]	43p.		score Bound with N-4/43(1)(2)(4)-(6)	N-4/43(3)	37	j.11/1		46
[n.d., 1768]	24p.		score Bound with N-4/31(1)-(3)(5)-(6)	N-4/43(4)	37	j.11/1		47

作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
48 Cervetto, James (1748-1837)	Six lessons or divertiments for two violoncellos, composed by Sigr. Cervetto. Opera quarta.	London: printed for John Johnson
49 Cervetto, Giacomo (James) (1747-1837)	A sonata for the violoncello by Giacomo Cervetto (1747-1837). With an accompaniment for the pianoforte arranged from the figured bass by Richard Walthew. And dedicated by Special Permission to Señor Pablo Casals.	London: published by William E. Hill & Sons (PN 13789)
50 Cherubini, Luigi (1760-1842)	Chant sur la mort de Joseph Haydn à trois voix, avec accompagnements. Dédié à son altesse sérénissime Le Prince Nicolas Esterhazy de Palautha...par L.Cherubini.	Paris: Au magazin de musique (PN 671)
51 Chilesotti, Oscar (ed.) (1848-1916)	Lautenspieler des XVI. Jahrhunderts. Liutisti del cinquecento. Ein Beitrag zur Kenntnis des Ursprungs der modernen Tonkunst von Oscar Chilesotti.	Leipzig: Breitkopf & Härtel (PN 19293)
52 Clarke-Whitfield, John (1770-1836)	Twelve vocal pieces, most of them with original poetry. Written expressly for this work by Mrs. Joanna Baillie, Walter Scott, Esqr. W.illiam Smyth, Esqr. Ja[m]es Hogg, the Scots, Shephere, John Stewart, Esqr. Lord Byron. Composed & respectfully inscribed to Mrs. William Frere, by John Clarke, Mus: Doc: Cam[bridge], Vol.1. Twelve vocal pieces, most of them with original poetry. Written expressly for this work by Mrs. Joanna Baillie, Walter Scott, Esqr. W.illiam Smyth, Esqr. Ja[m]es Hogg, the Scots, Shephere, John Stewart, Esqr. Lord Byron. Composed & respectfully ascribed to Mrs. William Frere, by John Clarke, Mus: Doc: Cam[bridge], Vol.2.	London: printed for the author
53 Clari, Giovanni Carlo Maria (1677-1754)	Sei madrigali, Messi in musica dal Sigr. Gio. Carlo Maria Clari. Pisano. Parte prima.	[London]
54 Clementi, Muzio (1752-1832)	Clementi's musical characteristics, or a collection of preludes and cadences for the harpsichord of pianoforte composed in the style of Haydn, Koseluch, Mozart, Sterkel, Vanhal and the author. Opera 19.	London: printed for Longman and Broderip
55 Clementi, Muzio (1752-1832)	Six sonatas for the piano-forte. Dedicated to Mrs. Heyrick. Composed by Muzio Clementi. Op.25.	London: printed & sold by J.Dale
56 Corelli, Archangelo (1653-1713)	Sonatas, op.1 (1681), etc. [2nd Violin and Basso part books]	
57 Czapek, P.B. (pseudonym of John Liptrot Hatton, 1809-1886)	Six songs, with German and English words. The music composed by P.B.Czapek, the English version by Thos. Oliphant Esqr. No.1 The mysterious serenade (Himmels-Ständchen) [Begins: What music strange awakens me] No.2 The chapel (Die Kapelle) [Begins: Sings a merry shepherd swain] No.3 The window curtain (Der Vorhang) [Begins: My neigh bour's curtain o'er the way] No.4 The mother and daughter (Mutter und Tochter) [Begins: Oh! do not weep my daughter dear] No.5 The greenwood concert (Waldkonzert) [Begins: Fair Flora in her greenwood hall] No.6 The dying swan (Das Schwanelied) [Begins: The King was sitting down to dine] NB. These songs were composed expressly by order of Mr. Oliphant and are his exclusive property.	London: Addison & Hodson
58 Czapek, P.B. (pseudonym of John Liptrot Hatton, 1809-1886)	Second series. Six songs with German and English words. The music composed by P.B.Czapek, the English version by Thos. Oliphant Esqr. No.7 The gardener's song (Lied des Gärtners) [Begins: Purple violet, yield thy blossom Crimson rose and lily fair] No.8 The king's daughter (Das Königstochterlein) [Begins: A shepherd kept his sheep hard by the lordly palace of the King] No.9 Repose (Rune) [Begins: Underneath a royal Palmtree] No.10 The violet (Das Veilchen) [Begins: There bloom'd upon the village green] No.11 The youth by the Brook (Der Jüngling Bach) [Begins: On a bank, a youth reclining Cull'd sweet flowers] No.12 King Sifrid (König Sifrid) [Begins: In his lofty hall, sat Sifrid the King] NB. These songs were composed expressly by order of Mr. Oliphant and are his exclusive property.	London: Addison & Hodson
59 Czapek, P.B. (pseudonym of John Liptrot Hatton, 1809-1886)	Third series. Six songs with German and English words. The music composed by P.B.Czapek. The English version by Thos. Oliphant Esqr. No.13 The Robber (Der Räuber) [Begins: Once upon a springtide morning step a robber from the wood] No.14 The Roe (Das Reh) [Begins: A hunter chased the fleet roe deer] No.15 The shepherd's winter song (Des hirten Winterlied) [Begins: O winter, dreary winter!] No.16 The poet's grave (Des Dichters Grab) [Begins: Oh! lay me not in the dreary tomb] No.17 The mountain sheoherd boy (Der Hirtennab vom Berge) [Begins: I am the mountain Shepherd-boy] No.18 The night journey (Nachtreise) [Begins: Alone thro' midnight gloom I stray] NB. These songs were composed expressly by order of Mr. Oliphant and are his exclusive property.	London: Addison & Hodson
60 Czapek, P.B. (pseudonym of John Liptrot Hatton, 1809-1886)	Six English songs. By native composers. The poetry written and the whole edited by Thos. Oliphant Esqr. No.1 Twilight [Begins: 'Tis sweet at eventide to view the dimly fading light] No.2 Hope [Begins: We dream and we talk, and we talk and we dream] No.3 The nun & the rose [Begins: And angry guests foretold the tempest] No.4 Autumn reflections [Begins: All is still o'er valley and hill] No.5 The poet's consolation [Begins: Tho' no maiden's tears are falling o'er my clay cold bed] No.6 Meeting & parting [Begins: Whene'ef she came, her sunny smile was like the dawn of day] It being too often the case that the name of a living English composer on the title page of a song, is injurious to its success. The editor has published the above anonymously, preferring that they should stand of fall by their own merits.863	London: Addison & Hodson
61 Dames, Louis	Sechs Deutsche Lieder mit Begleitung des Pianoforte in Musik gesetzt von Louis Dames	Berlin: bei J.F.J.Stackebrandt

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1973) lot no.	
[n.d., 1761]	20p.		score Bound with N-4/31(1)-(4)(6)	N-4/43(5)	37	j.11/1		48
1912	12, 7p., 26.0 x 34.0cm: folio		score, Violoncelle part Bound with N-4/31(1)-(5)	N-4/43(6)	37	j.1-2/1		49
[n.d., 1810]	35.5 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score containing piano reduction	N-7/13	38	o.52/21	807	50
1891	xvii, 248p., 16.3 x 26.4cm	Exlibris of W.H.Cummings		N-2/10	38	j.11/9		51
[n.d., 1816]	91, 83p., 39.2 x 29.0cm	Exlibris of W.H.Cummings Comment on John Clarke-Whitfield written by W.H.Cummings		N-7/15	39	listed, but no classification number		52
[n.d., 1765?]	36.5 x 25.9cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "Vincent Novello the gift of my dearest friend, Sgner Dragonetti"	Edited by H[enry] H[arington]	N-7/14	38	o.2-3/17	856	53
[n.d., 1787]	29p.		Bound with N-4/13(1)-(5)	N-4/13(6)	44	f.11/11		54
[n.d.]	55p.		Bound with N-4/19(1)-(3)(5)	N-4/19(4)	45	f.11/4		55
	2nd vn. part book, [25-86p.], Basso part book, [25-86p.], 26.7 x 20.4cm: 4to.	Ms.	Bound with N-02/15(1)(3)	N-2/15(2)	50	h.31/5		56
[n.d., 1845, 1846]	28p.(47-74p.)	Sign of "William Hayman Cummings"	Bound with N-04/25(1)-(7)(9)-(11)	N-4/25(8)	38	o.0/24		57
[n.d., 1845, 1846]	65p. (75-139p.)		Bound with N-4/25(1)-(8)(10)-(11)	N-4/25(9)	38	o.0/24		58
[n.d., 1845, 1846]	21p. (141-161p.)		Bound with N-4/25(1)-(9)(11)	N-4/25(10)	38	o.0/24		59
[n.d., 1847]	65p. (163-227p.)	No.1, writing of "J.L.Hatton" by unknown hand. No.2 & 4, writing of "Music by J.L.Hatton" by unknown hand. No.5, pencil writing of "This song was composed by Charles Lucas" by J.L.Hatton. No.6, sign of W.H.Cummings Sign of J.L.Hatton, pencil writing of "This song was composed by John L.Hatton" by the composer himself.	Bound with N-4/25(1)-(10)	N-4/25(11)	38	o.0/24		60
[n.d.]	13p.	Illegible sign	Bound with N-6/84(1)-(9)(11)-(13)	N-6/84(10)	52	o.11/80		61

作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
62 Dames, Louis	Sechs Lieder mit Begleitung des Piano-forte in Musik gesetzt und dem Fräulrin Clara von Broeditzberg gewidmet von Louis Dames. Op.2. No 1. Wiecenlied. No 2. Der Liebe sehn sucht. No 3. Jacers Morgenlied. No 4. Frühlingscruss. No 5. Liebesgabe. No 6. Abschied.	Berlin: bei Ed. Bole & G.Bock (PN 56)
63 Dames, Louis	Die Sängler in der Fremde. (from "Duett für Sopran und Tenor mit Begleitung des Piano-forte componirt und seinem Bruder Hdolpitz gewidmet von Louis Dames." Op.4)	Berlin: bei Ed. bote & G.Bock (PN B. et B.515)
64 Dames, Louis	Fünf Lieder und Gesänge für eine Sopran oder Tenor Stimme mit Begleitung des Piano-forte componirt und seiner Elise gewidmet von Louis Dames. Op.5. No 1. An Sie. No 2. Lied. No 3. Mein Schatz ist Dragoner. No 4. Das Kind am Grabe der Mutter. No 5. Lied.	Berlin: bei Ed. bote & G.Bock (PN 516)
65 Davy, John (1763-1824)	The original musick in the Tempest, as composed by Purcell, Dr. Arno & Linley, now performing at the Theatre Royal Covent Garden, with universal approbation. The overture and additional new music composed & the whole arranged by J. Davy, and dedicated by permission to J. P. Kemble Esqr.	London: printed & sold by C.Lonsdale (late Birchall & Co.)
66 Dobouring, Mr.	Aileen Aron	
67 Dussek, Johann Ladieslaus (1760-1812)	4me concerto pour clavecin ou forte piano, deux violons, alto et basse, deux flutes, deux cors composés par M.Dussek. (Euvre XVIIIm.	Paris: chez le Sr Sieber (PN 1128)
68 Dussek, Johann Ladieslaus (1760-1812)	Vme concerto pour clavecin ou forte piano, deux violons, altoet basse, deux flutes, deux hautbois, deux cors adlib. composés par J.L.Dussek. (Euvre 22m.	Paris: chéz Sieber
69 Dussek, Johann Ladieslaus (1760-1812)	Vlme concerto pour clavecin ou forte piano, deux violons, alto, et basse, deux flute [these are crossed off], deux hautbois, deux cors adlib. Composés par J.L.Dussek. (Euvre 27m.	Paris: chéz Sieber
70 Dussek, Johann Ladieslaus (1760-1812)	7me concerto pour clavecin ou forte piano avec deux violons, alto, et violoncelle, deux flutes, hautbois, cors et basson. Dediée a Mrs. F. G. Smith par J.L.Dussek. (Euvre 29.	Paris: chéz Sieber (PN 1436)
71 Dussek, Johann Ladieslaus (1760-1812)	Grand concerto militaire pour le forté-piano avec accompagnement (adlibitum) de deux violons, «alto, basse, hautbois, flutes, clarinettes et cors, composé & dédié a Miss Beauchamp par J.L.Dussek. Opéra 40.	Paris: Sieber fils (PN 128)
72 Foggia, Francesco (1603-1688)	Concentus ecclesiastici binis, ternis, quaternis, quinisque vocibus concinendi. Auctore Francisco Foggia Romano Sacrosancte Basilicae Lateranensis musicae prefecto.	Roma: Typis Ludouici Grignani. Expensis Io. Dominici Franzini
73 Gamble, John (?-1687)	Ayres and dialogues (to be sung to the theorbo-lute or bass-viol.) By John Gamble. [The first book.] Ayres and dialogues for one, two, and three voyces to be sung either to the theorbo-lute or basse-viol. Composed by John Gamble. The second book.	[The 1st book], London: printed by W.Godbid for Humphrey Mosley, the second book, London: printed by W.Godbid for Nathaniel Ekin
74 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Six concertos for the piano-forte, or harpsichord. Composed by Sigr. Giordani. Op.XIV. Humbly dedicated to the Hon[our]able Miss Bertie.	London: printed for Longman, Lukey & Broderip
75 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	The power of innocence, a favourite ballad. Set to music by Sigr. Giordani.	London: printed & sold by J.Preston
76 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	A favorite canzonet of Alcanzor & Zayda. A Moorish tale composed by Sigr. Giordini with an accompaniment for a pino-forte or harp.	London: printed and sold by Messr. Birchall and Andrews
77 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Caro mio ben. A celebrated song sung by Sigr. Pacchierotti, with universal applause at the concert for the Musical fund, at the Opera House; composed by Sigr. Giordani	London: printed & sold by J.Preston
78 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Lady Jane Gray's Lamentation to Lord Guilford Dudley, a favourite Scotch song as sung at Vauxhall	London: printed for Longman and Broderip
79 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Queen Mary's Lamentation. Sung by Sigr Tenducci, at the Pantheon & Mr. Abel's Concert &c. the instrumental parts by Sigr Giordani	London: printed & sold by J.Preston
80 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	The Favorite Rondo sung by Sigr. Sestini, in the new comic opera Il Barone di Torre Forte [by N. Piccinni]. Composed by Sigr Giordani	London: Printed and sold by S.Babb
81 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Addio di Londra alla Signore Heinel il venerdì sera cinque giugno 1772, dopo avere ballato l'ultima volta in Hay Market. Cantata. Di Giovan Gualberto Bottarelli. Musica del Signere Tomasso Giordani	London: printed by Welcker
82 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	The favourite songs, sung this season at Vauz-hall composed Sigr. Giordani	London: printed by Longman and Broderip
83 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Six sontas for the harpsichord, piano-forte or organ, with an accompanymnt for a violin composed by Tho. Giordani. Opera IV. Dedicated to the Hon. Mrs. Hobart.	London: printed by John Johnston
84 Giordani, Tommaso (1733?-1806)	Six sonatinas for the piano-Forte or harpsichord, composed in an easy familiar style, for the use of young performers by Sigr. Tomaso Giordani.	London: printed and sold by John Preston
85 Goodwin, Starling (c1713-1774)	The complete organists pocket companion containing a choice collection of psal-tunes with their givings-out, and interludes, as used in parish churches. By the late Mr. Starling Goodwin.	London: printed for C and S
86 Green, James (fl.1713-1738)	A book of psalmody; containing chanting-tunes for Venite exultemus, Te Deum laudamus, Benedicite, Jubilate Deo, Magnificat, Nunc dimittis. And the readings-Psalms with eighteen anthems, and variety of Psalm-tunes in four parts. The sixth edition with additions. By James Green.	London: printed by William Pearson...for the author, and sold by A.Bettesworth

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot no.	
[n.d.]	14p.		Bound with N-6/84(1)-(10)(12)(13)	N-6/84(11)	52	o.11/80		62
[n.d.]	9p.		Bound with N-6/84(1)-(11)(13)	N-6/84(12)	52	o.21/80		63
[n.d.]	13p.		Bound with N-6/84(1)-(12)	N-6/84(13)	52	o.11/80		64
[n.d., 1821]	69p., 36.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-7/35	50	o.0/16		65
[n.d.]	[3p.]		Bound with N-3/39(1)	N-3/39(2)	34			66
[n.d., 1792c]	17p., 32.5 x 26.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "Sieber M"	Bound with N-6/28(2) clavecin part only	N-6/28(1)	40	f.11/9		67
1793	22p.	Sign of "Sieber M"	Bound with N-6/28(1)(3)-(5) clavecin part only	N-6/28(2)	40	f.11/9		68
1793	31p.	Sign of "Sieber M"	Bound with N-28(1)(2)(4)(5) clavecin part only	N-6/28(3)	40	f.11/9		69
[n.d., 1794c]	23p.	Sign of "Sieber M"	Bound with N-6/28(1)-(3)(5) clavecin part only	N-6/28(4)	40	f.11/9		70
[n.d.]	28p.	Sign of "Sieber M"	Bound with N-6/28(1)-(4) clavecin part only	N-6/28(5)	40	f.11/9		71
1645	Cantus, 36p., Tenor, 39p., Altus, 16p., Bassus, 19p., Organum, 28p., 21.4 x 16.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	5 parts (cantus, tenor, altus, bassus, organum) bound in 1 volume	N-5/13	40	p./18	681	72
1657, 1659	[viii], 79p., [vi], 85p. 30.7 x 19.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	2 volumes combined into 1.	N-6/29	41	o.0/59	707	73
[n.d., 1775?]	45p., 32.8 x 24.0cm: folio		piano-forte part only	N-6/30	41	f.11/3		74
[n.d., 1783]	15p., 33.0 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall Contents list written by W.H.Cummings Autoraph reciept letter for three harpsichord concertos, dated 11th July 1783. Autograph letter to J.Preston, dated Feb. 12th 1783.	Bound with N-6/32(2)-(9)	N-6/32(1)	41	f.11s/o-42	739	75
[n.d.]	4p.		Bound with N-6/32(1)(3)-(9)	N-6/32(2)	41			76
[n.d., 1782-92?]	4p.		Bound with N-6/32(1)(2)(4)-(9)	N-6/32(3)	41			77
[n.d., 1785?]	7p.		Bound with N-6/32(1)-(3)(5)-(9)	N-6/32(4)	41			78
[n.d.]	4p.		Bound with N-6/32(1)-(4)(6)-(9)	N-6/32(5)	41			79
[n.d., 1782]	8p.		Bound with N-6/32(1)-(5)(7)-(9)	N-6/32(6)	41			80
[n.d., 1772]	12p.		Bound with N-6/32(1)-(6)(8)(9)	N-6/32(7)	41			81
[n.d.]	43p.		Bound with N-6/32(1)-(7)(9)	N-6/32(8)	41			82
[n.d., 1775?]	36p.		Bound with N-6/32(1)-(8)	N-6/32(9)	41			83
[n.d., 1783]	35.5 x 24.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/18	41	f.11/3	740	84
[n.d., 1775?]	[iii], 64p., 17.5 x 23.5cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "J. Dodson, Richmond, Surrey" Sign of "W[illia]m Penson"		N-5/15	41	g.11/2		85
1725	[viii], 142p., [xviii], 20.0 x 13.0cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/22	41	p/24		86

作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
87 Hale, Thomas ed.	Social harmony, consisting of a collection of songs and catches In two, three, four and five parts From the works of the most eminent masters, To which are added several choice songs on Masonry. By Thomas Hale of Darnhall, Cheshire. The third edition. with additions & alterations.	London: printed & sold Longman, Lukey & co.,
88 Hatton, John Liptrott (1809-1886)	Amintas and Amarillis, a pastral, by Robert Herrick, the music composed for soprano, contralto and tenor soli, with S.A.T.B. chorus and pianoforte accompaniment by John L.Hatton.	London: published by Hutchings & Co. (PN H.681)
89 Hatton, John Liptrot (1809-1886) See also "Czapek, P.B."	[Collection of songs by Jahn Liptrot Hatton, vol.1] Contains 7 songs N-4/25(1)-(7) and 4 song collection by "Czapek P.B." N-4/25(8)-(11)	
90 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I then will breathe my vow. F.W.N.Bayley. J.L.Hatton. [Begins: When the morning gems are pearly]	
91 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The linden tree, Der Lindenbaum. Song, sung by Mr.Lockey. With English and German words. The English version by Harry A.Ewer. The music composed and dedicated to Henry Hime Esqr. by John L.Hatton. [Begins: A Linden tree is standing beside this murm'ring stream]	London: published for the proprietor by R.Addison & Hodson
92 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Streamlet gently flowing. Song, the poetry by Thos. Oliphant Esqr. The music by John L.Hatton. [Begins: Streamlet gently flowing o'er thy rocky bed]	London: Addison & Hodson
93 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Cloris, now thou'rt fled away. (Amintor's welladay.) A ditty of the 17th centry. Written by Dr. Henry Hughes, set to music by John L.Hatton. (Copyright of Thos. Oliphant, Esqr.) [Begins: Cloris, now thou'rt fled away]	London: R.Addison & Co.
94 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	'Tis midnight! on the globe dead slumber sits! (To may taper.) The poetry written by H.Kirke White and Thos. Oliphant. The music by John L.Hatton. (Copyright of Thos. Oliphant.) [Begins: 'Tis midnight on the globe dead slumber sits]	London: R.Addison & Co.
95 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Letanie to the Holy Spirite, written by Robert Herrick. Set to music by John J.Hatton. (Copyright of Thos. Oliphant Esqr.) [Begins: In the hour of my distress]	London: R.Addison & Co.
96 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	This song is the property of Thos. Oliphant Esqr. Fair daffodils we weep to see. The words from Herrick's Hesperides, the music by John L.Hatton. [Begins: Fair Daffodils, we weep to see you haste away so soon]	London: R.Addison & Co.
97 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	[Collection of songs by Jahn Liptrot Hatton, vol.2] Contains 33 songs and 1 song collection, N-4-26(1)-(34)	
98 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Garland. Translated from the Lation of Hier. Angerianus by Thos. Oliphant Esqr. The musica composed and dedicated to Charles Lockey Esqr. by John L.Hatton. [Begins: Fair Garland wet morning dew]	London: Addison & Hollier
99 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Weep no more thou sorry boy. Song. The words taken from an old part song book. A.D.1622. The music composed by John L.Hatton. (Property of Thos. Oliphant Esqr.) [Begins: Weep no more, thou sorry]	London: Addison & Hollier
100 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The song of the bell, written by H.W.Longfellow. The music by John L.Hatton. [Begins: Bell! thou soundest merrily]	London: Addison & Hollier (PN 1632)
101 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Revenge. Song. Sung by Herr Staudicl, in the opera Pascal Bruno, as performed at the Imperial Grand Theatre Vienna. Written by W.Fitzball Esqr. Composed by J.L.Hatton. [Begins: The frozen serpent in my breast]	London: published by Cramer, Beale & Co. (PN 3426)
102 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The messenger. (Der Eilbote.) The German words by Heinrich Fick, Ph.Dr. The English words by W.H.Bellamy Esqr. Sung by Herr Pischek. The music composed by J.L.Hatton. Composer of Pascal Brune, a garnd opera performed at the Imperial Grand theatre at Vienna. Queen of the Thames, Revenge &c. [begins: Away! away! o'er wild and waste]	London: published by Cramer, Beale & Co. (PN 3815)
103 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Ocean. A descriptive scena, for a bass voice, dedicated to Joseph Staudigt, by J.L.Hatton. [Begins: The bight is dark the thunder crashes]	London: J. Alfred Novello (PN 2151)
104 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The sailor's rest, written by John Cross Buchanan, composed by John L. Hatton. [Begins: Why search the deeps for him who sleeps beneath the heaving billow?]	London: Addison & Hollier
105 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Oh give me back those joyous hours. (Absence.) Written by Houghton Perkins Esqr. F.L.S. Music composed by J.L.Hatton. [Begins: O give me back those joyous hours]	London: Addison & Hollier (PN 1569)
106 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"My days have been so wond'rous free." A ballard. The poetry by Dr. Parnell and Thos. Oliphant. Esqr. The music by John L.Hatton. (This song is the property of Mr. Oliphant) [Begins: My days have been so wond'rous free]	London: Addison & Hollier
107 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Twilight by the sea, written by H.W.Longfellow. The music composed by J.L.Hatton. Inscribed to W.T.Wrichton, Esqr. [Begins: The twilight is sad and cloudy]	London: Addison & Hollier (PN 1746)
108 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Day and night ! Day and night !, A reverie, the poetry by J.W.Roe, Esqr. The music composed and dedicated to Miss Dolby by John L.Hatton. This song is the property of Thos. Oliphant, Esqr. [Begins: Day and night, day and night, dawn and darkness, gloom and light]	London: Addison & Hodson
109 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Curfew. Poetry by H.W.Longfellow. Music by J.L.Hatton. [Begins: Solemnly, mournfully, dealing its dole]	London: Addison & Hodson (PN 1807)
110 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dedicated (by permission) to Miss Isabella Browne, of Elm Villa, Hampton, near Bath. And do I meet thee once again. (Song of friendship.) Written by L.M. Thornton, Esqr. Music by J.L.Hatton. [Begins: And do I meetthee once again]	London: Addison & Hollier (PN 3096)
111 Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The student's serenade. Poetry by H.W.Longfellow. Music by J.L.Hatton. [Begins: Stars of the summer night!]	London: Addison & Hollier (PN 1810)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1937) vol. no.	
[n.d., 1775]	[vi], 280p., 24.0 x 17.5cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "J.Harris 24 Aug[ust] 1810" Sign of "W.Brown July 2nd 1843" Comments on the sign of J.Harris by unknown hand		N-1/24	42	o.0/83	769	87
[n.d., 1888]	26p., 25.5 x 17.5cm: folio	"W.H.C. proof" written with red pencil on the front cover	Set with N-7/23(1), autograph manuscript of "Aminta and Amarillis"	N-7/23(2)	8	o.51/5	845	88
[n.d.]	227p., 35.5 x 25.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "W.H.Cummings 1851" "Index to the contents of this volume" written by W.H.Cummings		N-4/25	38	o.0/24	1584	89
[n.d.]	4p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-04/25(2)-(11)	N-4/25(1)	38			90
[n.d., 1848]	7p.		Bound with N-04/25(1)(3)-(11)	N-4/25(2)	38			91
[n.d., 1848]	5p.		Bound with N-04/25(1)(2)(4)-(11)	N-4/25(3)	38			92
[n.d., 1853]	4p.		Bound with N-04/25(1)-(3)(5)-(11)	N-4/25(4)	38			93
[n.d., 1853]	7p.	Traces of use	Bound with N-04/25(1)-(4)(6)-(11)	N-4/25(5)	38			94
[n.d., 1852?]	5p.		Bound with N-04/25(1)-(5)(7)-(11)	N-4/25(6)	38			95
[n.d., 1848]	3p.		Bound with N-04/25(1)-(6)(8)-(11)	N-4/25(7)	38			96
[n.d.]	333p., 35.5 x 25.5cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings "Index" of the volume written by W.H.Cummings		N-4/26	44	o.0/24	1584	97
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(2)-(34)	N-4/26(01)	44			98
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(1)(3)-(34)	N-4/26(02)	44			99
[n.d., 1855c]	4p.		Bound with N-4/26(1)-(2)(4)-(34)	N-4/26(3)	44			100
[n.d., 1844]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(3)(5)-(34)	N-4/26(4)	44			101
[n.d., 1845]	11p.		Bound with N-4/26(1)-(4)(6)-(34)	N-4/26(5)	44			102
[n.d., 1847]	9p.		Bound with N-4/26(1)-(5)(7)-(34)	N-4/26(6)	44			103
[n.d., 1856]	4p.		Bound with N-4/26(1)-(6)(8)-(34)	N-4/26(7)	44			104
[n.d., 1855?]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(7)(9)-(34)	N-4/26(8)	44			105
[n.d., 1853]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(8)(10)-(34)	N-4/26(9)	44			106
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(9)(11)-(34)	N-4/26(10)	44			107
[n.d., 1847]	7p.		Bound with N-4/26(1)-(10)(12)-(34)	N-4/26(11)	44			108
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(11)(13)-(34)	N-4/26(12)	44			109
[n.d., 1854]	4p.		Bound with N-4/26(1)-(12)(14)-(34)	N-4/26(13)	44			110
[n.d., 1852]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-4/26(1)-(13)(15)-(34)	N-4/26(14)	44			111

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
112	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The clown's song. The words by Shakespeare. The music by J.L.Hatton. This song gained the prize given by HRH the Duke of Cambridge, at the Melodists Club, May. 30th 1848. [Begins: When that I was a tiny boy]	London: R.Addison & Co. (PN. 1447)
113	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The wreck of the Hesperus, a descriptive ballad, written by H.W.Longfellow. Set to music by John L.Hatton. The property of Thos. Oliphant, Esqr. [Begins: It was the schooner Hesperus]	London: Addison & Hollier
114	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Homeward bound, from Jullien's Album for 1849, written by Mrs. Crawford, composed by I.L.Hatton. [Begins: Our gallant ship was homeward bound for England's happy shore]	London: Jullien & Co. (PN 1014)
115	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Songs by Barry Cornwall, no.1. Song should breathe of scents and flowers, composed for and sung by Mr. Benson and sung by Mr. Lockey and by him respectfully dedicated to Mrs. Proctor. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: Song should breathe of scents and flowers]	London: Addison & Hollier
116	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I will sing no more of sorrow. The words by Mark Lemon. The music composed expressly for this publication by I.L.Hatton. [Begins: I will sing no more of sorrow]	London: published at the Office of The Music Book
117	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To Walter Stewart Broadwood, Esqr. I love all things the seasons bring. Sung by Mr. Benson, composed by J.L.Hatton. [Begins: I love all things the seasons bring]	London: Leader & Cock (PN L&C.1962)
118	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Songs &c. from the White Slave. No.1 The slave girl's vow, words by J.E.Carpenter, music by J.L.Hatton. [Begins: By whose broad and mighty rivers]	London: Addison & Hollier (PN 2456)
119	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Songs &c. from the White Slave. No.5 The separation. Duet, words by J.E.Carpenter, music by J.L.Hatton. [Begins: Sit closer by my side]	London: Addison & Hollier (PN 2462)
120	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Songs &c. from the White Slave. No.6 Farewell my country, words by J.E.Carpenter, music by J.L.Hatton. [Begins: Farewell my country! little thanks I owe thee]	London: Addison & Hollier
121	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"The rainy day." Song written by H.W.Longfellow. The music composed and dedicated to Thomas Oliphant Esqr. by John L.Hatton. [Begins: The day is cold and dark, and dreary]	London: Addison & Hollier (PN 1552)
122	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	(This song is the property of Thos. Oliphant.) The goldsmith's daughter. A song. The poetry translated from the German, by Thos. Oliphant Esqr. The music by John L.Hatton. [Begins: Within her father's workshop stood]	London: Addison & Hollier
123	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Copyright of Thos. Oliphant, Esqr. Dream, baby, dream. Cradle song. The poetry by Barry Cornwall, composed and dedicated to Mr. James Oliphant by John L.Hatton. [Begins: Dream, baby, dream! The stars are glowing]	London: Addison & Hollier
124	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To W.B. Parkes.M.D.F.R.G.S. "The Witnesses." No.2 of Two songs, written by H.W.Longfellow. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: In ocean's wide domains]	London: Addison & Hollier
125	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Bird of the wilderness. Words by The Ettrick Shepherd. The music composed for & sung by Mr. Lockey, by J.L.Hatton. [Begins: Bird of the wilderness]	London: R.Addison (PN 1467)
126	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The reaper and the flowers. Written by H.W.Longfellow, composed & dedicated to Mrs. Francis J.Scott, by John L.Hatton. (Property of Thos. Oliphant, Esqr.) [Begins: There is a reaper whose name is Death]	London: Addison & Hollier
127	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The old clock on the stairs. The poetry by H.W.Longfellow. The music composed and dedicated to Mrs. Oliphant, (of condie) by John L.Hatton. (The song is the property of T.Oliphant. Esqrs.) [Begins: Somewhat back from the village street]	London: Addison, Hollier & Lucas
128	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Whither? Song. Translated from the German of Miller by H. W. Longfellow. Music by J.L.Hatton. [Begins: I heard a brooklet gushing]	London: Addison & Hollier (PN 1809)
129	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The slave's dream. No.1 of Two songs, written by Henry Wadsworth Longfellow. The music by J.L.Hatton. To Robert Addison, Junr. Esqr. [Begins: Beside th'ungather'd rice he lay]	London: Addison & Hollier (PN 2638)
130	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Vogelweid the minnesinger. Ballad. Founded on the legend of Walter von der Vogelweid. Written by H.W. Longfellow, set to music by John L.Hatton. [Begins: Vogelweid' the Minnesinger]	London: Addison & Hollier
131	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Songs, and other poems by Herrick, Ben Johnson, and Sedley. Set to music by J.L.Hatton. To musique, to becalme his fever. Herrick. [Begins: Charm me asleep] To Anthea, who may command him anything. Herrick. [Begins: Bid me to live, and I will live] The deluge. Herrick. [Begins: Drowning, drowning, I espie] Ceremonies for candlemasse day. Herrick. [Begins: Kindle the Christmas Brand and then till Sunneset] Song. Herrick. [Begins: Gather ye Rosehuds while ye may] Song. From "The Foxe" Ben Johnson. [Begins: Come, my Celia, let us prove] To a bed of tulips. Herrick. [Begins: Bright tulips, we do know] To Julia. Herrick. [Begins: Her eyes the glow worme lend thee] To meddowes. Herrick. [Begins: Ye have been fresh and green] To the rose. Herrick. [Begins: Goe happy Rose] To daisies. Herrick. [Begins: Shut not so soon] Song. Sedley. [Begins: Phillis, men say that all my vows] To the willow tree. Herrick. [Begins: Thou art to all lost love the best] To blossoms. Herrick. [Begins: Faire pledges of a fruitfull tree] The rock of rubies. Herrick. [Begins: Some ask'd me where the rubies grew] To oenone. Herrick. [Begins: What conscience, say, is it in thee] The teare. Herrick. [Begins: Glide, gentle the streams, and beare] Grace for a child. Herrick. [Begins: Here a little child I stand]	London: D'Almaine & Co. (PN 12687)
132	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	[Works, vocal, Selections] Contains 36 songs, N-7/24(1) -(37)	
133	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Autumn. Words by W.H.Bellamy, Music by J.L.Hatton. [Begins: Here, 'mid the stillness of these Autumn woods] from "4 songs written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. No.1 Spring, for soprano, No.2 Summer, for contralto, No.3 Autumn, for tenor, No.4 Winter for Baritone."	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5682)
134	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Albert !, Hail !, consort or our Queen. Trio, sung with rapturous applause at the Metropolitan festival. By Messrs. Hawkins, Hobbs & Chapman, Written by Mrs. Gent, composed by J.L.Hatton. [Begins: Hail! Albert! Hail blending with her's to heav'n ascending]	London: published by Addison & Hodson

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot no.
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(14)(16)-(34)	N-4/26(15) 44			112
[n.d., 1853]	9p.		Bound with N-4/26(1)-(15)(17)-(34)	N-4/26(16) 44			113
[n.d., 1855c]	6p.		Bound with N-4/26(1)-(16)(18)-(34)	N-4/26(17) 44			114
[n.d., 1856?]	5p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-4/26(1)-(17)(19)-(34)	N-4/26(18) 44			115
[n.d., 1847]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-4/26(1)-(18)(20)-(34)	N-4/26(19) 44			116
[n.d., 1856?]	7p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-4/26(1)-(19)(21)-(34)	N-4/26(20) 44			117
[n.d., 1853]	5p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-4/26(1)-(20)(22)-(34)	N-4/26(21) 44			118
[n.d., 1853]	9p.		Bound with N-4/26(1)-(21)(23)-(34)	N-4/26(22) 44			119
[n.d., 1853]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(22)(24)-(34)	N-4/26(23) 44			120
[n.d., 1853?]	5p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-4/26(1)-(23)(25)-(34)	N-4/26(24) 44			121
[n.d., 1852]	9p.		Bound with N-4/26(1)-(24)(26)-(34)	N-4/26(25) 44			122
[n.d., 1856]	4p.		Bound with N-4/26(1)-(25)(27)-(34)	N-4/26(26) 44			123
[n.d., 1853?]	7p.		Bound with N-4/26(1)-(26)(28)-(34)	N-4/26(27) 44			124
[n.d., 1850]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(27)(29)-(34)	N-4/26(28) 44			125
[n.d., 1856]	4p.		Bound with N-4/26(1)-(29)(30)-(34)	N-4/26(29) 44			126
[n.d., 1856]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(29)(31)-(34)	N-4/26(30) 44			127
[n.d., 1852]	5p.		Bound with N-4/26(1)-(30)(32)-(34)	N-4/26(31) 44			128
[n.d., 1853]	7p.	Sign of W.H.Cummings Traces of use	Bound with N-4/26(1)-(31)(33)-(34)	N-4/26(32) 44			129
[n.d., 1853]	7p.		Bound with N-4/26(1)-(32)(34)	N-4/26(33) 44			130
1850	119p. (215-333p.)	Sign of W.H.Cummings Sign of J.L.Hatton Traces of use on the song "Grace for a child"	Bound with N-4/26(1)-(33)	N-4/26(34) 44			131
[n.d.]	258p., 37.0 x 28.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/24 44		o.0/13 1584	132
[n.d., 1860]	7p.		Bound with N-7/24(2)-(37) see N-7/26(23)(24)(38)	N-7/24(1) 44			133
[n.d.]	10p.	Trace of use	Bound with N-7/24(1)(3)-(37)	N-7/24(2) 44			134

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
135	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The beacon that lights me home. Ballad, written by W.S.Passmore, composed by J.L.Hatton. [Begins: A light in the window gleameth]	London: Boosey & Co.
136	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The blind boy. A pathetic ballad, written by Colley Cibber. The music composed by John L.Hatton. [Begins: O say what is that thing call'd light]	London: Addison & Hollier
137	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	A bird song in a hawthorn tree. Song, written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: A bird sang in a hawthorn tree]	London: Duff & Stewart (PN D.&S. 3675)
138	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Beating for thee. Song, the words by B.S.Montgomery. The music by J.L.Hatton. [Begins: Sparkling with dew Bright roses are sleeping!]	London: Lamborn Cock (PN L.C.153)
139	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Bells. Of peace on earth, good-will to men. Sung by Mr. Santley. Poetry by H.W.Longfellow. Music by J.L.Hatton. [Begins: I heard the bells on Christmas day]	London: Boosey & Co.
140	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Blossoms. Song, written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: Blossoms sweet, and blossoms fair]	London: Duff & Stewart (PN D&S.3677)
141	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The boy and the brook, song written by H.W.Longfellow, the music composed and inscribed to Miss Jane Young, by J.L.Hatton. [Begins: Down from you distany mountain height]	London: Ransford & Son (PN R&S.1096)
142	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The British tar, song by J.V.Bridgeman, the music composed expressly for Mr.Stanley, by J.L.Hatton. [Begins: Come, cheer thee, gentle maid en mine]	London: Boosey & Co.
143	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The blacksmith's son, song, written by Mrs.Valentine Roberts, composed by J.L.Hatton. [Begins: A stalwart lad is the balcksmith's son]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5709)
144	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The colleen bawn, song words by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: Among the boats on the shingle]	London: H.W.Wickins
145	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The change of twenty years, song sung by Mr.Winn, written by Godfrey Turner. Set to music by J.L.Hatton. [Begins: She nears the land the boat that brings]	London: Joseph Williams (PN LC.A&Co.3904)
146	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Chamois hunters, duet, written by J.V.Bridgeman, the music composed expressly for Mr. Sims Reeves, & Mr. Santley, by J.L.Hatton. [Begins: No more when I the Chamois track]	London: Boosey & Co.
147	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Calm, descriptive song, the words by J.E.Carpenter. The music by J.L.Hatton. [Begins: All day all night again all day]	London: Metzler & Co.
148	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Come back Annie, ballad, written by John Oxenford, composed expressly for Mr. J.W.Raynor, of the Christy's Minstrels, by J.L.Hatton. [Begins: Come back, Annie come back dear]	London: Boosey & Sons
149	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Chamber trio. Come, follow, follow me, composed by J.L.Hatton. [Begins: Come, follow, follow me, You fairy elves]	London: published by Leader & Cock (PN L&C2230)
150	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Come live with me and be my love. Sung by Signor Mario, composed by J.L.Hatton. [Begins: Come live with me and be my love]	London: Cramer, Beale & Challell (PN 6544)
151	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Carpenter. The words by permission from All the Year Round. The music by J.L.Hatton. [Begins: You know our friend the Carpenter]	London: Brewer & Co.
152	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dame Margery, song, written by W.H.Bellamy, Esqr. Music by J.L.Hatton. [Begins: Dame Margery once, had a cheek like the rose]	London: Addison & Hollier (PN 2768)
153	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Down in your dell, Ballad, sung by Mr. H.Phillips, in the operetta Queen of the Thames, or The Anglers, at the Theatre Royale Drury Lane, the poetry by Edward Fitz Ball. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: Down in yon dell, where the green willow creeps]	London: D'almaine & Co.
154	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Distance cannot true love sever, the words by J.E.Carpenter. The music by J.L.Hatton. [Begins: Distance cannot true love sever]	London: Brewer & Co.
155	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dick Whittington, song, written and inscribed to John Wilson Esqr. and the citizens of London, by John Martin, the music by J.L.Hatton. [Begins: The great Sir Richard Whittington]	London: Addison & Hollier (PN 2021)
156	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	A Dreamer's song, written by Barry Cornwell, Esqr. composed by J.L.Hatton. [Begins: I dream of thee at morn]	London: Leader & Cock (PN L&C.2359)
157	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Delhi, Recitative and air, composed by J.L.Hatton. [Begins: Mourn we for women, mourn for children slain]	London: Duff & Hodgson (PN D&H 2074)
158	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Ere I was sent to sea, song written by Benjamin Banks. The music composed and dedicated to Thomas Meesen, Esqr. Captain of the Royal Thames Yacht Club, by J.L.Hatton. [Begins: Young Sue my fancy hath delighted]	London: Leader & Cock (PN L&C 294)
159	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Excelsior, scena, as sung by Mr. Sims Reeves, arranged by J.L.Hatton. [Begins: The shades of night were falling fast]	London: Chappell & Co. (PN 10422)
160	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Excelsior, written by H.W.Longfellow, sung by Mr. Sims Reeves, also Mr. W.T.Wrichton. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: The shades of night were falling fast]	London: Addison & Hollier (PN 3100)
161	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Evermore, song, the poetry taken from the "Psalms of Life," by J.S.Adams. Set to music by J.L.Hatton. [Begins: I beheld a golden portal in the visions of my slumber]	London: Ransford & Son. (PN R&S.921)
162	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dedicated to G.E.Merrill. Esq. sung by M.Capoul, (Royal Italian Opera), Mr. W.H.Cummings, Mr. W. Shakespeare, Mr. Stedman, Mr. Vernon Rigby, &c. &c. Ella, song written by James Couper, composed by J.L.Hatton. [Begins: A darling girl I know]	London: John King (PN J.K.301)
163	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The enchantress, song, written expressly for Made. Viargot Garcia. The words by H.F.Chorley, the music by J.L.Hatton. [Begins: By the lore of ages far]	Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5581)
164	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Fancy, song written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: Light and free as summer wind]	London: Augener & Co. (PN A&Co.3379)
165	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The fair maid of Denmark, song, written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: The fair maid of Denmark comes over the sea]	London: Brewer & Co.
166	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The future flower, song. The poetry by Cowper, the music by J.L.Hatton. [Begins: Go mark the matchless workings of the pow'r]	London: Ransford & son (PN R&S.657)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.
[n.d.]	10p.		Bound with N-7/24(1)(2)(4)-(37)	N-7/24(3)	44		135
[n.d.]	10p.	Sign of W.H.Cummings Trace of use	Bound with N-7/24(1)-(3)(5)-(37)	N-7/24(4)	44		136
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(4)(6)-(37)	N-7/24(5)	44		137
[n.d.]	9p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/24(1)-(5)(7)-(37)	N-7/24(6)	44		138
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(6)(8)-(37)	N-7/24(7)	44		139
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(7)(9)-(37)	N-7/24(8)	44		140
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(8)(10)-(37)	N-7/24(9)	44		141
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(9)(11)-(37)	N-7/24(10)	44		142
[n.d., 1866]	7p.		Bound with N-7/24(1)-(10)(12)-(37)	N-7/24(11)	44		143
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(11)(13)-(37)	N-7/24(12)	44		144
[n.d.]	12p.		Bound with N-7/24(1)-(12)(14)-(37)	N-7/24(13)	44		145
[n.d.]	14p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/24(1)-(13)(15)-(37)	N-7/24(14)	44		146
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/24(1)-(14)(16)-(37)	N-7/24(15)	44		147
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(15)(17)-(37)	N-7/24(16)	44		148
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(16)(18)-(37)	N-7/24(17)	44		149
[n.d.]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/24(1)-(17)(19)-(37)	N-7/24(18)	44		150
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(18)(20)-(37)	N-7/24(19)	44		151
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(19)(21)-(37)	N-7/24(20)	44		152
[n.d.]	6p.		Bound with N-7/24(1)-(20)(22)-(37)	N-7/24(21)	44		153
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/24(1)-(21)(23)-(37)	N-7/24(22)	44		154
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(22)(24)-(37)	N-7/24(23)	44		155
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(23)(25)-(37)	N-7/24(24)	44		156
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(24)(26)-(37)	N-7/24(25)	44		157
[n.d.]	7p.	Dedication signature "I.W.Hobbs Esq. from the composer"	Bound with N-7/24(1)-(25)(27)-(37)	N-7/24(26)	44		158
[n.d.]	11p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/24(1)-(26)(28)-(37)	N-7/24(27)	44		159
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(27)(29)-(37)	N-7/24(28)	44		160
[n.d.]	11p.		Bound with N-7/24(1)-(28)(30)-(37)	N-7/24(29)	44		161
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(29)(31)-(37)	N-7/24(30)	44		162
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/24(1)-(30)(32)-	N-7/24(31)	44		163
[n.d.]	9p.		(37)Bound with N-7/24(1)-(31)(33)-(37)	N-7/24(32)	44		164
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/24(1)-(32)(34)-(37)	N-7/24(33)	44		165
[n.d.]	11p.		Bound with N-7/24(1)-(33)(35)-(37)	N-7/24(34)	44		166

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
167	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The gallant tars of England. National song written by J.E. Carpenter, the music composed by J.L.Hatton. Author of "The soldiers of our Land" and "Our Dear Old Church of England." [Begins: The gallant tars of England, who brave the stormy sea]	London: Robert Cocks & Co. (PN 15084)
168	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Good morning sweet to thee, ballad. Music composed by John L.Hatton. [Begins: The lark is singing in the air]	London: Hutchings & Romer (PN H&R.1062)
169	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	How sweetly gleams the light of love, duet, sung by Mr. and Mrs. Sims Reeves. Written by George Hodder. Composed by John L.Hatton. [Begins: How sweetly gleams like of love]	London: Boosey & sons
170	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	[Works, vocal, Selections] Contains 36 songs, N-7/25(1)-(36)	
171	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Third editon, sung by Mrs. Sunderland, Miss Helena Walker, Miss Whitham, &c. "Her heart was in the song." written by Barry Cornwall, Esqre. The music composed & dedicated to Mrs. Martin Cawood (Leeds), by J.L.Hatton. [Begins: Thou'lt take me with thee, my love]	London: Addison & Hollier
172	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Hope, song written by Beatrice Abercrombie. Music by J.L.Hatton. [Begins: Hope, fair hope! First flow'r to ope]	London: Augener & Co. (PN A&Co.3383)
173	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To W. & W.Vaux, Esqr. Ho ! fill me a tankard, a cavalier song. Written by W.H.Bellamy, composed by John L.Hatton. [Begins: Ho! fill me a tankard, good mine host!]	London: Campbell, Ransford & Co. (PN C.R&Co.504)
174	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Hurrah for our riflemen. Dedicated to the riflemen of the United Kingdom. Words by Eliza Cook. Music by J.L.Hatton. [Begins: Hurrah for our Riflemen, men of the land!]	London: Musical Bouquet Office No.2163 & 2164, Musical Bouquet
175	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"In the good old time love ruled the heart." ("Au bon vieux temps au frain d'amour regnoit.") Translated from the French of Clement Marot (1536.) by W. Prideaux, Esq. set to music for four voices, soprano, alto, tenore e basso, by J.L.Hatton. [Begins: In the good old time Love rul'd the heart]	London: D'Almain & Co. (PN 14413)
176	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	In that sweet Summer time, ballad, written by W.H.Bellamy. The music composed expressly for Miss Poole, by J.L.Hatton. [Begins: Oh! 'twas a bright and happy time]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.145)
177	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	It was fifty years ago, song by Longfellow. Composed and dedicated to John Boosey by J.L.Hatton. [Begins: It was fifty years ago in the pleasant month Of May]	London: Boosey & Sons
178	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	In vain you tell your parting lover. Four part song by J.L.Hatton. [Begins: Fair winds blow]	London: Boosey & Co.
179	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	If my mistress hide her face, ballad. Written by Beatrice Abercrombie. The music composed expressly for Mr. Sims Reeves, by J.L.Hatton. [Begins: If my dear mistress hide her face]	London: Boosey & Co.
180	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I wander by my dear one's door each night, song, written by B.S.Montgomery. Esq. The music composed expressly for Mr. Sims Reeves, by J.L.Hatton [Begins: I wander by my dear one's door each night]	London: Boosey & Sons.
181	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I'm very fond of water. A new temperance song (adapted from the Platt Deutsch). Words from Blackwood's Magazine (published by permission of W.Blackwood & Sons.) set to music by J.L.Hatton. [Begins: I'm very fond of water]	London: Brewer & Co.
182	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	As I've something else to do, sequel to the favorite ballad "As I'd nothing else to do" written by Herbert Fry, sung by Montem Smith, composed by J.L.Hatton. [Begins: After waiting long and wond'ring whether married life is best]	London: Brewer & Co.
183	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I hadn't a moment to spare, song, composed by J.L.Hatton. [Words written by Charles J.Rowe. [Begins: 'T was really provoking]	London: Metzler & Co. (PN M.2761)
184	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	In her garden, song composed by J.L.Hatton. [Begins: Among her flowersmoveth she]	London: Metzler & Co. (PN M.3699)
185	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I stood on the beach, reverie, written by W.T.Matson, Esqr. and sung by Miss. Dolby. The music composed and dedicated to James Canper, Esq. by John L.Hatton. [Begins: I stood the beach by the waters]	London: Boosey & Sons
186	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"It is not always May." "No hay pajaros en los nidos de antano." Spanish Proverb. Song written by H.W.Longfellow. Composed by J.L.Hatton. [Begins: The sun is bright, the air is clear]	London: Joseph Williams
187	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	I dream of thee, ballad, written by Barry Cornwall. Esqrw. composed by J.L.Hatton. [Begins: I dream of thee at morn]	London: Leader & Cock (PN L&C.2359)
188	Hatton, John Liptrott (1809-1886)	I had a fairly garden, wors by Fides, music by J.L.Hatton. [Begins: I had a fairy garden, so full of magic flow'rs]	London: Robert Cocks & Co. (PN 1136)
189	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	In that sweet summer time, ballad. Written by W.H.Bellamy, the music composed expressly for Miss Poole, by J.L.Hatton. [Begins: Oh! 'twas a bright and happy time]	London: Joseph Williams
190	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Kit the cobbler, by one of the trade. [Begins: Kit the Cobbler, has built him a stall]	London: Addison & Hollier (PN 3307)
191	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sung by Mr. W.H.Cummings. The last fond look, ballad. Written by J.E.Carpenter, composed by J.L.Hatton. [Begins: He stood upon the busy deck]	London: Duff & Stewart (PN D&S.2890)
192	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Lady Maud & Mabel Lindsay, ballad, written by B.S.Montgomery, composed by J.L.Hatton. [Begins: In Linwood Hall where the moonbeams hover]	London: Ashdown & Parry (PN A&P. 5310)
193	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Lass of Watertown, ballad, by Edward Capern (the poet postman), by J.L.Hatton. [Begins: O the bonnie, bonnie Yeo!]	London: Boosey & Sons
194	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Look out a-head, song with chorus ad.lib. The words by J.E.Carpenter. The music by J.L.Hatton. [Begins: Oh! the world is a sea full of trouble and care.]	London: Metzler & Co.
195	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The maid I love hath many a grace, song written by Augustus Greville. Composed by J.L.Hatton. [Ballad from the Spanish "Muy gracioso es la donella como es hermosa y bella"] [Begins: The Maid I love hath many a grace]	London: Boosey & Sons
196	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sung by Mr. Wilbye Cooper. My trusting haert was true to thee, or My fondest hopes are blighted, ballad, composed by John L.Hatton. [Begins: My trusting heart was true to thee]	London: Duff & Hodgson (PN D&H.1894)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録明細ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/24(1)-(34)(36)-(37)	N-7/24(35) 44			167
[n.d.]	8p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/24(1)-(35)(37)	N-7/24(36) 44			168
[n.d.]	9p.	Sign of W.H.Cummings Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/24(1)-(36)	N-7/24(37) 44			169
[n.d.]	305p., 27.0 x 28.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/25 44		o.0/13	1584 170
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/25(2)-(36)	N-7/25(1) 44			171
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/25(1)(3)-(36)	N-7/25(2) 44			172
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/25(1)(2)(4)-(36)	N-7/25(3) 44			173
[n.d., 1864]	6p.	Sign of J.L.Hatton Sign of Eliza Cook	Bound with N-7/25(1)-(3)(5)-(36)	N-7/25(4) 44			174
[n.d., 1861]	9p.		Bound with N-7/25(1)-(4)(6)-(36)	N-7/25(5) 44			175
[n.d., 1859]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(5)(7)-(36)	N-7/25(6) 44			176
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(6)(8)-(36)	N-7/25(7) 44			177
[n.d.]	5p.		Bound with N-7/25(1)-(7)(9)-(36)	N-7/25(8) 44			178
[n.d.]	8p.	Sign of "J.L.H."	Bound with N-7/25(1)-(8)(10)-(36)	N-7/25(9) 44			179
[n.d.]	8p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/25(1)-(9)(11)-(36)	N-7/25(10) 44			180
[n.d., 1861]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(10)(12)-(36)	N-7/25(11) 44			181
[n.d., 1861]	9p.		Bound with N-7/25(1)-(11)(13)-(36)	N-7/25(12) 44			182
[n.d.]	12p.		Bound with N-7/25(1)-(12)(14)-(36)	N-7/25(13) 44			183
[n.d., 1874]	8p.	Dedication signature "W.H.Cummings from J.L.Hatton"	Bound with N-7/25(1)-(13)(15)-(36)	N-7/25(14) 44			184
[n.d., 1858]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(14)(16)-(36)	N-7/25(15) 44			185
[n.d., 1863]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(15)(17)-(36)	N-7/25(16) 44			186
[n.d., 1856]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(16)(18)-(36)	N-7/25(17) 44			187
[n.d.]	7p.	Writing of "...W.H.Cummings ... Fides 1873" Illegible sign	Bound with N-7/25(1)-(17)(19)-(36)	N-7/25(18) 44			188
[n.d., 1859]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(18)(20)-(36)	N-7/25(19) 44			189
[n.d.]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/25(1)-(19)(21)-(36)	N-7/25(20) 44			190
[n.d., 1868]	9p.		Bound with N-7/25(1)-(20)(22)-(36)	N-7/25(21) 44			191
[n.d., 1869]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(21)(23)-(36)	N-7/25(22) 44			192
[n.d., 1859]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(22)(24)-(36)	N-7/25(23) 44			193
[n.d., 1866]	10p.		Bound with N-7/25(1)-(23)(25)-(36)	N-7/25(24) 44			194
[n.d.]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/25(1)-(24)(26)-(36)	N-7/25(25) 44			195
[n.d., 1855?]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(25)(27)-(36)	N-7/25(26) 44			196

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
197	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	My love is not a beauty, song, composed by J.L.Hatton. [Begins: My love is not a beauty]	London: Hutchings & Romer (PN H&R.4558)
198	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Mary, the milkmaid [Written by Wm.H.Bellamy Esq. Composed by J.L.Hatton. [Begins: Mary the milkmaid'just eighteen]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.1291)
199	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Night and morning, song. Written by B.S.Montgomery, Esqr. composed by J.L.Hatton. [Begins: Two sweet young maidens pass my door each day]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5351)
200	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Not lonely, ballad, written by Mrs. Harriet Power., the music composed by J.L.Hatton. [Begins: I am not lonely though thy voice]	London: Lamborn Cock (PN L.C.144)
201	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The night is calm and cloudless, poetry from Longfellow's Golden Legend. The music composed and dedicated to (by permission) to her grace The Duchess of Northumberland, by J.L.Hatton. [Begins: The night is calm and cloudless]	London: published by the composer (PN 1122 X)
202	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Once more old England's warriors, song. words written by W.H.Bellamy. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: Once more old England's warriors have girt their good swords on]	London: Addison & Hollier (PN 3046)
203	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The orphan boy, written by Charles Swaim. Music by J.L.Hatton. [Begins: The room is old the nights cold]	London: Addison & Lucas (PN A&L.6052)
204	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Old Cyril the Sexton, written by W.H.Bellamy. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: Old Cyrol the Sexton he lives on the hill]	London: Addison & Hollier (PN 1677)
205	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Our song shall be of home, ballad. The words by J.E.Carpenter. The music by J.L.Hatton. [Begins: When far away from those we love upon the raging sea]	London: Metzler & Co.
206	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Phoebe, dearest, tell oh tell me, words by W.H.Bwllamy, music by J.L.Hatton. [Begins: Phoebe, dearest, tell, oh! tell me]	
207	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	[Works, vocal, Selections] Contains 50 songs, N-7/26(1)-(50)	
208	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Persevere! Song, written by William White, and dedicated (by permission) to The Lady Mildred Beresford Hope. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: Now listen, ye that stand dismay'd on life's uneven way]	London: Ransford & Son (PN R&S.920)
209	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The Queen and our Squadron & brave Commodore, the song of the Royal Thames Yacht Club. Dedicated by permission to W.H.Harrison, Esqr. Commodore. To Meeson Esqr, captain. and the members of the Royal Thames Yacht Club. The words by Lord William Lennox, the music by John L.Hatton. As sung by him with enthusiastic applause at the banquet given in honor of W.H.Harrison Esqr. Commodore of the Royal Thames Yacht Club. [Begins: The Goblet now fill, while I give you a toast]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.313)
210	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To Miss Elizabeth Young. Rippling Waves, song, written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatto[n]. [Begins: The waves they come and the waves they go]	London: Duff & Stewart (PN D&S.3673)
211	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The adventures of Robinson Crusoe (music arranged by J.L.Hatton) [Begins: The sea was calm and the wind was still]	London: Addison & Hodson (PN 1688)
212	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Simon the cellarer, the words by W.H.Bellamy, Esqr. The music by J.L.Hatton. This song is the property of Mr. Tho. Oliphant. [Begins: Old Simon the cellarer keeps a rare store]	London: Addison & Hodson
213	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dedicated to H.J.Barrett, Esqr. Sing! who mingles with my lays! sung by Mr. Benson, written by Barry Cornwall, composed by J.L.Hatton. [Begins: Sing! who mingles with my lays?]	London: Leader & Cock (PN L&C.2471)
214	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The soldiers of our land, national song with chorus. The words by J.E.Carpenter. The music by J.L.Hatton. Author of "Our dear old Church of England," "The gallant tars of England" &c. [Begins: Up! gallant hearts of England!]	London: Robert Cocks & Co. (PN 15093)
215	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sweet wife of mine, song, the words by Jessica Rankin, the music by J.L.Hatton. [Begins: Life has too happy with thee sweet wife of mine]	London: Joseph William (PN LC.A&Co.3911)
216	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Song for the saesons, written by Barry Cornwall, composed by J.L.Hatton. [Begins: When the merry lark doth gild]	London: Joseph Williams (PN 4676)
217	Hatton, John Liptrott (1809-1886)	The snow white plume. Poetry by W.H.Bellamy. Music by J.L.Hatton. [Begins: The sun went down on Crecy's plain] (The Prince of Wales' Wedding Music, No.3)	London: Cramer Beale & Wood (PN 8334)
218	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sweet love, good night, song. Written by Edwin Ramsford, set to music by John L.Hatton. [Begins: The silv'ry moon is shining bright]	London: Campbell, Ransford & Co. (PN 546)
219	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sweet love, good night thee, ballad. Words by John Duff. Music by J.L.Hatton. [Begins: The exile leaves his native land]	London: Duff & Hodgson (PN D&H.2243)
220	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The old soldier's daughter, ballad. Written by W.H.Bellamey, composed by J.L.Hatton. [Begins: Oh do you remember the Old Soldier's Daughter?]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5352)
221	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sung by Miss Palmer. The sailor's wife, the poetry by C.Mackay, L.L.D. The music by J.L.Hatton. [Begins: I've a letter from thy sire]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5675)
222	Hatton, John Liptrott (1809-1886)	The sailor's child, ballad. Words by Barry Cornwall, Esqr. Music by J.L.Hatton. [Begins: Hush! my boy! hush! my blessing!]	London: Enoch & Sons (PN E&S.60)
223	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The secret of the sea, ballad, written by H.W.Longfellow, musiv by J.L.Hatton. [Begins: Ah! what pleasant visions haunt me]	London: Joseph Williams (PN 5851)
224	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dedicated to Clara and Jessy. The stars, "Without haste, without rest." Sung by Mr. Benson, written by Barry Corn wall, composed by J.L.Hatton. [Begins: They glide upon their endless way]	London: Leader & Cock (PN L&C.2146)
225	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The stream (A reverie), written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: Stream through the meadow grass quietly flowing]	London: Duff & Stewart (PN D&S.3674)
226	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	She was my boyhood's dream, ballad, written by J.E. Carpenter, the music composed and dedicated to James H.Davidson. Esqr. by J.L.Hatton. [Begins: She was my boyhood's dream]	London: Robert Cocks & Co. (PN 15238)
227	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The snow flakes, song. The words by B.S.Montgomery, the music by J.L.Hatton. [Begins: The snow flakes, the snow flakes]	London: Augener & Co. (PN 3378)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot no.
[n.d., 1871]	7p.	Dedication signature "W.H.Cummings from J.L.Hatton"	Bound with N-7/25(1)-(26)(28)-(36)	N-7/25(27)	44		197
[n.d., 1857]	9p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/25(1)-(27)(29)-(36)	N-7/25(28)	44		198
[n.d., 1859]	6p.	Dedication signature "W.H.Cummings from J.L.Hatton"	Bound with N-7/25(1)-(28)(30)-(36)	N-7/25(29)	44		199
[n.d., 1874]	8p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/25(1)-(29)(31)-(36)	N-7/25(30)	44		200
[n.d.]	7p.	Sign of J.L.Hatton in red ink	Bound with N-7/25(1)-(30)(32)-(36)	N-7/25(31)	44		201
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/25(1)-(31)(33)-(36)	N-7/25(32)	44		202
[n.d., 1864]	8p.		Bound with N-7/25(1)-(32)(34)-(36)	N-7/25(33)	44		203
[n.d., 1866]	9p.		Bound with N-7/25(1)-(33)(35)-(36)	N-7/25(34)	44		204
[n.d., 1862]	7p.		Bound with N-7/25(1)-(34)(36)	N-7/25(35)	44		205
[n.d.]	6p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-4/25(1)-(35) Lacking of the title page	N-7/25(36)	44		206
[n.d.]	444p., 37.0 x 28.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/26	44	o.0/13	1584 207
[n.d., 1868]	7p.		Bound with N-7/26(2)-(50)	N-7/26(1)	44		208
[n.d., 1845]	9p.		Bound with N-7/26(1)(3)-(50)	N-7/26(2)	44		209
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)(2)(4)-(50)	N-7/26(3)	44		210
[n.d., 1845?]	15p.	Writing of "Music arranged by J.L.Hatton" by unknown hand	Bound with N-7/26(1)-(3)(5)-(50)	N-7/26(4)	44		211
[n.d., 1851?]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(4)(6)-(50)	N-7/26(5)	44		212
[n.d., 1856]	9p.	Dedicational signature to "W.H.Cummings Esqr. with S.Bensons kind regards" Trace of use	Bound with N-7/26(1)-(5)(7)-(50)	N-7/26(6)	44		213
[n.d., 1868]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(6)(8)-(50)	N-7/26(7)	44		214
[n.d., 1866]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(7)(9)-(50)	N-7/26(8)	44		215
[n.d., 1864]	10p.		Bound with N-7/26(1)-(8)(10)-(50)	N-7/26(9)	44		216
[n.d.]	10p.		Bound with N-7/26(1)-(9)(11)-(50)	N-7/26(10)	44		217
[n.d.]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/26(1)-(10)(12)-(50)	N-7/26(11)	44		218
[n.d., 1860]	5p.		Bound with N-7/26(1)-(11)(13)-(50)	N-7/26(12)	44		219
[n.d., 1866]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(12)(14)-(50)	N-7/26(13)	44		220
[n.d., 1840]	7p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/26(1)-(13)(15)-(50)	N-7/26(14)	44		221
[n.d., 1873]	10p.	Stamp of "Presentation copy"	Bound with N-7/26(1)-(14)(16)-(50)	N-7/26(15)	44		222
[n.d., 1870]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(15)(17)-(50)	N-7/26(16)	44		223
[n.d., 1855]	8p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/26(1)-(16)(18)-(50)	N-7/26(17)	44		224
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(17)(19)-(50)	N-7/26(18)	44		225
[n.d., 1869]	7p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/26(1)-(18)(20)-(50)	N-7/26(19)	44		226
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(19)(21)-(50)	N-7/26(20)	44		227

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
228	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"Save father on the sea," song written by A.Matthison, set to music for Miss Palmer, by J.L.Hatton. [Begins: The storm winds howl, the waters rage]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5834)
229	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sing, nor let one note of sadness, song, written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: Sing, nor let one note of sadness]	London: Duff & Stewart (PN D.&S.3676)
230	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	4 Songs, Summer, for contralto, written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: The sun is high in the welkin now]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.J.5682)
231	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	4 Songs, spring, for soprano, written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: Again the Spring is coming]]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5682)
232	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Chamber Trio [no.32]. The Savoyard's Return, composed by J.L.Hatton. [Begins: Oh! yonder is the wellknown spot]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.2229)
233	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"So the story goes," words by Dr. J.F.Waller, reproduced from Cassell's Magazine, by permission of Messrs. Cassell Petter & Calpin. Music composed by J.L.Hatton. [Begins: 'Twas once upon a summer day]	London: Lamborn Cock & Co... and J.B.Cramer & Co.
234	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The silver moon is keeping watch, serenade, the poetry by Thos. Oliphant Esqr. composed by John L.Hatton. [Begins: The silver moon is keeping silent watch in the clear blue sky]	London: Addison & Hodson
235	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	A sea song, written by W.C.Bennett, sung by Made. Sinton-Dolby, composed by J.L.Hatton. [Begins: The windows rattle in their frames]	London: Boosey & Sons
236	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The true heart's constancy, song, written by W.H.Bellamy. Composed and dedicated to C.Lockey, by J.L.Hatton. [Begins: A Rover I've been, in realm a far]	London: Cramer, Beale & Chappell (PN 6855)
237	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sung by Mr. Wilbye Cooper. True to love and thee, song, written by George Linley, composed by J.L.Hatton. [Begins: As if to welcome eyes so dear]	London: Boosey & Sons
238	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To Mrs. Hall Hall. Watergate House, near Chichester. This life, song, words by Gustavus Neboyrn Esqr. music by F.Hatton. [Begins: This life is wearing fast away]	London: Foster & Co. (PN F.&Co.599)
239	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The trumpet on the Rhone, song. (with trumpet obligato.) Written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: The shadows of a summer night]	London: Addison, Hollier & Lucas (PN A.H.L.5732)
240	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"Under the greenwood tree," ballad, sung by Mr. Sims Reeves, in the cantata of Robin Hood, written by George Linley, composed by John L.Hatton. [Begins: Under the greenwood tree]	London: Cramer, Beale & Chappell (PN 6333)
241	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sung by Madame Weiss. Under the cliffs by the sea, ballad, written by Mortimer Collins, Esqr. composed by J.L.Hatton. [Begins: White throated maiden]	London: Foster & King (PN F&K.696)
242	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Uncle Jack, song, written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: Uncle Jack had been a sailor]	London: Metzler & Co.
243	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	The village church, song written by Beatrice Abercrombie, music by J.L.Hatton. [Begins: The old village church 'neath the elm tree stands]	London: Duff & Stewart (PN D&S.3672)
244	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Dedicated to Mrs. Broadhurst. When day is bright, chansonette, sung by Mr. Benson, written by T. Hood, composed by J.L.Hatton. [Begins: When day is bright with sunny light]	London: Lamborn Cock, Hutchings & Co. (late Leader & Cock) (PN L&C.2911)
245	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	4 Songs, Winter, for baritone, written by W.H.Bellamy, composed by J.L.Hatton. [Begins: Summer is o'er, with her fragrant store]	London: Addison & Hollier & Lucas (PN A.H.L.5682)
246	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	While there is life there is hope, song, written by B.S.Montgomery, the music by J.L.Hatton. [Begins: There are times when the heart in its gladness]	London: Joseph Williams (PN 4565)
247	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"The wreck," descriptive song, written by B.S.Montgomery, the music by J.L.Hatton. [Begins: The sea sends forth an angry roar]	London: Joseph Williams (PN 4559)
248	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Walter the woodman, dung by Mr. Machin, the word by W.H.Bellamy Esqr. the music by John L.Hatton. (This song is the property of Tho. Oliphant, Esqr.) [Begins: Walter the woodman is hale and strong]	London: Addison & Hodson
249	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Chamber trio. What say the clouds on the hill and plain? composed by J.L.Hatton. The words by Barry Cornwall, Esqr. Number forty five, of a selection of trios, with English words and an accompaniment for the piano forte. [Begins: What say the clouds on the hill and plain?]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.2511)
250	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Chamber trio. The wood-thrush, composed by J.L.Hatton. Number forty four, of a selection of trios, with English words and an accompaniment for the piano forte. [Begins: Whither hath the wood-thrush flown]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.2510)
251	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Chamber trio. Who will to the greenwood hie? composed by J.L.Hatton. Number forty, of a selection of trios, with English words and an accompaniment for the piano forte. [Begins: When the moon is sailing high]	London: published by Leader & Cock (PN L&C.2368)
252	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	We are two merry gay laughing fairies, duet, sung with greatest success by Miss. A.Williams & Miss. M.Williams at the Nobility's Concerts Musical Festivals. &c. &c. &c. Written by Hercourt Rusell. Esqr. The music composed by J.L.Hatton. [Begins: We are two merry gay laughing fairies]	London: Lamborn Cock, Hutchings & Co. (late Leader & Cock) (PN L&C.316)
253	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Warbling birds, duet, for Two Treble voices, composed by J.L.Hatton. [Begins: The merry song of warbling birds]	London: Ransford & Son (PN R&S.670)
254	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Whither? Song, translated from German or Müller, by H.W.Longfellow, music by J.L.Hatton. [Begins: I heard a brooklet gushing]	London: Addison & Hollier (PN 1809)
255	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	When lovers say "good night." Serenade, by J.L.Hatton. [Begins: The hour is come, my own true heart]	London: Augener & Co. (PN A&Co.1761)
256	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	You will not change. Ballad composed by J.L.Hatton. [Begins: You will not change I know your heart]	London: Charles Lockey, Hastings, Duff & Hodgson
257	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Zachary bell, the words by an old stager. The music by J.L.Hatton. [Begins: Did you never hear tell of old Zachary Bell]	London: Addison. Hollier & Lucas (PN A.H.L.5271)
258	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	[Works, vocal, Selections] Contains 5 sacred works and 6 instrumental works.	

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.
[n.d., 1867?]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(20)(22)-(50)	N-7/26(21) 44			228
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(21)(23)-(50)	N-7/26(22) 44			229
[n.d., 1860]	9p.		Bound with N-7/26(1)-(22)(24)-(50) see N-7/24(1), N-7/26(24)(38)	N-7/26(23) 44			230
[n.d., 1860]	9p.		Bound with N-7/26(1)-(23)(25)-(50) see N-7/24(1), N-7/26(23)(38)	N-7/26(24) 44			231
[n.d., 1844]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(24)(26)-(50)	N-7/26(25) 44			232
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(25)(27)-(50)	N-7/26(26) 44			233
[n.d., 1848]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(26)(28)-(50)	N-7/26(27) 44			234
[n.d., 1861]	8p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/26(1)-(27)(29)-(50)	N-7/26(28) 44			235
[n.d., 1858]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(28)(30)-(50)	N-7/26(29) 44			236
[n.d., 1861]	7p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/26(1)-(29)(31)-(50)	N-7/26(30) 44			237
[n.d., 1866]	7p.	Sign of J.L.Hatton	Bound with N-7/26(1)-(30)(32)-(50)	N-7/26(31) 44			238
[n.d., 1871]	11p.		Bound with N-7/26(1)-(31)(33)-(50)	N-7/26(32) 44			239
[n.d., 1856]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(32)(34)-(50)	N-7/26(33) 44			240
[n.d., 1863]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(33)(35)-(50)	N-7/26(34) 44			241
[n.d., 1862]	9p.	Sign of W.H.Cummings	Bound with N-7/26(1)-(34)(36)-(50)	N-7/26(35) 44			242
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(35)(37)-(50)	N-7/26(36) 44			243
[n.d., 1862]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(36)(38)-(50)	N-7/26(37) 44			244
[n.d., 1860]	9p.		Bound with N-7/26(1)- (37)(39)-(50) see N-7/24(1), N-7/26(24)(25)	N-7/26(38) 44			245
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(38)(40)-(50)	N-7/26(39) 44			246
[n.d.]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(39)(41)-(50)	N-7/26(40) 44			247
[n.d., 1847]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(40)(42)-(50)	N-7/26(41) 44			248
[n.d., 1844]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(41)(43)-(50)	N-7/26(42) 44			249
[n.d., 1844]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(42)(44)-(50)	N-7/26(43) 44			250
[n.d., 1844]	8p.		Bound with N-7/26(1)-(43)(45)-(50)	N-7/26(44) 44			251
[n.d., 1845]	14p.		Bound with N-7/26(1)-(44)(46)-(50)	N-7/26(45) 44			252
[n.d.]	13p.		Bound with N-7/26(1)-(45)(47)-(50)	N-7/26(46) 44			253
[n.d., 1852]	7p.		Bound with N-7/26(1)-(46)(48)-(50)	N-7/26(47) 44			254
[n.d.]	9p.		Bound with N-7/26(1)-(47)(49)-(50)	N-7/26(48) 44			255
[n.d.]	7p.	Traces of use	Bound with N-7/26(1)-(48)(50)	N-7/26(49) 44			256
[n.d., 1866]	9p.		Bound with N-7/26(1)-(49)	N-7/26(50) 44			257
[n.d.]	248p., 37.0 x 28.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/27 44		o.0/13	1584 258

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
259	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	"God is love." A sacred song, written by J.W.Roe. The music composed and dedicated to Edmund Crundy. Esqre. (The Wylde, Bury, Lancastershire) by John L.Hatton. [Begins: Should darkness cloud life's troubled air]	London: Addison & Hollier
260	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Sacred lays, on the Commandments. Written by Charles Hall. Esqre. The music composed by J.L.Hatton.	London: Addison & Hollier (PN 1805)
261	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Benedicta es tu, Virgo Maria, a Domino Deo ecelsa prae omnibus mulieribus. (Tu gloria Jerusalem, tu laetitia Jsrael, tu honorificentia populi nostri.) Alleluia, Alleluia. (Tota pluchtra es, Maria, et macula originalis non est in te.) Alleluia. Graduale for voices alone composed by J.L.Hatton.	London: Augener & Co. (PN 1976)
262	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Exaltato te Domine, quoniam suscepisti me, nec delectasti inimicos meos super me, Domine clamavi ad te, et sanasti me. Offertorium for four voices, soprano, contralto, tenor & bass, organ accompt. composed by J.L.Hatton.	London: Augener & Co. (PN 1975)
263	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Mass for four voices, soprano, contralto, tenor & bass, composed by J.L.Hatton.	London: Augener & Co. (PN 1966)
264	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	To Mrs.Charles Kean. Overture and music incidental to Shakespeare's play of King Henry the Eighth, as performed at The Royal Princesses Theatre, composed by John L.Hatton. No.1 Overture No.2 1st Entr'act No.3 Shakespere's favorite tune and old dances No.4 2nd Entr'act prelude & air varied NO.5 3rd Entr'act Grand march No.6 4th Entr'act No.7 Duett Orpheus with his lute, soprano & contralto.	London: Campbell, Ransford & Co. (PNs C.R.&Co.509, 514, 515, 520, 526, 550, 652)
265	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Trois caprices pour le pianoforte, composées par John L.Hatton.	London: Addison & Hollier
266	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Prelude and fugue (in G minor) by J.L.Hatton.	London: Addison & Hollier
267	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Tranquillity. An impromptu, for the piano forte, composed and dedicated to Mrs. I.W.Collard, by J.L.Hatton.	London: Addison & Hodson (PN 1680)
268	Hatton, John Liptrot (1809-1886)	Capricio, on the favorite melody, Pestal, for the pianoforte composed by J.L.Hatton.	London: Leader & Cock (PN L&C.162)
269	Johann van Tripper (Hatton, John Liptrot, 1809-1886)	Phantasmagoria. A set of Walzes, composed and dedicated to the Brilliant by Johann van Tripper.	London: Boosey & Sons
270	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Arianna a Naxos. Cantata a voce sola accompagnata col clavicembalo o forte-piano, dal Sigr. Giuseppe Haydn.	London: printed for the author & sold by him
271	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	[Arianna a Naxos] "Teseo mio ben, dove sei tu?" "Dove sei, mio bel tesore?" "Ma, a chi parlo?" "Ah! che morir vorrei"	[London: printed for the author & sold by him]
272	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	The celebrated concertante. La Reine de France composed by Mr.Haydn and performed (with unbounded applause) at the Pantheon and Hanover Square Concerts adapted for the harpsichord or piano fortewith an accompaniment for a violin.	London: printed by Longman and Broderip
273	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Haydn's Favorite overture, as performed at the principal concerts adapted for the piano forte or harpsichord by T.Haigh.	London: printed & sold by Preston & son
274	Haydn, Joseph (1732-1809)	Die Schöpfung, ein Oratorium in Musik gesetzt von Joseph Haydn... The Creation, an oratorio composed by Joseph Haydn	Wien
275	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Seven Sonatas with an introduction and finale for the piano forte or harpsichord composed by Sigr. Giuseppe Haydn. Op. 45.	London: printed by Longman and Broderip
276	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Die sieben Worte des Erlösers am Kreuze in Musik gesezt von Joseph Haydn.	Leipzig: Breitkopf und Härtel
277	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Three sonatas, for the harpsichord or pianoforte with an accompaniment for a violin & violoncello, composed by Giuseppe Haydn of Vienna. Op.XL.	London: printed & sold by Will[a]m Forster
278	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Twelve ballads, composed by the celebrated Haydn, of Vienna; adapted to English words with an accompaniment for the harpsichord or pianoforte by Will[iam] Shield.	London: printed for and sold by Longman & Broderip
279	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	XII original English canzonetts, with an accompaniment for the piano forte or harp composed by Joseph Haydn. Op.LIX	London: printed for Longman & Broderip
280	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Twelve English ballads - the music - the undoubted composition of Haydn. The word selected and adapted to his works by Dr. Arnold.	London: printed & sold by Lonman & Broderip
281	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	XII. Lieder für das Clavier. Gewidmet aus besonderer Hochachtung und Freundschaft der Freülen Francisca Liebe Edle v. Kreutznern von Joseph Haydn, Fürst Esterhazischen Capell Meister. [2 Tl.]	Wien: Bey Artalia (PNs 20, 24)
282	Haydn, Franz Joseph (1732-1809)	Die Worte des Erlösers am Kreuze im Musik gesezt von Joseph Haydn.	Leipzig: bei Breitkopf und Härtel
283	Haydn, Michael (1737-1806)	Requiem von Michael Haydn. Paritur.	Leipzig: bei A.Kühnel (PN 922)
284	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Acis and Glatea. A mask as it was originally compos'd with the overture, recitativo's, songs, duets & choruses, for voices and instruments. Set to musick by Mr. Handel.	London: printed for W. Randall

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.	
[n.d., 1854]	7p.		Bound with N-7/27(2)-(11)	N-7/27(1)	44			259
[n.d., 1840?]	43p.		Bound with N-7/27(1)(3)-(11)	N-7/27(2)	44			260
[n.d.]	7p.		Bound with N-7/27(1)(2)(4)-(11)	N-7/27(3)	44			261
[n.d.]	13p.		Bound with N-7/27(1)-(3)(5)-(11)	N-7/27(4)	44			262
[n.d.]	51p.		Bound with N-7/27(1)-(4)(6)-(11)	N-7/27(5)	44			263
[n.d.]	53p.		Bound with N-7/27(1)-(5)(7)-(11)	N-7/27(6)	44			264
[n.d.]	11p.		Bound with N-7/27(1)-(6)(8)-(11)	N-7/27(7)	44			265
[n.d.]	15p.	Sign of W.H.Cummings "with Mr. Hattons compliment"	Bound with N-7/27(1)-(7)(9)-(11)	N-7/27(8)	44			266
[n.d., 1866]	7p.		Bound with N-7/27(1)-(8)(10)-(11)	N-7/27(9)	44			267
[n.d., 1847]	13p.		Bound with N-7/27(1)-(9)(11)	N-7/27(10)	44			268
[n.d., 1861]	17p.	Writing of "John L.Hatton"	Bound with N-7/27(1)-(10)	N-7/27(11)	44			269
[n.d., 1791]	18p., 26.3 x 35.6cm: obl. 4to.	Exlibris of W.H.Cummings Autograph sign of Haydn Comment on the volume and autograph signs of Haydn and W.Crotch by W.H.Cummings Autograph sign of W.Crotch and his comments on the work	piano-vocal score	N-6/45	45	o.11/68	855	270
[n.d., 1791]	19p. (90-106p.) Pages 79 to 88 are lost.	Title page is lost, in which Haydn's autograph signature were written.	Bound with N-3/11(1)-(4)	N-3/11(5)	44	o.0/82		271
[n.d.]	12p., 34.5 x 24.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the volume by W.H.Cummings Sign of William Crotch, dated 1795 Contents list of the volume probably by W.Crotch	Bound with N-4/19(2)-(5)	N-4/19(1)	45	f.11/4	856	272
[n.d.]	11p.		Bound with N-4/19(1)(3)-(5)	N-4/19(2)	45	f.11/4		273
[n.d., 1800]	303p., 35.5 x 26.2cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings Comment on the performance of the work written by W.H.Cummings from the advertisement of "The Times 28 March 1800"		N-7/28	45	o.52/22	854	274
[n.d., 1788]	27p., 33.5 x 25.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/46	45	o.11/6		275
1801	108p., 26.2 x 35.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-4/17	45	o.52/69	862?	276
[n.d.]	33p.	Hand written music on the last page	Bound with N-4/13(1)-(3)(5)-(6)	N-4/13(4)	44	f.11/11		277
[n.d.]	[iii], 24p. 31.7 x 23.6cm : obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the contents with pencil and also red ink, saying "Haydn's autograph - page 87" by unknown hand, but now lost. "Index to Haydn's Ballads" by unknown hand on the last page"	Bound with N-3/11(2)-(5)	N-3/11(1)	44	o.0/82	862	278
[n.d.]	[iii], 23p. (25-50p.)		Bound with N-3/11(1)(3)-(5)	N-3/11(2)	44	o.0/82		279
[n.d.]	[iii], 21p.(51-74p.)		Bound with N-3/11(1)(2)(4)(5)	N-3/11(3)	44	Not listed		280
[n.d., 1781, 1783]	80p., 22.1 x 32.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/18	45	f.11/18	857	281
[n.d., 1801]	[j], 68p., 30.5 x 26.4cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	piano-vocal score	N-6/48	45	o.52/69	862	282
[n.d., 1820?]	38p., 24.5 x 34.0cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Comment on the work written by W.H.Cummings		N-6/47	45	o.52/79	863	283
[n.d., 1769]	89p., 31.7 x 24.9cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "John Giles"		N-3/6	42	o.52/49	813	284

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
285	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	A Collection of lessons for the harpsichord compos'd by Mr. Handel. 4th book.	London: printed for I. Walsh
286	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Faramondo an opera as it is perform'd at the King's Theatre in the Hay-Market compos'd by Mr.Handel.	London: printed for & sold by I.Walsh
287	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Das Autograph des Oratorio "Jephtha" von G.F.Händel. Fest-Ausgabe der deutschen Händel-Gesellschaft zur zweiten Säcularfeier am 23. Februar 1885.	[Hamburg]
288	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Handel's songs selected from his oratorios. For the harpsichord, voice, hoboy, or German flute. vol.1. The instrumental parts to the above songs may be had separate to compleat the for concerts.	London: printed for J. Walsh
289	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Handel's Sacred Oratorio, the Messiah, composed in the year 1741, in full score, including Mozart's additional accompaniments.	London: Novello, Ewer & Co.
290	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The Messiah, an oratorio in complete score, composed by G.F.Handel, as first performed in the year 1741, with all his subsequent alterations & additions. Appended to which in an distinct form are the accompaniments for wind instruments, added by W.A.Mozart, the whole carefully revised & arranged with a compressed accompaniment for the piano forte or organ by J. Addison.	London: published by Geulding & D'Almaine
291	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Messiah, a sacred oratorio in score with all the aditional alterations composed in the year 1741 by G.F.Handel. Dr.Arnold's edition.	
292	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The Messiah, composed by G.F.Handel, arranged for the organ or pianoforte by Dr. John Clarke, of Cambridge.	London: printed for S.J.Button & J.Whitaker
293	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	G.F.Händel's Oratorium Der Messias nach W.A.Mozart's Bearbeitung. Partitur.	Leipzig: Bei Breitkopf and Härtel
294	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Der Messias. Oratorium von G.F.Händel. Unter Zugrundelegung der Mozart'schen Partitur mit den nöthigen Ergänzungen herausgegeben von Robert Franz.	Leipzig: Fr.Kistner (PN 6300)
295	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Messiah. An oratorio (in score) as it was originally performed composed by Mr. Handel, to which are added his additional alterations.	London: [The Royal Harmonic Institution] (Plate no.238)
296	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The Messiah. An oratorio, composed in the year 1741: By George Frederic Handel. [1st part, -p.292]	London: printed for The Handel Society by Cramer Beale & Co.
297	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	[The Messiah. An oratorio, composed in the year 1741: By George Frederic Handel. [2nd part, p.293-]	[London: printed for The Handel Society by Cramer Beale & Co.]
298	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The Messiah; an oratorio. Composed by Mr.Handel, for the voice, harpsichord, and violin ; with the chorusses in score.	London: printed for Harrisson & Co.
299	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Eight grand chorusses. From Mr.Handel's oratorio of the Massiah. Adapted for the organ or harpsichord and voices.	London: printed for J. Bland
300	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	The overture and songs in the Messiah for harpsichord or piano forte compos'd by Mr. Handel.	London: printed by Lewis, Houston & Hyde
301	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Six concertos, commonly called the hautboy concertos, composed about the ear 1720, by G.F.Handel, adapted for the organ or piano forte, by Wm. Crotch, Mus.Doc. Professor of Music in the University of Oxford.<No.15.>	London: printed & sold by Messrs Birchall & Co. (PN 1078)
302	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Song's in the opera of Rinaldo compos'd by Mr. Handel.	London: printed for J.Walsh... & J.Hare
303	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Suites de pieces pour le clavecin. Composée par G.F.Handel. [1st. volume] Suites de pieces pour le clavecin. Composée par G.F.Handel. Second volume. No. 490	Vol1, London: printed by Wright & Co. successors to Mr. Walsh, vol.2, London: printed & sold by John Walsh. No.490.
304	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Suites de pieces pour le clavecin. Composée par G.F.Handel. [vol.1] Suites de pieces pour le clavecin. Compisées par G.F.Handel. Second volume.	London: printed by Wright & Co. Successors for Mr. Walsh
305	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Suites de pieces pour le clavecin. Composées par G.F.Handel. 1-volume.	London: printed & sold by John Walsh (PN490)
306	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Suites de pieces pour le clavecin. Composées par G.F.Handel. Second volume.	London: printed & sold by John Walsh [PN 490]
307	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Theodora. An oratorio in score composed in the year 1750 by G.F.Handel.	[London: John Walsh]
308	Händel, Georg Friedrich (1685-1759)	Twelve grand concertos, compsed about the year 1737, by G.F.Handel, adapted for the organ or piano forte by Wm. Crotch, Mus. Doc. Professor of music in the University of Oxford, and principal of the Royal Academy of Music in London. Book 1. <No.19>. Twelve grand concertos, compsed about the year 1737, by G.F.Handel, adapted for the organ or piano forte by Wm. Crotch, Mus. Doc. Professor of music in the University of Oxford, and principal of the Royal Academy of Music in London. Book 2. <No.20>.	London: printed & sold by Messrs Birchall & Co. (PN 1863)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.	
[n.d.]	[iii], 21p.		Bound with N-3/10(1)(2)(4)	N-3/10(3)	52/53	f.11/16		285
[n.d., 1738]	[v], 91p., 32.2 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-6/38	42	o.52/54	813	286
1885	iv, 268p., 25.8 x 32.1cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/39	42	o.52/75	804	287
[n.d.]	[iv], 170p., 23.4 x 32.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-03/34	42	o.0/81		288
[n.d.]	vii, 297p., 39.3 x 28.8cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings Concert programmes of Sacred harmonic society on "Friday evening, December 19th, 1884," "December 18th, 1885," "December 17th, 1886," and "December 22nd, 1887." Lots of writing with ink by W.H.Cummings	score	N-4/2	43	0.52/5	807	289
[n.d.]	[vii], 343p., 37.9 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Illegible sign A newspaper-clipping "The great Handel festival at the Crystal Palace" June 15, 17, 19, 1859 and "Financial results of the Handel Festival" Magazine cutoff "Handel's oratorio Messiah," The musical times and singing class circular, August 1, 1846.	score	N-4/1	43	o.52/8	803	290
[n.d.]	219p., 39.0 x 29.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-4/3	43	o.52/2		291
[n.d., 1808c]	213p., 37.7 x 28.4cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	piano-vocal score	N-4/4	43	o.52/10	803	292
[n.d., 1803]	108, 95, 48p., 28.0 x 36.5cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-4/5	43	o.52/66	804	293
[n.d., 1884]	v, 334p., 33.5 x 26.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-4/6	43	o.52/34		294
[n.d., 1784]	[v], 188p., 33.2 x 25.2cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Stamp of Royal harmonic institution	score	N-4/7	43	o.52/40		295
1850	xiv, 1-292p., 38.7 x 29.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score Originally one volume with N-4/9	N-4/8	43	o.52/6	805	296
[n.d., 1850]	293-593p., 38.8 x 29.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score Originally one volume with N-4/8	N-4/9	43	o.52/6	805	297
[n.d., 1784]	88p., 25.0 x 35.0cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings Comment on the volume by W.H.Cummings	piano-vocal score	N-6/42	43	o.51/77		298
	24p.		Bound with N-6/41(1)	N-6/41(2)		o.51/33		299
[n.d., 1795c]	40p., 34.0 x 23.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-6/41(2)	N-6/41(1)	43	o.51/33		300
[n.d., 1820]	49p., 37.1 x 27.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-7/20(2)	N-7/20(1)	42	f.11/2	798	301
[n.d., 1711]	36.5 x 23.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of "RN" Sign of Rebecca Bowles Sign of Anne Rushout		N-7/22	43	o.51/20	795	302
[n.d., 1784c]	Vol.1, 94p., vol.2, 83p., 24.2 x 32.8cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings	2 volumes combined into 1.	N-3/2	44	f.11/12	782	303
[n.d., 1784]	94p., 83p., 23.0 x 33.6cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Samuel Reay Notes on the life of Samuel Reay written by unknown hand Sign of S.Becker	2 volumes combined into 1.	N-4/12	44	f.11/17	783	304
[n.d., 1736]	94p., 25.5 x 34.0cm: obl.folio	Exlibris of W.H.Cummings Sign of William Crotch "Jan. 26th 1791" Contents list of the volume by W.H.Cummings Comment on the sign of W.Crotch by W.H.Cummings	Bound with N-4/13(2)-(6)	N-4/13(1)	44	f.11/11	784	305
[n.d., 1784]	83p.		Bound with N-4/13(1)(3)-(6)	N-4/13(2)	44	f.11./11	784	306
[n.d., 1750]	33.7 x 24.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	score	N-4/10	44	o.52/41	810	307
[n.d., 1826?]	1-60., 61-126p.		Bound with N-7/20(1)	N-7/20(2)	42	f.11/2	798	308

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication: Place, Publisher
309	Kozeluch, Leopold Antonin (1747-1818)	Trois sonatas pour le clavecin au le forte piano avec violon et violoncelle obligés par L.Kozeluch. Op.21.	London: printed by Longman and Broderip
310	Kozeluch, Leopold Antonin (1747-1818)	Three sonatas for the harpsichord or pianoforte with accompaniments for a german flute or violin, & violoncello. Composed and humbly dedicated to her Royal Highness The Duchess of York, by Leopold Kozeluch. Op.34.	London: printed & sold by I.Bland
311	Kücken, Friedrich Wilhelm (1810-1882)	Fünf Lieder für Sopran oder Tenor mit Begleitung des Pianoforte und ein dreistimmiger Canon in Musik gesetzt und dem Intendanten des Gro.....Herrn Hofrath Zöllner achtungsvoll zugeeignet von Fr. Kücken. Op.17 No I. Wenn du wärst mein eigen. No II. Lied v. H.Heine. No III. Im Mai Lied nach Heine. No IV. Curiose Geschichte. No V. Rückkehr Gedicht von A.Licht. No VI. Mädchen, mein Herz ist dein [canon].	Berlin: bei T.Traytwein (PN 562)
312	Kücken, Friedrich Wilhelm (1810-1882)	Drei Duette für zwei Singstimmen mit Begleitung des Pianoforte componirt und dem Fräulein Sophie Misfeld frundschaftlichst zugeeignet von Fr. Kücken.Op. 15. No 1. Ich denke dein. No 2. Barcarole. No 3. Des Morgens in der Frühe.	Berlin: Bei Bechtold & Hartje (PN 111)
313	Kücken, Friedrich Wilhelm (1810-1882)	Des Försters Töchterlein. Matrosenlied. Warum? Die Bergstimme, Romanze von H.Heine. Für eine Singstimme mit Begleitung des Pianoforte componirt und seinem Freude Ferdnand Daniel (in Schnerin-Meckl.) zugeeignet von Fr. Kückel. Op.9	Leipzig, Hamburg, Itzehoe: bei Schubert & Niemeyer (PN 134)
314	Leveridge, Richard (1670/71-1758)	A collection of songs, with the musick, by Mr. Leveridge. In two volumes. [1st volume] A collection of songs, with the musick, by Mr. Leveridge. In two volumes. [2nd volume]	London: engrav'd and printed for the author
315	Le June, Claude (1528/30-1600)	Les Pseaumes de David, mis en musique a quatre & cinq parties, par Caludin le leune. Superius, bassecontre, bassecontre, cinqueiesime partie	Genève: pour lean de Tournes
316	Lenton, John (1657?-1719)	A three part consort of new musick; consisting of overtures, trio's, and aures, &c. with variety of fancy; for violins, flutes, trumpet and hautboy; with a figured bass for the harpischord, lute, &c. Compos'd by John Lenton, one of His Majesty's Servants. First Treble.	London: printed by J.Heptinstall, and are sold at Mr. Playford's
317	Lawes, Henry (1596-1662)	Psalmody for a single voice, being twenty-four melodies for private devotion, with a base for voice or instrument; First published with Mr. George Sandys's "Paraphrase of the psalms of David" in the year 1683. By Henry Lawes, Gentleman of his Majesty's Chaple Royal. With a variation of each psalm tune on the same page, by Matthew Camidge, lately one of the Children of the same Chapel Royal. To which are prefixed, some introductory reasons for this publication, by W. Mason, M.A. Preceptor of York.	York: printed by W. Blanchard
318	Lawes, Henry (1595-1662)	Choice psalmes put into musick, for three voices. The most of which may properly enough be sung by any three, with a thorough base. Compos'd by Henry and William Lawes, brothers; and servants to His Majestie. With divers elegies, set in musick by sev'rall friends, upon the death of William Lawes. And at the end of the thorough base are added nine canons of three and foure voices, made by William Lawes.	London: Printed by James Young, for Humphrey Moseley
319	Linley, Thomas (1756-1778)	The original musick in the Tempest, as composed by Purcell, Dr. Arne & Linley, now performing at the Theatre Royal Covent Garden, with universal approbation. The overture and additional new music composed & the whole arranged by J. Davy, and dedicated by permission to J. P. Kemble Esqr.	London: printed & sold by C.Lonsdale (late Birchall & Co.)
320	Lock, Matthew (1621/22-1677)	English opera; or The vocal musick in Psyche.; with the instrumental therein intermix'd. To which is adjoynd the instrumental musick in the Tempest. By Matthew Lock, Composer in Ordinary to His Majesty, and organist to the Queen. Licensed 1675. Roger L'estranger.	London: printed by T. Ratcliff, and N. Thompson for the author, and are to be sold by John Carr
321	Loewe, Carl (1796-1869)	Balladen für eine Singstimme von Carl Loewe mit Begleitung des Pianoforte. Ausgewählt aus Opus 1, 2, 3, 8, 20...No.3 Der Erlekönig von Goethe, Sggr., 1826	Berlin: bei Ad. Mt.Schlesinger (PN B. et B.1910)
322	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li primi venticinque salmi. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo primo.	Venezia
323	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li primi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo secondo.	Venezia
324	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li primi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo terzo.	Venezia
325	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li primi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo quarto.	Venezia
326	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li secondi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo quinto.	Venezia
327	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li secondi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo sesto.	Venezia
328	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li secondi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo settimo.	Venezia
329	Marcello, Benedetto (1686-1739)	Estro poetico-armonico. Parafrasi sopra li secondi venticinque salmii. Poesia di Girolamo Ascanio Giustiniani, musica di Benedetto Marcello patrizj Veneti. Tomo ottavo.	Venezia
330	Marschner, Heinrich August (1795-1861)	Romanze: Wer ist der Ritter. [Romanze from the Akt III, no.14 of Oper "Der Templer und die Juden"]	Leipzig: bei Friedrich Hofmeister (PN 1458)
331	McGibbon, William (1696-1756)	A collection of Scots tunes for the violin or German flute and a bass for the violoncello or harpsichord by William McGibbon.	London: printed for R: Bremner

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot no.	
[n.d.]	iii, 37p.		Bound with N-4/19(1)-(2)(4)-(5)	N-4/19(3)	45	f.11/4		309
[n.d.]	37p.		Bound with N-4/19(1)-(4)	N-4/19(5)	45	f.11/4		310
[n.d., 1836]	19p.		Bound with N-6/84(1)-(4)(6)-(13)	N-6/84(5)	52	o.11/80		311
[n.d., 1845?]	11p.		Bound with N-6/84(1)-(5)(7)-(13)	N-6/84(6)	52	o.21/80		312
[n.d.]	11p.		Bound with N-6/84(1)-(6)(8)-(13)	N-6/84(7)	52	o.11/80		313
1727	Vol.1, [v], 65p., vol.2, [ii], 1-54, 69, 60-64, 271-273p. 20.3 x 13.4cm: 12mo.	Exlibris and sign of W.H.Cummings To the end of the volume, "Observations on a gentlewoman, working by a Hour-Glass," "A new country dance"(The Universal Magazine, December, 1753, p.271-272) and "The return from the chace" are added.	2 volumes combined into 1.	N-1/4	46	o.1-5/93	993	314
1627	Superius, [viii], 1-152p., 22.2 x 18.0cm, Bassecontre, 1-156p., 22.2 x 17.5cm, Bassecontre, [viii], 1-152p., 21.5 x 17.1cm, Cinquiesime partie, [ii], 3-40, 49-56p., 22.5 x 16.6cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of Joseph Warren Cutout from unknown auction catalogue	One of "bassecontre" partie incomplete	N-1/29	46	p./16	1334	315
1697	[iii], 18p., 18.0 x 21.8cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	part book of first treble only	N-5/20	46	h.1/4	989	316
1789	viii, 51p., 23.1 x 18.7cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-5/26	48	p./14	981	317
1648	Cantus primus, [X], 82p., Cantus secundus, [viii], 80p., Bassus, [x], 80p., Thorow base, [ii], 48p., 24.9 x 18.2cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings on the each part books	4 part books	N-6/53	46	p./10	979	318
[n.d., 1821]	69p., 36.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-7/35	50	o.0/16		319
1675	viii, 76p., 25.4 x 20.2cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/55	46	o.0/78	1001	320
1826	7p.		Bound with N-6/84(1)(2)(4)-(13)	N-6/84(3)	52	o.11/80		321
1724	1-130p., 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall	Bound with N-4/32(2)	N-4/32(1)	46	o.5/7	1052	322
1724	1-148p., 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-4/32(1)	N-4/32(2)	46	o.5/7	1052	323
1724	Viii, 5-141p. 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/33	46	o.5/7	1052	324
1724	viii, 5-197p., 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/34	46	o.5/7	1052	325
1725	iv, 5-133p., 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-4/35(2)	N-4/35(1)	46	o.5/7	1052	326
1726	1-146p., 38.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Bound with N-4/35(1)	N-4/35(2)	46	o.5/7	1052	327
1726	1-168p., 38.8 x 26.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/36	46	o.5/7	1052	328
1726	viii, 5-180p., 38.2 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/37	46	o.5/7	1052	329
[n.d.]	3p.		imcomplete Bound with N-6/84(1)-(8)(10)-(13)	N-6/84(9)	52	o.11/80		330
[n.d., 1770?]	[iv], 120p.		Bound with N-5/9(1)	N-5/9(2)	39	j.1/8		331

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication: Place, Publisher
332	Morley, Thomas (1557-1602)	Canzonets. Or little short songs to three voyces: Newly published by Thomas Morley, Batcheler of Music, and one of the Gent. of hir Maiesties Royall Chappel.	London: imprinted by Tho[m]as Est[e] , the assigné of William Byrd
333	Morley, Thomas (ed.) (1557-1602)	[The Triumphs of Oriana] Novello's choral hand book, a collection of music for voices only, printed in separate parts. Book I contains the whole of the Triumphs of Oriana, a Collection of madrigals. Edited by William Shore, Esq. Conductor of the Madrigal Society Manchester. [Canto, Alto, Tenore, Basso part books]	London: J. Alfred Novello
334	Neale, Richard (ed.)	A pocket companion for gentlemen and ladies: Being a collection of the finest opera songs & airs, in English and Italian. The work never before attempted. Carefully corrected, also figur'd for ye organ, harpsicord, and spinet by Mr. Ri[chard] Neale, organist of St. James's Garlick-hith[e]. The 2d.edition.	London: printed at Cluer's Printing-Office in Bow-Church-Yard, and sold there, and by B. Creake, at the Bible in Jermyn-Street, St.James's.
335	Neale, Richard (ed.)	A pocket companion for gentleman and ladies: being a collection of the finest opera songs & airs, in English and Italian. The work never before attempted. Carefully corrected, also figur'd for ye organ, harpsicord, and spinet by Mr. Ri[chard] Neale, organist of St. Jame's Garlick-hith.	London: printed at Cluer's printing-Office in Bow-Church-Yard, and sold there, and by B. Creake, at the Bible in Jermyn-Street, St.James's.
336	Neukomm, Sigmund Ritter von (1778-1858)	An mein Schiffein von Sophie Dellevie für zwei Singstimmen mit Clavier Begleitung. In Musik gesetzt und der Dichterin gewidmet von Ritter Sigmund Neukomm	Mainz, Paris, Antwerpen: bei B.Schott's Söhnen (PN 4601)
337	O'Carolan, Turlough (1670-1738)	The Hibernian muse ; A collection of Irish airs: Including the most favorite compositions of Carolan, the celebrated Irish bard. To which is prefixed, an essay on Irish music ; with memoirs of Carolan.	Lonon: printed for S.A. & P.Thompson
338	Palestrina, Giovanni Pierluigi da (c1525-1594)	Raccolte di musica sacra in cui contengonsi i gapi lavori de più celebri compositori Italiani consistente in messe, sequenze, offertori, mottetti, salmi, inni, responsori ec, Opera di Monsic. Pietro Alfredi cameriere di onore di sua Santità papa Gregorio XVI maestro di cappella membro della congregazione ed Accademia di Santa Cecilia, ec. Vol. VII.	Roma: Dalla stamperia litografica di Filippo Martelli
339	Pepusch, Johann Christopher (1667-1752)	Polly: an opera being the second part of the Beggar's Opera. Written by Mr. Gay. [With an appendix containing the songs arranged by J. C. Pepusch.]	London: printed for the author
340	Playford, Henry (c1657-c1707) (ed.)	Deliciae musicae: Being, a collection of the newest and best songs sung at court and at the publick theatres, most of them within the compass of the flute. With a thorow-bass, for the theorbo-lute, bass-viol, harpsichord, or organ. Composed by several of the best masters.The first volume compleat. Deliciae musicae...The second book Deliciae musicae...The third book Deliciae musicae...The fourth book.	London: printed by J. Heptinstall, for Henry Playford, and sold by him
341	Playford, Henry (c1657-c1707) (ed.)	Deliciae musicae: Being, a collection of the newest and best songs. Sung at court and at the publick theatres, most of them within the compass of the flute. With a thorow-bass, for the theorbo-lute, bass-viol, harpsichord, or organ. Composed by several of the best masters.The first book. Deliciae musicae...The second book. Delicie musicae...The third book. Deliciae musicae...The forth book. Deliciae musicae...The first book of the second volume. Delicae musicae...The second book of the second volume.	London: printed by J.Heptinstall, for Henry Playford
342	Playford, Henry (c1657-c1707) (ed.)	The division-violin: containing a collection of divisions upon several grounds for the trble-violin. Being the first musick of this made published. The third edition, much enlarg'd.	London: printed on copper -plates, and sold by Henry Playford
343	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	Cantica sacre: containing hymns and anthems for two voices to the organ, both Latine and English. Composed by Mr. Richard Dering. Dr. Christoph Gibbons. Dr. Benjamin Rogers.. Mr. Matth[ew] Locke, and Others. The second sett.	London: printed by W. Godbid for John Playford
344	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	Choice ayres, songs, & dialogues to sing to the theorbo-lute, or bass-viol. Being most of the newest ayres and songs, sung at Court, and at the publick Theatres. Composed by several gentlemen of His Majesties Musick, and others. Newly re-printed with large additions. Choice ayres & songs to sing to the theorbo-lute, or bass-viol....The second book. Choice ayres & songs to sing to the theorbo-lute, or bass-viol....The third book. Choice ayres & songs to sing to the theorbo-lute, or bass-viol....The fourth book. Choice ayres & songs to sing to the theorbo-lute, or bass-viol....The fifth book.	1st book, London: printed by William Godbid, and are sold by John Playford, 2nd book, London: printed by Anne Godbib, and are sold by John Playford, 3rd & 4th book, London: printed by A. Godbid and J.Playford Junior, and are sold by John Playford, 5th book, London: printed by J.Playford Junior and sold by John Playford.
345	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	The musical companion, in two books. The first book containing catches and rounds for threee voyces. The second book containing dialogues, gleees, ayres and songs for two, three, four voyces. Collected and published by John Playford, practioner in musick.	London: printed by W. Godhid for John Playford
346	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	The musical companion, in two books. The first book containing catches and rounds for three voyces. The second book, containing dialogues, gleees, ayres and songs for two, three and four voyces. Collected and published by John Playford, practitioner in musick	London: printed by W. Godbid for John Playford
347	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	Psalms & hymns in solemn musick of foure parts on the common tunes to the Psalms in metre: used in parish-churches. Also six hymns for one voyce to the organ. By John Playford.	London: printed by W. Godbid for J. Playford
348	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	The second book of the pleasnt musical companion: being a new collection of select catches, songs, and gleees, for two and three voices. The second edition, corrected and much enlarged.	London: printed for John Playford

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1970) vol. no.	
1593	44p. (including 8 Ms. pages), 20.6 x 16.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	bassus part only	N-5/22	47	o.3/89	1120	332
[n.d.]	88, 88, 48, 48, 48, 36, 36p., 27.2 x 18.5cm: 4to.	Sign of W.H.Cummings with red pencil Exlibris of W.H.Cummings	Contains 2 copies of each part books (canto [1st and 2nd], alto, tenore, basso).	N-6/105	47	o.5/67	1572	333
[n.d., 1723c]	xvi, 152p., 17.3 x 11.9cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "James Jaggart october 12 1765"	see N-1/27	N-1/8	48	o.11/97	1178	334
[n.d., 1723c]	[vii], xvi, [ii], 152p., 16.5 x 11.0cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "James Jaggart october 12 1765"	see N-1/8	N-1/27	48	o.11/97	1178	335
[n.d.]	4p.		Bound with N-6/84(1)-(7)(9)-(13)	N-6/84(8)	52	o.21/80		336
[n.d., 1790]	vi, 68p., 18.0 x 25.5cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/4	37	f.11/19	879	337
1846	422p., 37.5 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-4/22	48	o.51/15		338
1729	[vii], 1-72, 1-29p.(music), 21.7 x 17.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/32	48	o.1/88	719	339
The first book, 1695,	32, 24, 22, 18p., 32.3 x 20.5cm	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall	Bound with N-6/26(2)	N-6/26(1)	40	Not listed	1255	340
the 2nd book, 1695, the 3rd book, 1696, the 4th book, 1696								
The 1st book, 1695,	32.3 x 20.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Edward Burton (Dr. Burton) Partially illegible 3 erase writings Contents list of the volume written by W.H.Cummings On the last pages of the volume: Sign of "George" Dedication signature "To the Right Hon[ar]able Sr. Nathan Wright Lord Keeper of the Great Seale of England" etc.	6 books combined into 1. N-6/104 see N-6/26(1) and N-6/103	N-6/104	40	o.0/35	1257	341
the 2nd book, 1695, the 3rd book, 1696, the 4th book, 1696, the 1st and 2nd books of 2nd volume 1696								
1688	60p., 15.5 x 20.0cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/11	40	h.0/6	1289	342
1674	Cantus, [iv], 45p., [4] Bassus, [iv], 45p., [1] Basso Continuo, 33p., [12]		Bound with N-3/9(1)(3) Cantus, Bassus, Basso continuo part books	N-3/9(2)	48	Not listed		343
The 1st book, 1676,	[ii], 95p., [ii], 67p., [ii], 52p., [i], 87p., [ii], 63p. 31.7 x 20.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Index of the books written by probably W.H.Cummings	5 volumes combined into 1.	N-6/20	38	o.11/57	1284	344
the 2nd book, 1679, the 3rd book, 1681, the 4th book, 1683, the 5th book, 1684.								
1673 (1st book), 1672 (2nd book [part])	1st book, [viii], 1-58p., 2nd book, [i], 60-223p., [i] 15.5 x 20.4cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/5	47	o.24/101	1274	345
1673 (1st book), 1672 (2nd book)	1st book, [iiiv], 1-58p., 2nd book, [i], 60-223p., [i] 15.0 x 19.8cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the date of the edition, probably written by W.H.Cummings		N-1/6	47	o.24/102	1276	346
1671	[xi], 100p., 20.8 x 19.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings "Ex libris Joh: Rastrick vic: de Kirkton" Notes on the contents of the volume written by unknown hand	Bound with N-3/9(2)(3)	N-3/9(1)	48	p./6	1278	347
1687	[vi], 88p., 17.7 x 22.1cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of Joseph Warren Comments on the edition by probably W.H.Cummings		N-1/26	47	o.2-3/96	1288	348

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication : Place, Publisher
349	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	Select muscicall ayres and dialogues, in three bookes. First book, containes ayres for a voyce alone to the theorbo, or basse violl. Second book, containes choice dialogues for two voyces to the theorbo or basse violl. Third book, containes short ayres or songs for three voyces, so composed, as they may either be sung by a voyce alone, to an instrument, or by two or three voyces. Composed by these severall excellent masters in Musick, viz. Dr. John Wilson, Dr. Charles Colman, Mr. Henry Lawes, Mr. William Webb, Mr. Nicholas Lanneare, Mr. William Smegergill alias Cæsar, Mr. Edward Colman, Mr. Jeremy Savile. The second booke containing Pastrall Dialogues for two voyces to sing to an instrument. The third booke, containing Short Ayres or Songs for three voyces: which may be sung either by a voyce alone, or two or three voyces.	London: printed by T.H. [Thomas Harper] for John Playford
350	Playford, John (ed.) (1623-1686/87)	The whole book of Psalms: with the usual hymns and spiritual songs ; togehter with all the ancient and proper tunes sung in churches, with some of later use. Compose'd in three parts, cantus , medius, & bassus: In a more plain and useful method than hath been formerly published. By John Playford.	London: printed by W. Godbid for the Company of Stationers, and are sold by John Playford
351	Porpora, Nicola Antonio (1686-1768)	All'Altezza Reale di Frederico Principe Reale di Vallia e Principe Elettorale di Hanover delle Scienze e de le bell'arti Amatore Possessore e Protettore minifcentissimo Queste nuovamente composte opre di musica vocale Favorito Sollievo delle gravi Occupazioni Dal suo dilicato Gusto per Loro pregio aprovate e Dalla sua Regale Clemenza Gradite Di Gratitude in perpetuo Monumento dedica L'umilissimo devotissimo et Obbligatissimo Servo Nicolò Porpora.	London
352	Purcell, Daniel (1663/64-1717)	A Dialogue suppos'd to between a Eunuch boy, and a virgin. Sung by Bowen and Mrs. Cross in a new play call'd Ibrahm. Sett to musick by Mr. Daniel Purcell.	[England printed for Henry Playford]
353	Purcell, Henry (1659-1695)	A choice collection. Lessons for the harpsichord or spinnet. Composed by ye late Mr. Henry Purcell organist of his Majesties Chappel Royal & of St. Peters Westminster. The third edition with additions & instructions for beginners.	London: printed on copper plates for Mrs. Francis Purcell executrix of the author, and are to be sold at her house in Great Deans Yard Westminster.
354	Purcell, Henry (1659-1695)	A collection of ayres, compos'd for the theatre, and upon other occasions. By the late Mr. Henry Purcell.	
355	Purcell, Henry (1659-1695)	A collection of the most celebrated songs & dialogues composed by ye late famous Mr. Henry Purcell.	London: printed for R.Meares
356	Purcell, Henry (1659-1695)	A collection of songs for two and three voices taken from Orpheus Britannicus, composed by Mr. Henry Purcell.	London: printed by John Johnson
357	Purcell, Henry (1659-1695)	A fool's preferment, or, the three Dukes of Dunstable. A comedy. As it was acted at the Queens Theatre in Dorset-Garden, by Their Majesties servants. Written by Mr. Dufrey.Together, with all the songs and notes to 'em, excellently compos'd by Mr. Henry Purcell. Licensed, May 21.1688.	London: printed for Jos. Knight, and Fra. Saunders
358	Purcell, Henry (1659-1695)	Harmonia sacra or select anthems in score for one, two, and three voices,	London: printed for I. Walsh
359	Purcell, Henry (1659-1695)	A musical entertainment performe'd on November XXII. 1683. It being the festival St. Cecilia, a great patroness of musick ; whose memory is annually honour'd by a publick feast made on that day by the masters and lovers of music, as well in England as in foreign parts. [Begins: Welcome to all the pleasures]	London: printed by J. Playford Junior, and are to be sold by John Playford
360	Purcell, Henry (1659-1695)	Orpheus Britannicus. A collection of all the choicest songs for one, two, and three voices, comps'd by Mr. Henry Purcell. Together, with such symphonies for violins or flutes, as were by him design'd for any of them: and a through-bass to each songs ; figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. All which are placed in the several keys according to the order of the Gamut. Orpheus Britannicus. A collection of the choicest songs, for one, two, and three voices. Comps'd by Henry Purcell. Toghter, with such symphonies for violins or flutes, as were by him design'd for any of them: and a through-bass to each song. Figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. The second book, wich renders the first compleat.	Vol.1, London: printed by J. Heptinstall, for Henry Playford, vol.2, London: printed by William Pearson, for Henry Playford.
361	Purcell, Henry (1659-1695)	Orpheus Britannicus. A collection of all the choicest songs for one, two, and three voices, compos'd by Mr. Henry Purcell. Together, with such symphonies for violins or flutes, as were by him design'd for any of them: and a through-bass to each songs ; figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. The second edition with large additions ; and placed in their several keys according to the order of the GAMUT. Orpheus Britannicus. A collection of all the choicest songs, for one, two, and three voices, compos'd by Mr. Henry Purcell. Together. With such symphonies for violins or flutes, as wre by him design'd for any of them: and a through-bass to each songs. Figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. The second edition, which renders the first compleat. The second edition with additions.	London: printed by William Pearson, and sold by John Cullen London: printed by William Pearson, for S.H. sold by J. Young...J.Cullen
362	Purcell, Henry (1659-1695)	Orpheus Britannicus. A collection of all the choicest songs, for one, two, and three voices, compos'd by Mr. Henry Purcell. Together, with such symphonies for violins or flutes, as were by him design'd for any of them: and a through-bass to each songs ; figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. The third edition with large additions ; and placed in their several keys according to the order of the GAMUT. Orpheus Britannicus. A collection of all the choicest songs, for one, two, and three voices, compos'd by Mr. Henry Purcell. Together with such symphonies for violins or flutes, as wre by him design'd for any of them: and a through-bass to each songs. Figur'd for the organ, harpsichord, or theorbo-lute. The third edition, which renders the first compleat. The second edition with additions.	London: printed by William Person, for S.H. and sold by J.Young
363	Purcell, Henry (1659-1695)	The Queen's Epicedium set by Dr. Blow . Latine Redditum, Henricus Purcell.	London: John Playford
364	Purcell, Henry (1659-1695)	Three elegies upon the much lamented loss of our late most gracious Queen Mary the words of the two first by Mr. Herbert ; the latter out of the Oxford verse ; and sett to musick by Dr. Blow and Henry Purcell.	London: printed by J. Heptinstall, for Henry Playford

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重書目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1917) vol. no.	
1653	1st book, 36p., 2nd & 3rd books, 33p., 29.9 x 19.2cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings Cutoout from unknown auction catalogue Comments on the volume written with pencil, by unknown hand In addition to the names on the titlepage, the following composers are represented: Warner, J. Taylor, T. Brewer and W. Tompkins.		N-6/88	52	o.1-3/62	1258	349
1677	[xi], 293p., [iii], 18.7 x 12.0cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "Gizo[?] Henderson 1719"		N-1/11	48	p./26	1279	350
1735	82p., 25.2 x 31.5cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-3/8	48	o.11/105		351
[n.d., 1696]	6p.		Bound with N-6/103(1)(2)	N-6/103(3)	40			352
[n.d.]	[xii], 63p., 12.0 x 23.0cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/7	49	f.11/22	1369	353
1694	Vn.I., [iv], 48p., vn II., [ii], 48p., Tenor, [ii], p.40, Bassus, [ii], 40p., 32.0 x 20.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings on the each part book	Parts for violino primo, violino secundo, tennor, bassus.	N-3/1	49	jj.3	1371	354
[n.d., 1705?]	40p., 35.3 x 23.0cm	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/31	50	o.0/26	1388	355
[n.d., 1755?]	[iv], 70p., 32.4 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/67	49	o.2-3/46		356
1688	viii, 88, 16p., 22.3 x 17.3cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of John Dertham		N-6/107	49	o.0/87		357
[n.d., 1730?]	34p., 34.3 x 25.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/64	49	p./3	1386	358
1684	[v], 40p., 20.2 x 16.0cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings 2 cutouts from unknown auction catalogues Comment on the price of the volume "Julian Marshall's copy sold for £8.15." written by W.H.Cummings		N-5/25	50	o.11/91	1363	359
1698, 1702	Vol.1, viii, 248p., vol.2, viii, 176p., 31.8 x 20.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Signs of William Cole, James William Dodd, George Llwelllyn Comments on the provenance of the volume by W.H.Cummings 2 Cut off from unknown auction catalogues	2 volumes combined into 1.	N-3/15	49	o.1-3/50	1380	360
1706, 1711	vi, 286p., ii, 204p., 37.0 x 23.5cm: folio	2 Exlibris of W.H.Cummings Cutout from unknown auction catalogue		N-7/32	49	o.1-3/11	1381	361
1721, 1721	vii, 286p., ii, 204p., 37.0 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/33	49	o./12	1383	362
	18p.	Reprint from "The Whole Book of Psalms in 3 parts" etc., by John Playford. See N-6/26(2).	Bound with N-6/103(1)(3)	N-6/103(2)	40			363
1695	18p.		Bound with N-6/26(1)	N-6/26(2)	40	Not listed	1255	364

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
365	Purcell, Henry (1659-1695)	The Songs in the Indian Queen: as it is now Compos'd into an Opera. By Mr. Henry Purcell, composer in Ordinary to His Majesty. And one of the organists of His Majesty's Chapel-Royal.	London: printed by J. Heptinstall; and are to be sold by John May ... and for John Hudgbutt
366	Purcell, Henry (1659-1695)	Sonnata's of III parts: Two violins and basse: to the organ or harpsichord. Composed by Henry Purcell, composer in ordinary to his Sacred Majesty, and organist of his Chappell Royall.	London: printed fot the author: and sold by I. Playford and I. Carr
367	Purcell, Henry (1659-1695)	Sonnata's of III parts: Two violins and basse: To the organ or harpsichord. Composed by Henry Purcell, composer in Ordinary to his most sacred Majesty, and organist of his Chapell Royall. [4 part books]	London: printed for the author and sold by I.Playford and I. Carr
368	Purcell, Henry (1659-1695)	Sonnata's of III parts: Two violins and basse: to the organ or harpsichord. Composed by Henry Purcell, composer in ordinary to his Sacred Majesty, and organist of his Chappell Royall. [2nd violin and Basso part books]	London: printed fot the author: and sold by I. Playford and I. Carr
369	Purcell, Henry (1659-1695)	Sonatas of III parts: Two violins and basse: To the organ or harpsichord. Composed by Henry Purcell, composer in Ordinary to his most sacred Majesty, and organist of his Chappell Royall. The second edition.	London: printed for the author: and sold by I.Playford and I. Carr
370	Purcell, Henry (1659-1695)	Sonatas of III parts: Two violins and basse: To the organ or harpsichord. Composed by Henry Purcell, composer in Ordinary to his most sacred Majesty, and organist of his Chappell Royall.	London: printed for the author: and sold by I.Playford and I. Carr
371	Purcell, Henry (1659-1695)	10 Sonatas (1697), no.1, 2, 3, 7, 9 [2nd violin and Basso part books]	Ms.
372	Purcell, Henry (1659-1695)	The original musick in the Tempest, as composed by Purcell, Dr. Arne & Linley, now performing at the Theatre Royal Covent Garden, with universal approbation. The overture and additional new music composed & the whole arranged by J. Davy, and dedicated by permission to J. P. Kemble Esqr.	London: printed & sold by C.Lonsdale (late Birchall & Co.)
373	Purcell, Henry (1659-1695)	A new edition of the celebrated music in the Tempest, composed by Henry Purcell, revised and corrected by Doctor Busby.	London: printed by Broderip & Wilkinson
374	Purcell, Henry (1659-1695)	The vocal and instrumentall musick of the Prophetess or the History of Dioclesian. Composed by Henry Purcell, organist of their Majesties Chappel, and of St. Peters Westminster.	London: printed by J. Heptinstall, for the author, and to be sold by John Carr
375	Readings, John (1685?-1764)	A book of new anthems containing a hundred plates fairly engraven with a thorough bass figur'd for the organ or harpsicord with proper retornels by John Reading organist of St. Johns Hackney; Educated in the Chapple Royal, under the late famous Dr. John Blow.	[London]
376	Reading, John (1685?-1764)	A book of new songs (after the Italian Manner) with symphonies & a Through-bass fitted to the harpsichord &c. All within ye compass of the flute and fairly engraven on copper plates. Comps'd by Mr. John Reading, organist of St. John's Hackney, educated in the Cappel-Royal under ye late faimous Dr. John Blow.	London: printed for ye author and are to be sold by him... and by Brabaz Aylmer.
377	Rochlitz, Johann Friedrich (1769-1842)	Sammlung vorzüglicher Gesangstücke der anerkannt grössten zugleich für die Geschichte der Tonkunst wichtigsten die eigene höhere Ausbildung für diese Kunst und den würdigsten Genuss an derselben förderndsten Meister der für Musik entscheidendsten Meister der für Musik entscheidendsten Nationen, gewählt nach der Zeitfolge geordnet und mit den nöthigsten historischen und anderen Nachweisungen herausgegeben von F. Rochlitz. 1ter Band. Collection de morceau de chant, tirés des maîtres qui ont le plus contribué aux progrès de la musique et qui occupent unrang distingue dans l'histoire decet art, choisis et arranges chronologiquement avec des notes historique et autres par F.Rochlitz. Tome 1.	Mainz, Paris, Antwerpen: bei B. Schott's Schönen (PNs 4591.1, 4591.2, 4591, 5711.1, 5711.2)
378	Rochlitz, Johann Friedrich (1769-1842)	Sammlung vorzüglicher Gesangstücke der anerkannt grössten zugleich für die Geschichte der Tonkunst wichtigsten die eigene höhere Ausbildung für diese Kunst und den würdigsten Genuss an derselben förderndsten Meister der für Musik entscheidendsten Meister der für Musik entscheidendsten Nationen, gewählt nach der Zeitfolge geordnet und mit den nöthigsten historischen und anderen Nachweisungen herausgegeben von F. Rochlitz. [2]ter Band. Collection de morceau de chant, tirés des maîtres qui ont le plus contribué aux progrès de la musique et qui occupent unrang distingue dans l'histoire decet art, choisis et arranges chronologiquement avec des notes historique et autres par F.Rochlitz. Tome [2].	Mainz, Paris, Antwerpen: bei B. Schott's Schönen (PNs 6062.1, 6062.2, 6062.3)
379	Rovetta, Giovanni (1596/99-1668)	Motetti del Sig[nor] Gio[vanni] Roevetta di Venetia (3 parts: Canto I & II, Organo)	Venezia
380	Sandye, George (1578-1644)	A paraphrase upon the divine poems. By George Sandys. [Comprising "A paraphrase upon Job," "A paraphrase upon the Psalmes of David, By G.S.Set to new tunes for private devotion: and a thorough base, for voice, or Instrument. By Henry Lawes, one of the Gentlemen of His Majesties Chapell-Royall," "A paraphrase upon of the Psalmes of David"(5 books), "A paraphrase upon Ecclesiastes," "A paraphrase upon the Lamentations of Jeremiah" and "A Paraphrase upon the Songs collected out of the Old and New Testaments."]	London: printed for O.D.
381	Scarlatti, Domenico (1685-1757)	Libro de XII sonatas modernas para clavicordio compuestas por el señor D.Domingo Scarlati caballero del orden de Santiago y maestro de Los Reyes Catholicos D.Fenando El VI. y Doña Maria Barbara.	London: printed for the editor & sold by J.Jonson
382	Scarlatti, Domenico (1685-1757)	Libro de XII sonatas modernas para clavicordio compuestas por el señor D.Domingo Scarlati caballero del orden de Santiago y maestro de Los Reyes Catholicos D.Fenando El VI. y Doña Maria Barbara.	London: printed for the editor & sold by J.Johnson
383	Schubert, Franz Peter (1797-1828)	Auf dem Wasser zu singen. Gedicht von Leopold Grafen zu Stollberg. In Musik gesetzt für eine Singstime mit Begleitung des Pianoforte von Franz Schubert. 72tes Werk.	Wien: bei Ant. Diabelli und Comp. (PN D. et C. No.2487)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot, no.	
1695	[ii], 14p., 32.3 x 20.8cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/66	49	o.1/51	1367	365
1683	Vn. I. [viii], 12p., Vn. II, [i], 12p., Bs., [i], 12p., Bc., [i], 12p., 26.7 x 20.4cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings on every part books	4 part books (violin primo, violin secundo, basso, basso continuo)	N-2/12	50	j.31/5		366
1683	Violin primo:[v], 24p., 26.0 x 20.2cm, Violin secundo: 24p., Basso: 24p., 25.5 x 20.0cm, Basso continuo: 24p., 26.5 x 20.4cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings on the each partbooks	4 part books	N-6/69	50	j.31/5	1360	367
1683	2nd vn. part book, [i], [1-24p.], Basso part book, [i], [1-24p.], 26.7 x 20.4cm	Exlibris of W.H.Cummings on the both part books Contents list inside the front cover, probably written by W.H.Cummings	Bound with N-02/15(2)(3)	N-2/15(1)	50	Not listed		368
1684	24p., 29.8 x 23.5cm	Exlibris of W.H.Cummings	"violin secundo" only	N-6/108	50	Not listed		369
1683	24p., 26.3 x 20.2cm	Exlibris of W.H.Cummings	"violin secundo" only	N-6/109	50	Not listed		370
[n.d.]	2nd violin part book, [87-103p.], Basso part book, [87-105p.], 26.7 x 20.4cm: 4to.		Bound with N-02/15(1)(2)	N-2/15(3)	50	h.41/5		371
[n.d., 1821]	69p., 36.8 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-7/35	50	o.0/16		372
[n.d., 1800?]	50p., 35.0 x 25.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/36	50	o.52/27		373
1691	173p., 34.8 x 23.5cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings Exlibris of Edm[und] Wrenn Horne Glued paper with reputation of Warren as a music editor Quote on the work from Burney's History of Music, probably by W.H.Cummings		N-7/34	49	o.52/28	1365	374
[n.d., 1715?]	[vi], 105p., 24.3 x 19.5cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings		N-2/6	50	p./11		375
[n.d., 1710]	44p., 34.5 x 23.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/37	50	o.11/30	1420	376
[n.d., 1837/1838]	27p., 37p., 25p., 82p., 31p., 152p., 35.3 x 28.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Set with N-7/40	N-7/39	51	o.0/23		377
[n.d., 1838]	37p., 147p., 247p., 35.3 x 28.6cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	Set with N-7/30	N-7/40	51	o.0/23		378
1650	Canto I, [i], 4-78p., Canto II, [i], 4-70p., Organo, [i], 4-50p., 23.0 x 17.5cm: 8vo.	Cutout from unknown auction catalogue on the original cover of each volumes Exlibris and sign of W.H.Cummings List of contents hand written on the each volumes		N-1/19	51	p./17	1472	379
1648	[xxiv], 363p. 16.3 x 10.8cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Victor Albert George Child Villiers, Earl of Jersey		N-5/27	51	p.34	1504	380
[n.d., 1752]	[i], 41p., 33.5 x 24.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/82	51	f.11/7	1508	381
[n.d., 1752]	[i], 41p., 32.3 x 24.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cumming Clipping of subscription member application article, probably from newspaper, of the Owen's editon of the works by D.Scarlatti, dated 1772		N-6/83	51	f.11/8	1508	382
[n.d., 1827]	7p.		Bound with N-6/84(1)(3)-(13)	N-6/84(2)	52	o.11/80		383

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication：Place, Publisher
384	Schubert, Franz Peter (1797-1828)	Erlkönig. Ballade von Goethe: im Musik gesetzt für eine Singstimme mit Piano-Forte = Begleitung und Sr excellenz dem hochgebornen Herrn Herrn Grafen Moriz von Dietrichstein k.k.wirkl. geheimen Rath. und k.k.Kämmerer, Präfecten der k.k. Hofbibliothek & c. in tiefer Ehrfurcht gewidmet von Franz Schubert. 1tes Werk.	Wien: bei Ant. Diabelli und Comp. (PN D. et C. No.766)
385	Schumann, Robert Alexander (1810-1856)	Robert Schumann's Werke. Herausgegeben von Clara Schumann. Serie IX. Grössere Gerangwerke mit Orcheter oder mit mehreren Instrumenten. Partitur. No.87. Manfred. Dramatisches Gedicht in drei Abtheilungen von Lord Byron. Op.115.	Leipzig: Verlag von Breitkopf & Härtel (PN R.S.87)
386	Schumann, Robert Alexander (1810-1856)	Scene aus Goethe's Faust für solostimmen	Leipzig: C.F.Peters (PN 4441)
387	Sheeles, John (1695-1765)	Suits of lessons for the harpsichord or spinnett compos'd by Mr. John Sheeles. Second work.	London: printed for W[illia]m Smith
388	Smart, George (ed). (1776-1876)	The vocal pocket companion. Being a new collection of the most favorite catches, cannons, glees and duetts for two, three and four voices. Composed by the following eminent masters, viz. Dr Cooke, Danby, Webbe, Finesche, Callcott, &c, &c. Humbly inscribed to Lady Yonge. By her Ladyships most obedient humble serv[ant], G.Smart.	London: Music Warehouse
389	Smith, John Christopher (1712-1795)	Suites de pieces pour le clavecin. Composées par J. C. Smith. Premier volume.	London: printed for and sold by the Author
390	Smith, John Stafford(ed.) (1750-1836)	A collection of English songs in score for three and four voices composed about the year 1500 taken from MSS. of the same age revised and digested by John Stafford Smith.	London: printed for J. Bland
391	Storace, Stephen (1762-1796)	Glee [in the opera of the Iron chest], (begins: Five times by the taper's light) Sung by Sig.ra Strace Miss Grainger [Master] Welsh & [Mr.] Suett	[London: printed by Goulding & Co.]
392	Street, Josiah	A book containing great variety of anthems, in two, three, and four parts: With a large addition of anthems, in two, three, four, and six parts: and a hymn for Christmas-Day. And the chants at large, all entirely new, and never before published. Likewise, a set of psalm-tunes, in four parts, in a moderate compass. The second edition, with additions.	London: printed by Robert Brown... for Joseph Lord...and sold by him
393	Tailour, Robert (fl.1614)	Orpheus Britannicus; or, the gentleman and lady's musical museum: Consisting of one hundred favourite songs, compiled from the most approved vocal performances at the theatres, Vaux-Hall, Mary-bone Gardens, Sadlers-Wells, or any other polite places of public entertainm[en]t. The whole calculated for the promotion of innocent mirth and social conversation. Each song set to musick & embellished with a curious head-piece (expressive ye subject) design'd & delineated by the late celebrated Mr. Boitard, and engraved by Benjamin Cole.	London: printed and sold by Benj[amin] Cole
394	Tailour, Robert (fl.1614)	Sacred hymns. Consisting of fifti select Palms of David and others, paraphrastically turned into English verse. And set to be sung in five parts, as also to the viole and lute, or orpharion.	[London: Thomas Snodham]
395	Tans'ur, William (1706-1783)	Heaven on earth; or, the beauty of holiness. In two books. Containing, I. The whole book of the Proverbs of King Solomon, composed in English verse; and set to musick. II. The Song of Songs, which is the Song of Solomon. Together, with various hymns, anthems, and canons: with instructions to the musick: and expository notes on the whole. Composed in two, three, and four musical parts according to the most authentick rules, and set down in score for voice or instrument. By William Tans'ur, of Barns, in Surry. Author of the melody of the heart, and the harmony of Sion.	London: printed by A. Pearson... also sold by the author
396	Vanbrughe, Mr.	Lesbia's reproach and deniaset by Mr. Vanbrughe. The words by Mr.Carey. (Begins: The groves ye plains the nymphs and swains)	
397	Voigtländer, Gabriel (c1596-1643)	Erster Theil/Allerhand Oden vnd Lieder/welche auff allerley/als Italianische/Frantzösische/Englische/vnd anderer Deutschen guten Componisten, Melodien vnd Arien gerichtet/Hohen vnd Nieder Standes Persohnen zu sonderlicher Ergetzlichkeit/in vornehmen Conviviis vnd Zusammenkunfften/bey Clavi Cimbalen, Lauten/Tiorben, Pandorn/Violen di Gamba, gantz bequemlich zu gebrauchen/vnd zu singen/Gestellet vnd in Truck gegeben/ Durch Gabrieln Voigtländer/Ihrer Hoch-Printzlicher Durchleuchtigkeit zu Dennemarck vnd Norwegen/etc. wolbestelten Hoff-Feld-Trommetern vnd Musico.	Lübeck: bey Michael Volken im Jahr M.DC.L
398	Wagner, Richard (1813-1883)	Die Meistersinger von Nürnberg	Mainz: Stich und Druck von B. Schott's Söhne (PN 18975a)
399	Wagner, Richard (1813-1883)	Parsifal. A Festival-Drama by Richard Waganer. Simplified vocal socre by R. Kleinmichel with German and English words (the latter by H.J. and F.Corder.)	Mainz: Les fils de B.Schott (PN 23701)
400	Ward, John (1590-1638)	The first set of English madrigals to 3. 4. 5. and 6. parts: apt both for viols and voyces. With a mourning song in memory of Prince Henry. Newly composed by John Ward. Tenor, Bassus.	London: printed by Thomas Snodham
401	Watts, Isaac (1674-1748)	A collection of Psalm Tunes in IV parts: Each tune being interlined with a proper Psalm from the Revd. Dr. Watts. For the use of dissenting meeting houses.	Birmingham: printed by Michael Broome
402	Webbe, Samuel (1740-1816)	In three volume. A Selection of glees, duets, canzonets &c. Principally taken from the nine books published at different periods from the year 1764 by Saml. Webb, to which are added many new glees and canzonets never before published. vol.I.	London: printed for the author by Rt. Birchall
403	Webbe, Samuel (1740-1816)	In three volume. A Selection of glees, duets, canzonets &c. Principally taken from the nine books published at different periods from the year 1764 by Saml. Webb, to which are added many new glees and canzonets never before published. vol. II.	London: printed for the author by Rt. Birchall
404	Webbe, Samuel (1740-1816)	In three volume. A Selection of glees, duets, canzonets &c. Principally taken from the nine books published at different periods from the year 1764 by Saml. Webb, to which are added many new glees and canzonets never before published. vol. III.	London: printed for the author by Rt. Birchall
405	Weber, Karl Maria von (1786-1826)	Der Freischütz. Romantische Oper in 3 Aufzügen von Karl Maria von Weber, mit leichter Clavier Begleitung eingerichtet von Karl Zulehner.	Mainz, Paris: bey B.Schott's Schönen (PN 1719)

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重書目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	競売目録番号 Auction catalogue (1977) lot no.	
[n.d., 1821]	11p., 24.5 x 33.3cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Index of contents written by W.H.Cummings	Bound with N-6/84(2)-(13)	N-6/84(1)	52	o.11/80	1520	384
[n.d., 1882]	[i], 99p., 33.2 x 26.7cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/86	52	o.52/38		385
	258p., 33.2 x 27.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-6/87	52	o.52/39		386
[n.d.]	[iv], 29p.		Bound with N-3/10(1)(3)(4)	N-3/10(2)	52/53	f.11/16		387
[n.d., 1789]	16.1 x 10.8cm (case). 9.1 x 13.8cm (cards): 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings	Case and 52 cards	N-1/33	54	o.2-4/98	1687	388
[n.d.]	[viii], 59p., 23.2 x 30.0cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings List of contents by unknown hand	Bound with N-3/10(2)(3)(4)	N-3/10(1)	52/53	f.11/15	1564	389
1779	37.2 x 27.7cm: folio	Exlibris and sign of W.H.Cummings		N-7/17	39	o.6/14	1566	390
[n.d., 1792]	[4p.], (75-78p.)		Bound with N-3/11(1)-(3)(5)	N-3/11(4)	44	Not listed		391
1746	[xvi], 151p., [i] 20.0 x 12.8cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/1	53	p./22		392
1760	[ii], 98p., 23.7 x 15.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "[Joseph] Warren"		N-1/25	48	o.1/85	1209	393
[n.d., 1615]	17-136p., 22.5 x 17.3cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "A. Hamilton July 1828" Cutout from probaby Edward Jones auction sale catalogue (1824 or 1825?) Comments by unknown hand "from the sale of Edwa[rd] Jones, the Bard"		N-1/28	53	p./15		394
1738	[vii], 204p., 20.5 x 13.0cm: 12mo.	Exlibris of W. H. Cummings Exlibris deeply damaged of "Edward Edwards, Book, 1782."		N-1/12	54	p./23	1626	395
	1p.		Bound with N-7/12(1)-(3)(5)-(15)	N-7/12(4)	37			396
1650	[vii], 116p., 31.0 x 19.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the volume written by W.H.Cummings		N-6/97	54	o.1/58	1689	397
[n.d.]	1-456p., after 457p. wanting, 29.3 x 22.0cm: 4to. imcomplete		piano-vocal score	N-3/7	54	o.51/63	1692	398
[n.d.]	[iv], 279p., 29.0 x 22.5cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings	piano-vocal score	N-3/13	54	o.51/61	1693	399
1613	Tenor, [vi], 7-28p, Bassus, [iv], 1-28p., 21.0 x 16.5cm (both parts): 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	Tenor and bassus part books	N-1/34	55	o.0/72	1698	400
[n.d., 1740]	[viii], 43p., [4], 23.2 x 15.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "A. Eaton, 1762" Index of psalms-tunes written by unknown hand		N-5/24	55	p./13		401
[n.d., 1812]	104p., 35.1 x 25.4cm: folio	Exlibris ob W.H.Cummings Sign of Saml. Webbe	Set to N-4/15(2), N-4/16	N-4/15(1)	55	o.52/25	1705	402
[n.d., 1812]	108p., 35.1 x 25.4cm: folio	Exlibris ob W.H.Cummings Sign of Saml. Webbe	Set to N-4/15(1), N-4/16	N-4/15(2)	55	o.52/25		403
[n.d., 1812]	107p., 35.1 x 25.4cm: folio	Exlibris ob W.H.Cummings Sign of Saml. Webbe	Set to N-4/15(1)(2)	N-4/16	55	o.52/25	1705	404
[n.d., 1830c]	122p., 25.5 x 33.3cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings Dedication signature "M.Mill à bon ami bien aimée G.N.Cusiens, Nov.1852"		N-6/100	55	o.51/76		405

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication : Place, Publisher
406	Weldon, John (1676-1736)	Divine harmony. Six select anthems for a voice alone with a thorow bass for the organ, harpsicord or arch-lute compos'd on several occasions by Mr. Jn. Weldon, organist of his Majestys Chappell Royal and there performed by the late famous Mr Richard Elford very proper not only in private devotion, but also for choirs, where they may be sung either by a treble or tenor.	London: printed for I.Walsh... and I.Hare
407	Whichello, Mr.	A song the words by Mr. Carey sett to musick by Mr. Whichello (Begins: So many charms were never)	
408		The bird fancyer's delight or choice observations, and directions concerning the teaching of all sorts of singing Birds after the flagelet and flute when rightly made as to size and tone, with lessons properly compos'd within the compass and faculty of each bird, viz for the canary-bird, linnet, bull-finch, wood-lark, black-bird, throustill, nightingale and starling, the whole fairly engraven and carefully corrected.	London: printed for I. Walsh
409		The British minstrel, and musical and literary miscellany: a selection of standard music, songs, duets, glees, choruses, etc. and article in musical and general literature. Vol.1	Glasgow: William Hamilton
410		The British minstrel, and musical and literary miscellany; a selection of standard music, songs, duets, glees, choruses, etc. and article in musical and general literature. Vol.3	Glasgow: William Hamilton
411		The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of celebrated English and Scotch songs. By the best masters. Set for the violin, German flute, the common flute, and harpsichord. Vol. I. Engraven in a fair character, and carefully corrected. The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of celebrated English and Scotch songs....Vol.II. The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of celebrated English and Scotch songs....Vol.III. The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of celebrated English and Scotch songs....Vol.IV. The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of celebrated English and Scotch songs....Vol.V. No. XXXI. The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection of choice English and Scotch songs. Set for the violin, German flute, the common flute, and harpsichord. [Vol.V.] Publish'd for July, 1736. To be continued monthly, with choice songs by the best masters. Engraven in a fair character, and carefully corrected. No. XXXII. The British musical miscellany, or the delightful grove...Publish'd for September, 1736. No. XXXI. The British musical miscellany, or the delightful grove...Publish'd for July, 1736. No. XXXIII. The British musical miscellany, or the delightful grove...Publish'd for November, 1736. No. XXXIV. The British musical miscellany, or the delightful grove...Publish'd for January, 1737.	London: printed for & sold by I. Walsh
412		The British musical miscellany, or the delightful grove: Being a collection, of celebrated English and Scotch songs. By the best masters. Set for the violin, German flute, the common flute and harpsichord. Vol. 1. Engraven in a fair character, and carefully corrected.	London: printed for & sold by J[ohn]. Walsh
413		Caledonian country dances with a through bass for ye harpsicord, ye 3d edition, with additions.	London: printed for J[ohn] Johnson
414		The catch club or merry companions being a choice collection of the most diverting catches for three and four voices compos'd by the late Mr. Henry Purcell, Dr. Blow &c. 1st part. The second book of the catch club or merry companions being a choice collection of the most diverting catches for three and four voices compos'd by the late Mr. Henry Purcell, Dr.Blow &c. 2nd part.	London: printed for J[ohn] Walsh
415		A choice collection of aires and duets for two German flutes collected from the works of the most eminent authors viz. Mr. Handel, Arcan[gelo] Corelli, Sig. Brivio, Mr. Haydn, Mr. Grano, Mr. Kempton to which is added a favorite trumpet tune of Mr. Dubourg's. The whole fairly engraved and carefully. No.396 corrected. [1st Book] Select aires or duets for two German flutes or two violins By the following eminent authors, Handel, Gemniani, Sig. Martini, Weideman, Quantz, Pescetti, 2d Book. No.620 Select aires or duets for two German flutes, and a German flute & bass Compos'd by Mr. Handel and other eminent authors. 3d Book. No.642. A fourth book of select aires or duets, for two German flutes or violins being a collection of favourite aires perform'd with universal applause at Vaux-Hall, and in all publick entertainments. By the following eminent authors Handel, Geminiani, Hasse, Arne.	London: printed for and sold by J[ohn] Walsh
416		A collection of aires for two flutes compose'd by several eminent masters viz Mr.Eccles, Mr.Weldon, Seignr. Gasperini, Mr. Finger, Mr. King, Mr. Paisible, Mr. Henr. Purcell, Mr. Tenoe &c. the whole fairly engraven. There is lately published Seigr. Gasparini's aire for two flutes, Mr. Finger's Sonatas for two flutes, Mr.Courtwill's sonatas for two flutes, Corelli's solos for a flute and a bass, Mr. Tophane's solos for a flute, and a bass, Corelli's aires for two flutes and a bass, Mr. Weldon's and Mr. Simon's aires for two flutes and a bass, all fairly engraven.	London: printed for I. Walsh
417		A choice collection of ayres for the harpsichord or spinnett with very plain & easey directions for young beginners never before published composed by these eminent masters, viz: Dr. John Blow Master of the boys & organist to the Chappel-Royal & St Peters Westminster), Mr. Francis Piggot (also organist of the Kings Chappel-Royal & St. Peters Westminster, Mr. Francis Piggot also organist of the Kings Chappel & the Temple, Mr. Jeremiah Clarke organist of St Pauls Cathedral & composer of the musick used in the Theatre Royal, Mr. John Barrett Musick master & organist to Christ' s Hospital & St Mary-Hill Church & Mr. William Crofts ; carefully corrected by each master and fairly engraven on copper-plates.	London: printed and sold by John Young
418		A collection, of one hundred and eighty royal songs, all written since 1678. And intermixt with several new love songs. To which is added, the notes set by several masters of musick. With a table to find every songs. The fourth edition wit many additions.	London: printed and are to be sold by Richard Butt
419		A collection of Scots reels, or country dances. With a bass for the violoncello or harpsichord.	London: printed & sold by Rob[ert] Bremner
420		The delightfull musical companion for gentlemen and ladies being a choice collection out of all the latest operas. Composed by Mr. Handel, Sigr. Bononcini, Sigr. Attilia &c. Vol.1.	London: curiously engraven for ye publisher Peter Fraser

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記 1 Notes 1	注記 2 Notes 2	請求記号 Call number	貴重目録掲載ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	販売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.	
[n.d., 1716]	29p., 36.0 x 22.0cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/44	55	p./2	1716	406
[n.d.]	1p.		Bound with N-7/12(1)-(4)(6)-(15)	N-7/12(5)	37			407
[n.d., 1730c]	20p., 18.7 x 26.0cm: obl. 4to.	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall		N-5/3	35	k.11/4	295	408
1843	ii, 324p., 25.2 x 16.8cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Illegible sign	Bound with N-2/7(2)	N-2/7(1)	36	o.0/74		409
1845	vi, 314p., 25.3 x 17.0cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings 2 illegible signs	Bound with N-2/7(1)	N-2/7(2)	36	Listed with o.0/74		410
Vol.I & II, [n.d., 1734], Vol.III & IV, [n.d., 1735], Vol.V, [n.d., 1736], No.XXXI-XXXIV, [n.d., 1736-37]	Vol.I, 4p., iv, Vol.II, 145p., Vol.III, iv, 145p., Vol. IV, iv, 145p., Vol.V, iv, 144p., No.XXXI-XXXIV, 96p. (after 97p. lost), 20.0 x 15.0cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings Contents list of the volume written by unknown hand	6 volumes combined into 1.	N-6/17	36	o.1-5/92-b	349	411
[n.d.]	iv, 145p., 20.0 x 14.3cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of Samuel Howard (?1710-1782) Comment on S.Howard by unknown hand	see N-6/7	N-1/9	36	o.1-5/92-b	349	412
[n.d., 1750?]	[viii], 100p., 12.5 x 21.5cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings Sign of "Benjamin Hill, July 20th 1755"		N-1/10	37	a.0/9	380	413
[n.d., 1733]	1st part, [ii], 48p., 2nd part, [iv], 40p. 16.5 x 23.4cm: obl. 4to.	Exlibris of W.H.Cummings		N-1/2	37	o.3-4/95	1384	414
[n.d.]	Vol.1, [iii], 22p., vol.2, [1], 23p., vol.3, [1], 24p., vol.4, [i], 27p., 16.3 x 21.0cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Sing of "John Martin his Book April 7th 1801" Erased sign of "William"	4 volumes combined into 1.	N-1/3	38	k.1-2/3	1370	415
[n.d., 1703?]	14p., 17.9 x 22.2cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	1st flute part only incomplete	N-5/7	39	k.21/2		416
1700	v, 14p., 17.5 x 24.0cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of Julian Marshall	score	N-5/6	38	f.11/20	436	417
1694	[xiii], 372p., 5.1 x 9.3cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/8	39	o.1/100	472	418
[n.d., 1768]	[vi], 96p., 17.3 x 24.8cm: obl. folio	Exlibris of W.H.Cummings List of contents and comment written by W.H.Cummings	Bound with N-5/9(2)	N-5/9(1)	39	j.1/8	1027	419
[n.d., 1726c]	[xiv], 162p., 19.3 x 13.2cm: 12mo.	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the edition by W.H.Cummings		N-1/23	40	o.1/94		420

	作曲家・編纂者 Composer, Editor	タイトル Title	出版地：出版社（者） Publication : Place, Publisher
421		Le delizie dell opere. Being a Collection of all the favourite songs in score, collected from the operas compos'd by Lampugnani, Hasse, Pergolesi, Porpora, Pescetti, Vinci, Galuppi, Veracini, Leo, Bononcini. Vol. I.	Lonon: printed for I. Walsh
422		Le delizie dell opere. Being a Collection of all the favourite songs in score, collected from the operas compos'd by Lampugnani, Hasse, Pergolesi, Porpora, Pescetti, Vinci, Galuppi, Veracini, Leo, Bononcini. Vol. II.	Lonon: printed for I. Walsh
423		The division-violin containing a collection of divisions upon several excellent grounds for the violin. The sixth edition. Corrected and enlarged with additions of the newest divisions upon grounds and chansons by the most eminent masters.	London: printed for I. Walsh
424		A favorite collection of country dances for the year 1803. With proper tunes & directions to each dances, as they are performed at Court, Bath and all publick, assemblys.	London: printed for T.Fenlum
425		Geistliches Lob-Opfer oder fest-Gesänge welche dem drey-einigen Gott zu Lob und Ehre vor in und nach den Jährlichen hohen Festen von einer Christlichen Gemeind allhier in öffentlicher Versammlung abgesungen werden: Auch absonderlich in den Häusern zu gottseliger Erbauung dienen können.	St.Gallen: gebrucht bei Ruprechte Weriher
426		The hymns and Psalms used at the Asylum or House of Refuge for female orphans.	London: printed for William Gawler [1750-1809]
427		The hymns and psalms used at the Asylum or House of Refuge for female orphans.	London: printed for William Gawler
428		Musica divina a iiii. v. vi et vii. voci. di xix autori illustri raccolta da Petro Phalesio nella quale si contengono i più eccellenti madrigali che hoggidi si cantino. Novante ristampata. Canto, Alto, Tenor.	Antwerp: presso i heredi di Pietro Phalesio al Re David
429		Recueil de simphonies et autre airs de differents auteurs a trois parties pour les flutes ou pour les violons.	Amsterdam: by Anthony Pointel
430		Scrapbook of printed sheet music with some m.s. (Collection of English Secular Songs..)	
431		Social harmony, A collection of the most esteemed & celebrated glees, catches, canzonets, rounds canons &c, &c, by the most eminent composers.	London: published by Jones &Co.
432		Sternna musicale. Anno primo. 1836	Milano: presso Gio. Ricordi [PN 9063]
433		Thesaurus musicus, A collection of two, three and four part songs. Several of them never before printed, to which are added some choice dialogues. Set to musick by the most eminent masters viz. Dr. Blow, H.Purcell, Handel, Dr. Green, D[anie]l Purcell, Eccles, Weldon, Leveridge, Lampe, Carey &c. The whole revis'd carefully corrected and figur'd by a judicious master. Vol. 1st. Thesaurus musicus, A collection...Masters viz. Dr. Croft, H. Purcell, Eccles, Dr. Blow, Morley, Lock, Hicks, Travers, Corse, Graves, & c....Vol. 2nd.	London: printed for R. Bremner
434		Twenty four country dances for the year 1754. With proper tunes and directions to each dance as they are performed at Court, Bath and all publick entertainments: The tunes proper for the violin, German-flute and hautboy. Note the true genuine dances will be published every year, in this volume and character.	London: printed for Peter Thompson
435		Twenty four country dances for the year 1758. With proper tunes and directions to each dance, as they are performed at Court, Bath and all publick entertainments: The tunes proper for the violin, German-flute and hautboy. Note the true genuine dances will be published every year, in this volume and character.	London: printed for Thompson & Son
436		Twenty four country dances for the year 1759. With proper tunes and directions to each dance, set for the violin, German flute or hautboy.	London: printed for H. Waylett
437		Twenty-four country dances for the year 1796 with proper tunes & directions to each dance, as they are performed at Court, Bath & all public assemblys.	London: printed by Longman and Broderip
438		Twenty four country dances for the year 1799 wiith proper tunes & directions to each dance, as they are performed at Court, Bath & all public assemblys.	London: printed by Longman & Broderip
"Catalogue of the W.H.Cummings' Collection in the Nanki Music Library"(1925) に記載はあるが、現在所在が確認できない「印刷楽譜」資料			
439	Playford, John (ed.)	Musick's handmaid, new lessons and instructions for the virginal or harpsichord (imperfect)	London: John Playford
440	Playford, John (ed.)	Catch that catch can; or the musical companion, containing catches and rounds for three and four voices. 1st ed.	London: John Playford

刊年 Year	ページ数、サイズ、判型 Pages, Size, Format	注記1 Notes 1	注記2 Notes 2	請求記号 Call number	楽譜目録ページ Page in the Catalogue in 1970	旧資料番号 (1925)	販売目録番号 Auction catalogue (1917) lot no.	
[n.d., 1740]	200p., 32.0 x 23.4cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of M. Costa Illegible sign "...of Cabinteely"	Bound with N-6/27(2)	N-6/27(1)	40	o.51/45	580	421
[n.d., 1740]	232p., 32.0 x 23.4cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Exlibris of M. Costa Illegible sign "...of Cabinteely"	Bound with N-6/27(1)	N-6/27(2)	40	o.51/45		422
[n.d.]	57p., 17.8 x 21.5cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the volume written by W.H.Cummings		N-5/12	40	h.0/5	1293	423
[n.d., 1803]	12p., 12.2 x 25.5cm: obl. 8vo.		Set with N-5/30(1)-(4)/(6)	N-5/30(5)	54	a.0/8		424
1750	158p., 17.3 x 11.5cm: 16mo.	Exlibris of W.H.Cummings		N-5/14	41	p./31		425
[n.d., 1785]	[iii], 128p., 24.5 x 17.0cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings	see N-06/50	N-2/9	46	p./9-b		426
[n.d., 1785]	126p., 24.6 x 17.2cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings	see N-02/09	N-6/50	46	p./9-a	47	427
1584(canto), 1614(tenore), 1634(alto)	Tenore, [ii], 2-36p. [i], 16.8 x 22.0cm, Alto, [ii], 1-36p., 17.7 x 22.0cm, Canto, [ii], 2-36p., 17.7 x 22.0cm: obl. 4to.	Exlibris of W.H.Cummings on the each part books		N-1/31	47	p./30	1152	428
1688	Bass part, 24, 4p., Treble part, 24, 4p., 23.7 x 19.7cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the volume written by W.H.Cummings	bass-part and treble parts	N-6/51	50	k.3/1		429
[n.d.]	41.6 x 26.0cm	Exlibris of W.H.Cummings		N-7/16	39	Not listed		430
[n.d., 1817]	334p., 26.9 x 18.3cm: 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings Dedication signature "W.H.Cummings Esqr. from a sincere friend Sept. 1892"		N-6/90	53	o.5/71	1572	431
1836	[vi], 60p., [iii], 27.3 x 19.0cm: 4to.	Exlibris of W.H.Cummings		N-2/13	53	o.1/65		432
[n.d.]	Vol. 1st, 77p., vol. 2nd, 80p., 32.5 x 24.3cm: folio	Exlibris of W.H.Cummings Comments on the volume written by W.H.Cummings "The 4th edition of Thesaurus Musicus. God save great George our King. p.22. This edition is from the same plates as the 3rd, but new title pages."		N-6/94	54	o.0/47	1641	433
[n.d., 1754?]	37-48p., 11.6 x 22.0cm: obl. 8vo.		Set with N-5/30(2)-(6)	N-5/30(1)	54	a.0/8	519	434
[n.d., 1758]	12p., 13.3 x 25.5cm: obl. 8vo.	Exlibris of W.H.Cummings	Set with N-5/30(1)-(5)	N-5/30(6)	54	a.0/8		435
[n.d., 1759]	12p., each contains 2pieces. 13.2 x 25.2cm: obl. 8vo.	Sign of "A. Baying"	Set with N-5/30(1)(3)-(6)	N-5/30(2)	54	a.0/8		436
[n.d., 1796]	12p., 13.0 x 25.2cm: obl. 8vo.		Set with N-5/30(1)-(2)(4)-(6)	N-5/30(3)	54	a.0/8		437
[n.d., 1799]	12p., 12.7 x 25.5cm: obl. 8vo.		Set with N-5/30(1)-(3)(5)-(6)	N-5/30(4)	54	a.0/8		438
1678	obl. 8vo.					f.11/21		439
1667	12mo.					o.3-4/103		440

2023(令和5)年

5月28日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第1回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「開塾にあたり」

講師：美山良夫

◎「徳川頼貞の『音楽を聴く喜び』」

講師：篠田大基

6月2日

南葵徳川音楽塾 セミナー 2023年度第1回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「歌詞をさわめろ 1：《夏は来ぬ》と《荒城の月》」

講師：美山良夫

7月8日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第2回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「南葵音楽図書館の蔵書形成（その1）——楽譜資料にみる同時代性——」

講師：林淑姫

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第3回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「『鋼鉄の腕』が奏でる抒情 ——プロコフィエフを聴く——」

講師：近藤秀樹

7月10日

南葵音楽文庫アカデミー Newsletter『南葵文庫』第9号発行

8月6日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第4回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「B. マルチェッロ《詩と音楽の靈感》1724年
——カミングス文庫から忘れられた名曲を聴く——」

講師：佐々木勉

9月9日

南葵音楽文庫アカデミー 2023年度第1回

会場：橋本市教育文化会館 第1研修室

◎「マルキ徳川交遊録 ——ピアノの巨匠ゴドフスキー——」

講師：近藤秀樹

◎「徳川頼貞がワシントン議会図書館で見たカミングスの旧蔵書」

講師：佐々木勉

9月10日

会場：県立図書館 講義・研修室

◎「徳川侯爵交遊録
——プロコフィエフとの出会い——」

講師：近藤秀樹

◎「もうひとつのプロコフィエフ来日譚
——大田黒元雄の証言——」

講師：林淑姫



南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第5回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「H. パーセル《聖セシリアの祝日のためのオード
『すべての楽しみにようこそ』》1683年
——オード（頌歌）とパーセル——」

講師：佐々木勉

10月7日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第6回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「1926年ヤープ・クンストとの出会い」

講師：泉健

11月18日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第7回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「南葵音楽図書館の蔵書形成（その2）——音楽書をめぐって——」

講師：林淑姫

12月8・9日

南葵徳川音楽塾 セミナー 2023年度第2回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「歌詞をきわめる 2：《レクイエム》音楽、言葉と葬儀ミサ」

講師：美山良夫

12月10日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第8回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「徳川頼貞が見た戦後ヨーロッパ音楽界」

講師：篠田大基

2024 (令和6) 年

1月7日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第9回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「徳川頼貞とオルガン ——さまざまな出会い——」

講師：美山良夫

1月12・13日

南葵徳川音楽塾 セミナー 2023年度第3回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「歌詞をきわめる 3：ワーグナーの台本から」

講師：美山良夫

1月19日

南葵音楽文庫アカデミー Newsletter『南葵文華』第10号発行

2月17日

南葵徳川音楽塾 レクチャー 2023年度第10回

会場：県立図書館 南葵音楽文庫閲覧室

◎「サン＝サーンス《白鳥》を聴く

——ホルマン、ゴトフスキー、そしてパヴロフ——」

講師：近藤秀樹

3月2日

南葵音楽文庫アカデミー 2023年度第2回

会場：新宮市丹鶴ホール

◎「『南葵音楽文庫』100年 今、その扉をひらく」

講師：美山良夫

◎「幕末維新期における新宮と軍楽

——スネアドラムの楽譜を中心に——」

講師：奥中康人

3月3日

会場：県立図書館 講義・研修室

◎「南葵音楽文庫 歴史と価値をひらく ——音楽図書館100周年——」

講師：泉健、奥中康人、美山良夫、林淑姫、佐々木勉、近藤秀樹、篠田大基

重要資料報告会

会場：県立図書館 講義・研修室

3月31日

『南葵音楽文庫紀要』第7号発行

動画による文庫案内の作成（収録／編集／デジタル・アーカイブ作成／公開）

※YouTube「和歌山県公式チャンネル」所収

<https://www.youtube.com/@PrefWakayama/>



県立図書館Website →
南葵音楽文庫 / 文庫のご案内
よりご覧ください。
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/introduction/>



「南葵音楽文庫の貴重資料をめぐって
～カミングス文庫とその貴重書～」
(15分56秒)



「徳川侯爵交遊録
～プロコフィエフとの出会い～」
(24分16秒)



南葵音楽文庫 紀要 第8号

令和7年3月31日発行

発 行 和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山県和歌山市西高松一丁目7番38号

電話 073-436-9500

<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/>

編集協力 有限会社ティアンドティ・デザインラボ

〒531-0071 大阪市北区中津七丁目3番2号1階

<https://www.ttdesign.co.jp/>